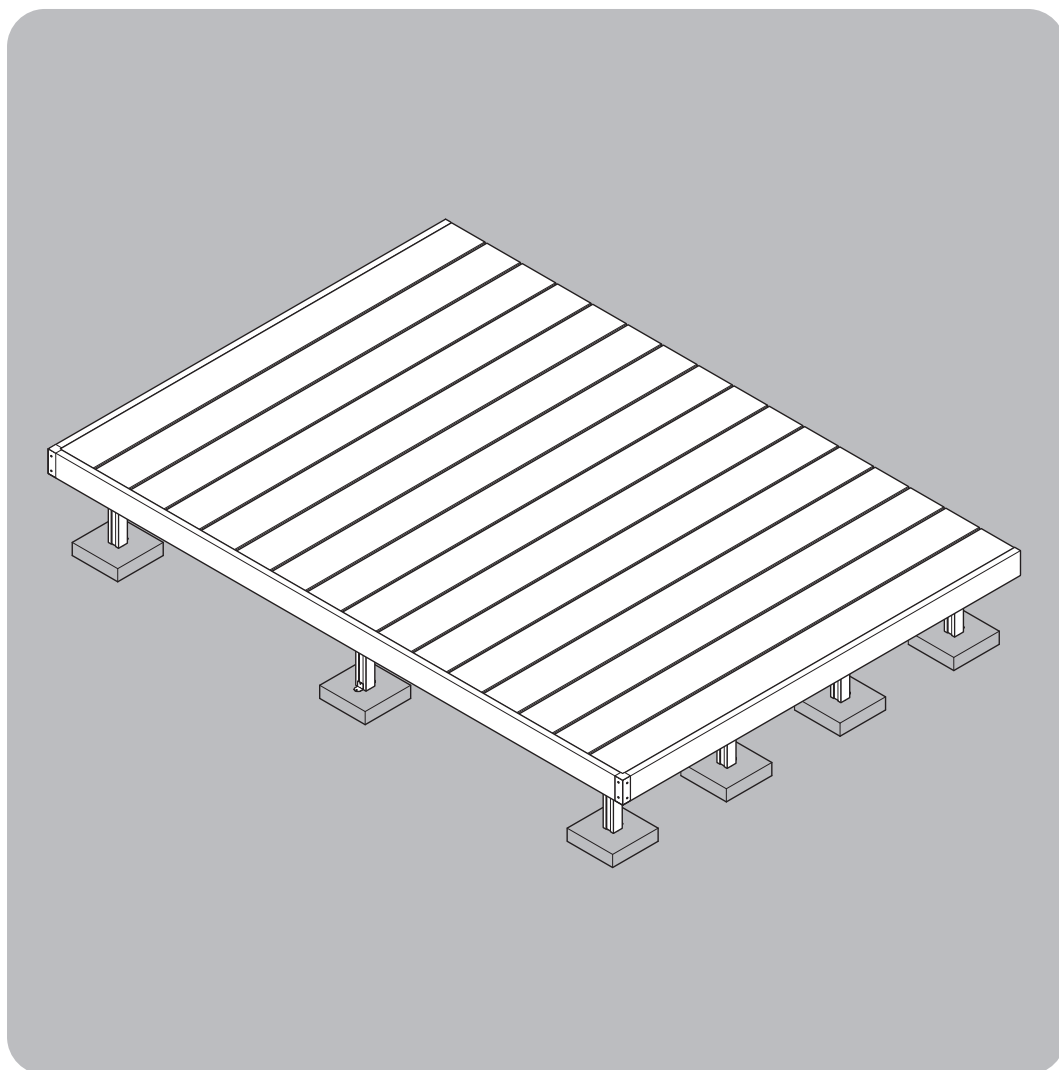


リコステージ II

取付け説明書



取付けにあたって

この説明書では、お客様の安全と製品を正しく施工していただくための、取付けについて、重要な内容を記載しております。

ご留意いただき、施工してください。

取付けされる方へのお願い

●この説明書は必ず、取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●同梱されている取扱い説明書は、必ずお施主様へお渡しください。

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲ 注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲ 注意

※製品の破損および落下のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

■施工前のご注意

●設置条件

- ・本製品は、一般住宅の地上階に取付ける商品です。それ以外の場所へは取付けないでください。
- ・給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接あたらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。

●施工前の調査について

- ・施工前に地下埋設物（給水管など）に影響を及ぼさないか調査を行ってください。

■施工上のご注意

●基礎について

- ・基礎石は当社指定寸法以上のものを使用し、設置してください。

●組立施工について

- ・みだりに改造、変更をしないでください。
- ・束柱の移動範囲は当社指定範囲にしてください。

●部材の固定について

- ・組立てねじ・ボルトは必ず当社指定のものを指定の本数使用してください。また使用中緩まないように締め付けてください。

※製品腐食のおそれがありますので下記事項をお守りください。

●絶縁処理について

- ・アルミ形材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触するときは絶縁処理をしてください。

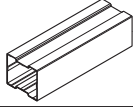



- ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} / \text{cm}$ }のトルクで止めた後、緩み・ガタツキのないことを確認してください。

■組立て・施工のお願い

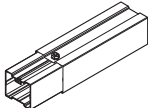



- 組立て・施工は専門業者が行ってください。
- 製品の施工については、必ず取付け説明書に従ってください。
- 水平、垂直は水準器などで正確に出してください。
- 当社指定の付属部品以外は取付けしないでください。
 - ・人工木材は温度変化による伸縮により長さに若干のばらつきがあります。施工前に長さをそろえてからご使用ください。
 - ・人工木材は表面に加工処理を施してありますので、施工前に加工方向をそろえてください。床板施工方向がそろっていないと色調に濃淡が出ます。
- 人工木材の処理について
 - ・人工木材は補強材、ねじを分解して産業廃棄物として処理してください。
- 施工中についた、汚れや傷について
 - ・モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性でシミやムラなどの外観不良の原因となります。施工中に付着した場合は速やかに拭き取ってください。
 - ・施工中についた表面の汚れやシミは、引渡し前に水洗いをしてください。中性洗剤をうすめたものを使用した場合はよく水洗いしてください。
 - ・施工中についた表面すり傷は、引渡し前に研磨紙で補修してください。表面研磨する場合は、事前の研磨方向に沿って行ってください。
 - ・市販の研磨紙を利用する際は60番の研磨紙を用いてください。中性洗剤をうすめたものを使用した場合はよく水洗いしてください。
- 設置条件
 - ・施工プランと必要部材がそろっているか確認してください。
 - ・施工場所に寸法的に正しく収まるか事前に十分確認をしてください。
 - ・リコステージⅡ本体にウッドパーティション・デッキフェンス・ハイパーパーティション・ハイパーキャノピー・開き戸・点検口・収納蓋・ステップを取り付けるとき、大引きにあらかじめ専用の部材を取り付ける必要がある場合があります。それぞれの取付け説明書を参照して、必要な部材を取付けてください。
- 製品の保管について
 - ・本製品は、木粉入り高密度樹脂製のため、熱変形することがあります。取扱には十分注意してください。
 - ・立てかけ保管しないで、平らな場所に保管してください。
 - ・暖房機、焚き火近くの高温になる場所には保管しないでください。
 - ・製品上に重量物を長時間重ね置きしないでください。
 - ・給湯器、暖房機などの熱排気が製品に直接当たらないようにしてください。

梱包明細表

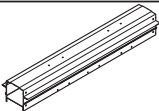
【1】束柱Aセット

名 称	略 図	員 数			
		1本入り	4本入り	6本入り	9本入り
束柱A		1	4	6	9
束柱固定金具		1	4	6	9
φ4×32セルフタップアンカー		1	4	6	9
φ4×13ナベドリルネジ		5	20	30	45

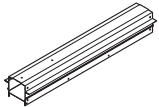
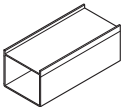

【2】束柱Bセット

名 称	略 図	員 数		
		1本入り	3本入り	4本入り
束柱B		1	3	4
束柱固定金具		1	3	4
φ4×32セルフタップアンカー		1	3	4
φ4×19ナベドリルネジ		9	27	36

【3】大引きセット

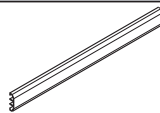

名 称	略 図	員 数	
		1本入り	2本入り
大引き		1	2

【4】大引き 連棟用

名 称	略 図	員 数	
		1本入り	2本入り
大引き		1	2
大引きスリーブ		1	2
φ4×19ナベドリルネジ		9	17

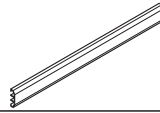

【5】根がらみ6尺、7尺

オプション

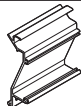
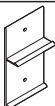
名 称	略 図	員 数	
		2本入り	3本入り
根がらみ		2	3
φ4×19ナベドリルネジ		6	9

【6】根がらみ8尺、9尺、10尺



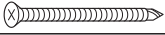

オプション

名 称	略 図	員 数	
		2本入り	3本入り
根がらみ		2	3
φ4×19ナベドリルネジ		9	12

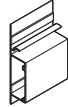




【7】側面幕板A取付材セット

名 称	略 図	員 数		
		1個入り	3個入り	5個入り
側面幕板A取付材		1	3	5
幕板金具A		1	3	5

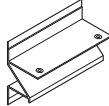



【7】 つづき

名 称	略 図	員 数		
		1個入り	3個入り	5個入り
クッション材		1	3	5
φ5×20トラスタッピン1種		2	6	10
φ4×40サラドリルネジ		4	8	12
φ4×20ナベタッピン2種G=5		4	12	20

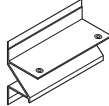


【8】 側面幕板B取付材セット

名 称	略 図	員 数		
		1個入り	3個入り	5個入り
側面幕板B取付材		1	3	5
幕板B取付補助部材		2	4	6
φ4×25サラドリルネジ		6	12	18
φ4×20ナベタッピン2種G=5		4	12	20
φ4×30トラスタッピン1種		4	8	12

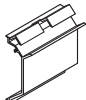
【9】 正面幕板A取付材セット (大引き固定用)

名 称	略 図	員 数		
		1個入り	3個入り	5個入り
正面幕板A取付材 (大引き固定用)		1	3	5
φ5×20トラスタッピン1種		2	6	10
φ4×40サラドリルネジ		4	8	12
φ4×13サラドリルネジ		2	6	10





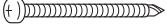
【10】 正面幕板B取付材セット (大引き固定用)

名 称	略 図	員 数		
		1個入り	3個入り	5個入り
正面幕板B取付材 (大引き固定用)		1	3	5
φ4×25サラドリルネジ		4	8	12
φ4×13サラドリルネジ		2	6	10

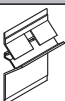


【11】 正面幕板A取付材セット (床板固定用)

名 称	略 図	員 数		
		1個入り	3個入り	5個入り
正面幕板A取付材 (床板固定用)		1	3	5

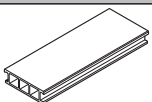
【11】 つづき

名 称	略 図	員 数		
		1個入り	3個入り	5個入り
幕板金具A		1	3	5
クッション材		1	3	5
φ5×20トラスタッピン1種		2	6	10
φ4×40サラドリルネジ		4	8	12
φ4×40ナベドリルネジ		2	6	10

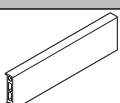
【12】 正面幕板B取付材セット (床板固定用)

名 称	略 図	員 数		
		1個入り	5個入り	8個入り
正面幕板B取付材 (床板固定用)		1	5	8
φ4×25サラドリルネジ		4	12	18
φ4×40ナベドリルネジ		2	10	16

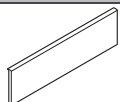
【13】 床板セット

名 称	略 図	員 数		
		1本入り	2本入り	3本入り
床板		1	2	3


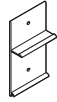

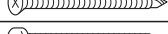
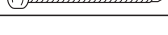
【14】 幕板Aセット

名 称	略 図	員 数	
		1本入り	2本入り
幕板A		1	2

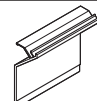
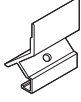


【15】 幕板Bセット

名 称	略 図	員 数	
		1本入り	2本入り
幕板B		1	2


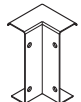
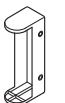
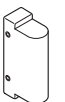

【16】 コーナー幕板A取付材セット (角度切り用)

名 称	略 図	員 数
コーナー幕板A取付材		2
幕板金具B		1
φ5×20トラスタッピン1種		2
φ4×40サラドリルネジ		4
φ4×40ナベドリルネジ		2

【17】 コーナー幕板B取付材セット (R用/角度切り用)

名 称	略 図	員 数
コーナー幕板B取付材1		2
コーナー幕板B取付材2		1
φ4×25サラドリルネジ		4
φ4×40ナベドリルネジ		2

【18】 幕板Aコーナーキャップセット

名 称	略 図	員 数		
		90°	入隅	フリ-
幕板A90° コーナーキャップ		1	-	-
幕板A入隅コーナーキャップ		-	1	-
幕板AフリーコーナーキャップA		-	-	1
幕板AフリーコーナーキャップB		-	-	1
φ4×14サラタッピン1種		4	4	4

【19】幕板Bコーナーキャップセット

名 称	略 図	員 数		
		90°	入隅	フリ-
幕板B90° コーナーキャップ		1	-	-
幕板B入隅コーナーキャップ		-	1	-
幕板BフリーコーナーキャップA		-	-	1
幕板BフリーコーナーキャップB		-	-	1
φ4×14サラタッピン1種		2	2	4

【20】幕板連結キャップ

名 称	略 図	員 数	
		A	B
幕板A連結キャップ		1	-
幕板B連結キャップ		-	1
φ4×14サラタッピン1種		2	

【24】床板取付部品セット

名 称	略 図	員 数		
		基本	追加40	追加20
横止め金具		60	40	20
孔開け治具		1	-	-
補修用研磨紙		2	-	-
φ4×13ナベドリルネジ		66	44	22
取付け説明書〈MAL-244〉	-	1	-	-
取扱い説明書〈MAL-955〉	-	1	-	-

【25】床板取付部品セット (補修用)

名 称	略 図	員 数		名 称	略 図	員 数	
		上止め補修	横止め補修			上止め補修	横止め補修
横止め金具		5	10	交換用ビット		1	1
孔開け治具		1	1	補修用研磨紙		1	1

【21】補助根太セット

名 称	略 図	員 数
補助根太		1
補助根太取付部品		4
φ4×13ナベドリルネジ		16

【22】床板補強材

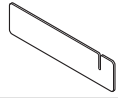
名 称	略 図	員 数
床板補強材		1
φ4×13ナベドリルネジ		20
φ3.8×13ナベタッピンネジ		40
φ4×70トラスタッピン1種		24

【23】躯体付けアングルセット

名 称	略 図	員 数
躯体付けアングル		1
φ6×70六角タッピンネジ1種		6

オプション

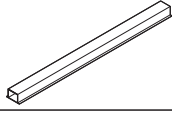
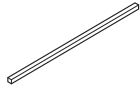

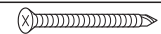
【25】 つづき

名 称	略 図	員 数	
		上止め補修	横止め補修
横止め金具移動治具		1	1

【26】 タイルフローアー根太セット

TOEX

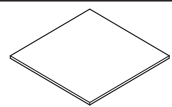
※本製品はTOEX商品で取付け可能です。

名 称	略 図	員 数
タイルフローアー根太		3
隙間隠しパッキン		4
φ4×13ナベドリルネジ		13
φ4×35サラドリルネジ		10

【27】 タイルフローアーベース

TOEX

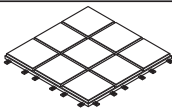
※本製品はTOEX商品で取付け可能です。

名 称	略 図	員 数
タイルフローアーベース		1

【28】 タイルフローアー

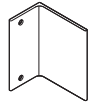
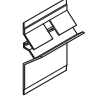





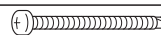
TOEX



※本製品はTOEX商品で取付け可能です。

名 称	略 図	員 数
タイルフローアー		9

【29】 くり貫き部用幕板固定金具セット

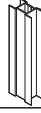

オプション

名 称	略 図	員 数
くり貫き部用幕板固定金具		4
正面幕板B取付材(床板固定用)		4
M4×25サラ小ネジ		8
M4六角ナット		8
M4用平座金		8
M4用バネ座金		8
φ4×25サラドリルネジ		16
φ4×40ナベドリルネジ		8

名 称	略 図	員 数	
		上止め補修	横止め補修
φ4×65サラドリルネジ		20	—
φ4×13ナベドリルネジ		7	12
取付け説明書〈MAL-244〉	—	1	1



【30】 床下化粧材縦枠

オプション

名 称	略 図	員 数
縦枠		1
φ4×40ナベドリルネジ		4

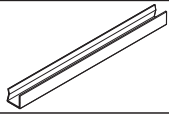

【31】 床下化粧材コーナー枠

オプション

名 称	略 図	員 数
コーナー枠		1
φ4×35ナベドリルネジ		4

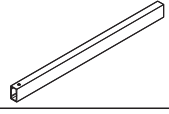

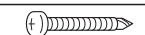
【32】 床下化粧材上下枠

オプション

名 称	略 図	員 数
上下枠		1
φ4×10トラスネジ1種		10


【33】 筋交いセット

オプション

名 称	略 図	員 数	
		2本入り	3本入り
筋交い		2	3
筋交いキャップ		4	6
φ4×25ナベドリルネジ		4	6

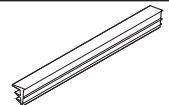
【34】 ラチスパネル

オプション

名 称	略 図	員 数
ラチスパネル		1

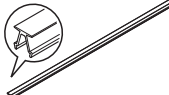
【35】 躯体側隙間塞ぎ材

オプション

名 称	略 図	員 数
躯体側隙間塞ぎ材		1

【36】 目地塞ぎ材A

オプション

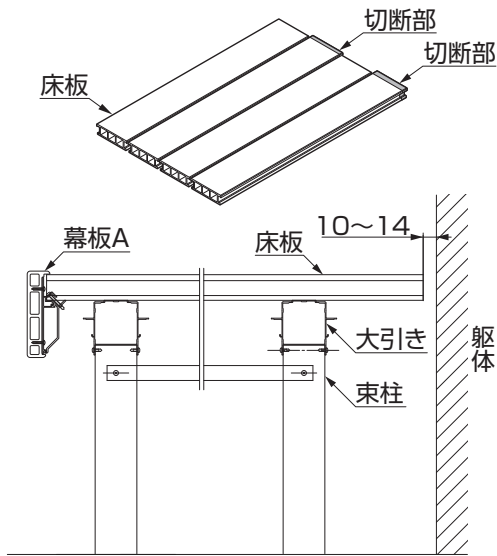
名 称	略 図	員 数
目地塞ぎ材A		5

目次

1	施工時の重要確認事項	8
2	基本寸法と各部名称	9
1.	各部名称	9
2.	詳細納まり	10
3.	床板縦張り基本寸法	13
4.	床板横張り基本寸法	17
3	本体の施工方法	21
1.	基礎石配置	21
2.	基礎の施工	21
3.	束柱・大引きの取付け	22
4.	筋交いの取付け	23
5.	根がらみの取付け オプション	25
6.	側面幕板取付材の取付け	26
7.	床板補強材の取付け	27
8.	補助根太の取付け	29
9.	躯体付けアングルの取付け オプション	32
10.	正面幕板取付材（大引き固定用）の取付け	32
11.	床板の取付け	34
12.	くり貫き部幕板の取付け オプション	40
13.	タイルフロアーの取付け TOEX	42
14.	正面・コーナー幕板取付材の取付け	45
15.	幕板の取付け	49
16.	床下化粧材の取付け オプション	58
17.	躯体側隙間塞ぎ材の取付け オプション	60
18.	施工後の仕上げ	60
19.	横止め金具の付け替え オプション	61
20.	関連商品への取付け オプション	62

1. 施工時の重要確認事項

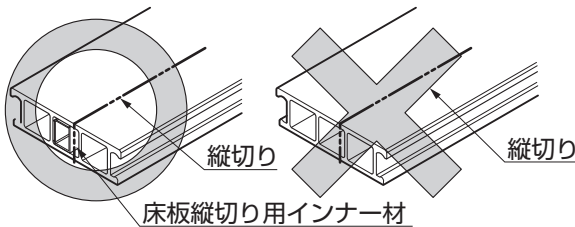
1 施工時の重要確認事項



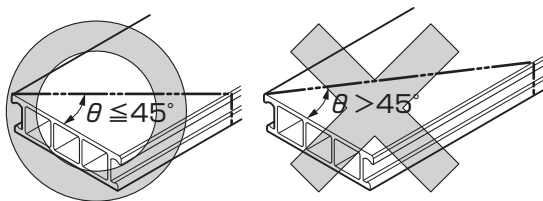
※人工木材は温度変化による伸縮により長さに若干のばらつきがあります。施工前に長さをそろえてからご使用ください。

※床板の間口調整は床板枚数単位で行ってください。

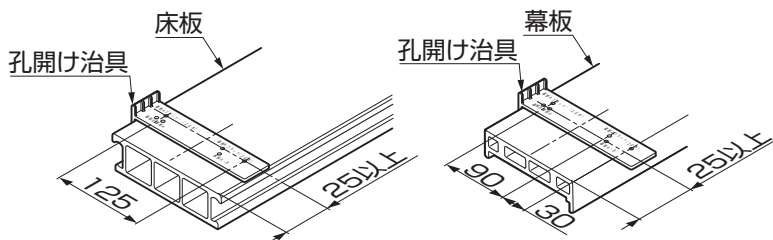
※躯体と床板端部の隙間を10~14mmにしてください。



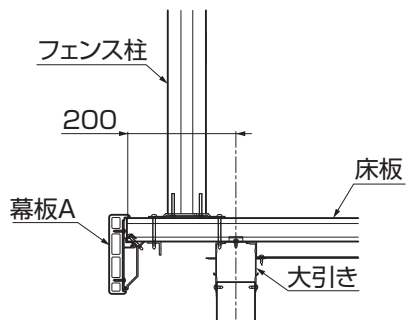
※納まり上、床板の縦切りが部分的に必要な場合は「床板縦切り用インナー材」を使用してください。



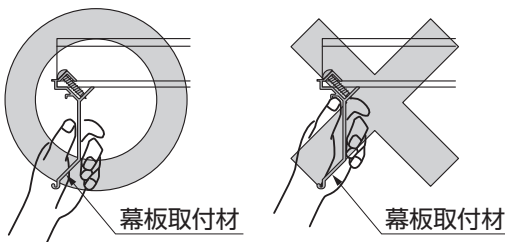
※床板・幕板を斜めきりするときは 45° 以内にしてください。切り込みすぎは材料の変形・破損の原因になります。



※床板・幕板を取り付ける際は、専用の孔開け治具を使い固定してください。ネジの打ち込み位置がずれると、材料の変形・破損の原因になります。



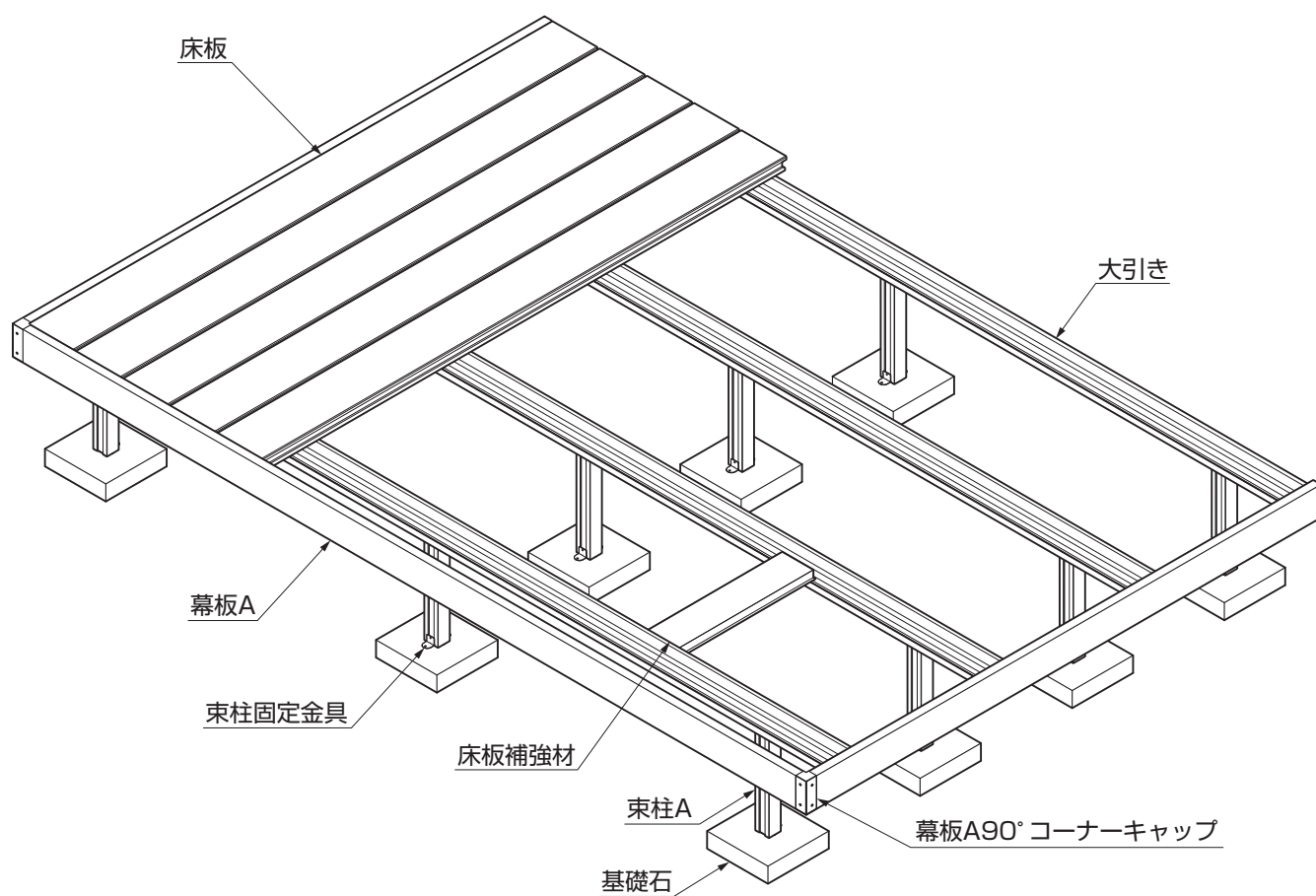
※デッキ前面部にフェンス柱を取り付ける場合は、床板の張出しを大引きの中心から200mmにしてください。短くすると、柱が取り付けなくなる場合があります。



※正面幕板A取付材、正面幕板B取付材、コーナー幕板A取付材(角度切り用)、コーナー幕板B取付材(R用/角度切り用)を床板に取り付ける際は下部を持って、ネジ止めしてください。上部を持つと貫通したネジで手を傷つける場合があります。

2.基本寸法と各部名称

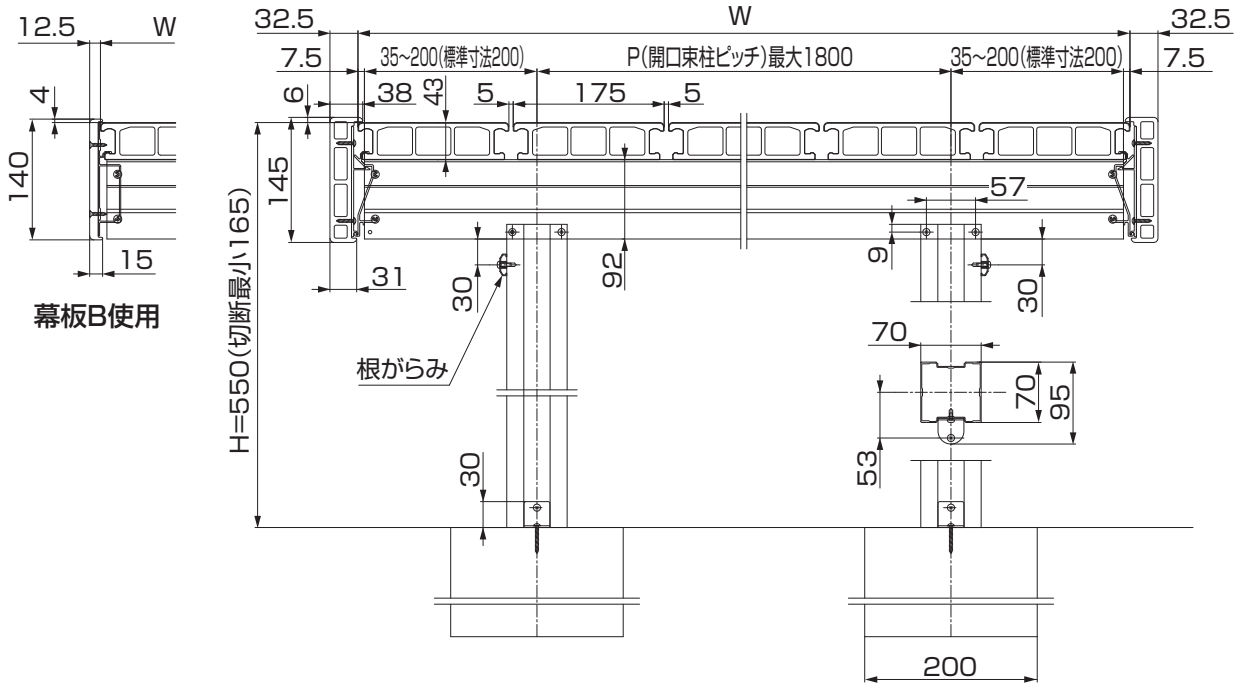
1 各部名称



2

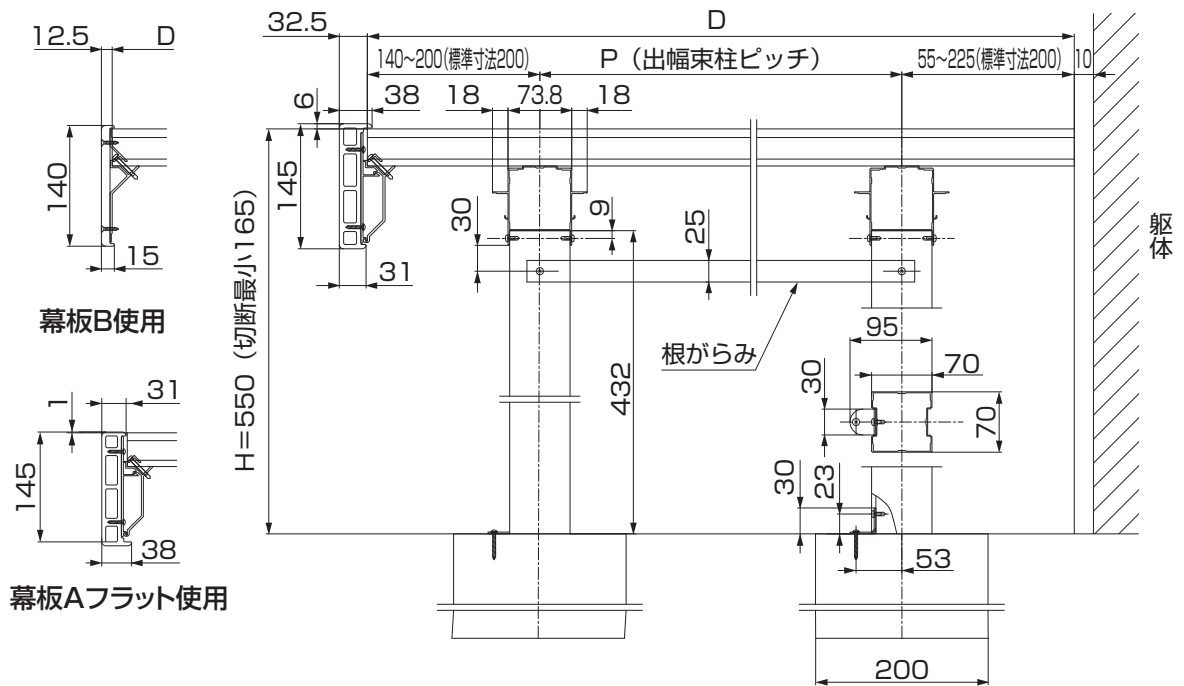
詳細納まり

2-1 幕板床板縦張り固定 間口方向納まり図 (正面) ●標準束柱・幕板A使用の場合を示します。



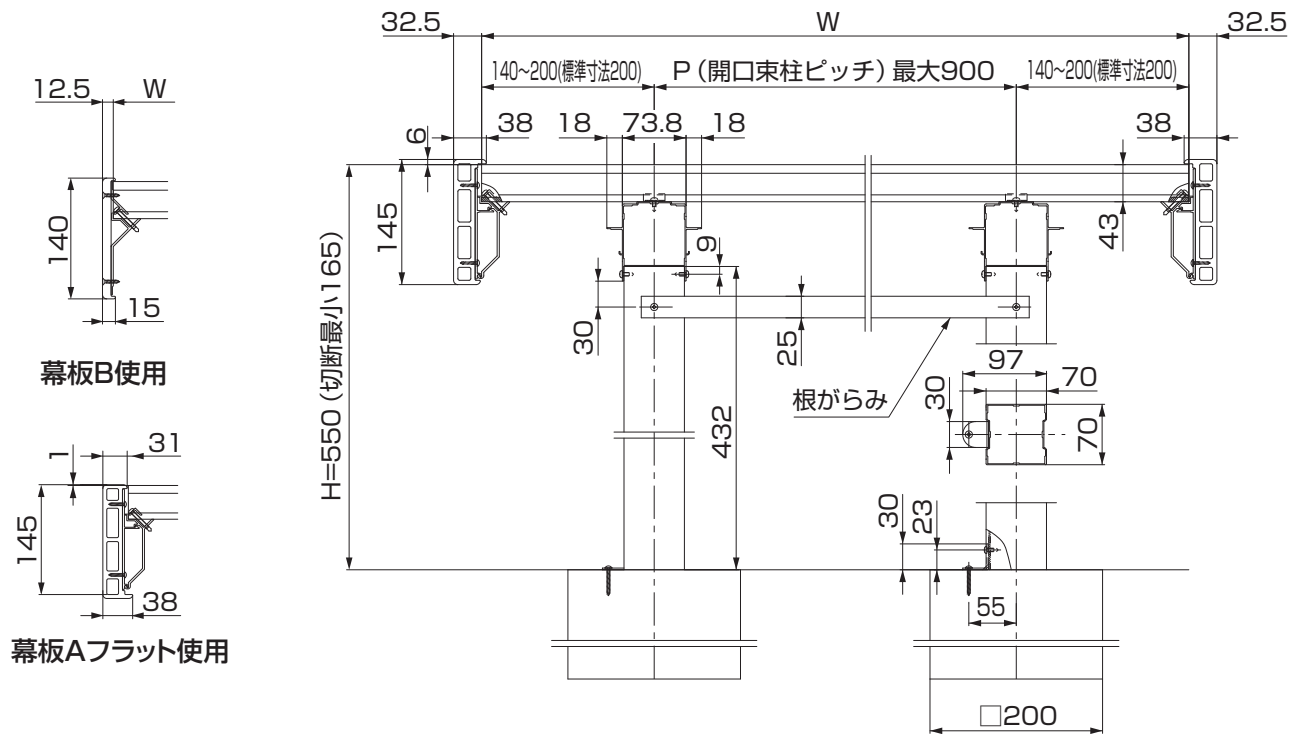
※デッキの間口最大寸法は、 $W+65\text{mm}$ (25mm) です。()は、幕板B寸法です。
 ※デッキ最低H寸法は、束柱A: 165mm、束柱B: 250mmです。

2-2 幕板床板縦張り固定 出幅方向納まり図 (側面) ●標準束柱・幕板A使用の場合を示します。



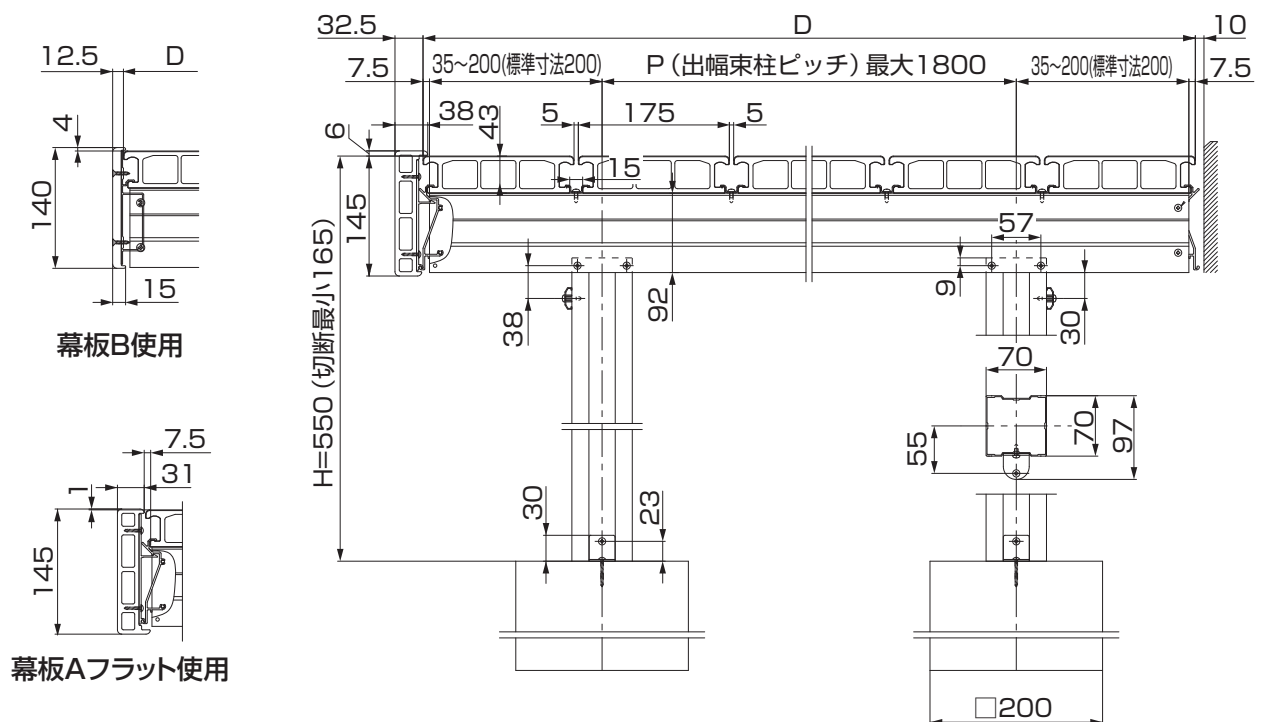
※デッキの出幅最大寸法は、 $D+32.5\text{mm}$ (12.5mm) です。
 ※デッキ最低H寸法は、束柱A: 165mm、束柱B: 250mmです。

2-3 幕板床板横張り固定 間口方向納まり図 (正面) ●標準束柱・幕板A使用の場合を示します。



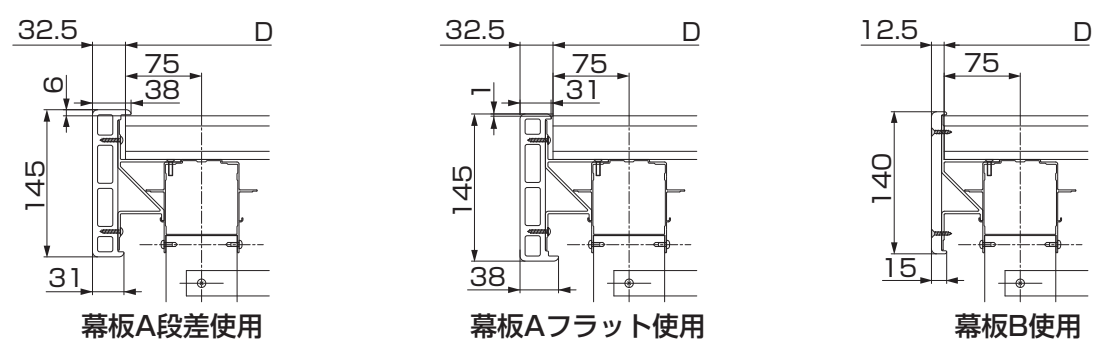
※デッキの間口最大寸法は、 $W+65\text{mm}$ (25mm) です。()は、幕板B寸法です。
 ※デッキ最低H寸法は、束柱A: 165mm、束柱B: 250mmです。

2-4 幕板床板横張り固定 出幅方向納まり図 (側面) ●標準束柱・幕板A使用の場合を示します。



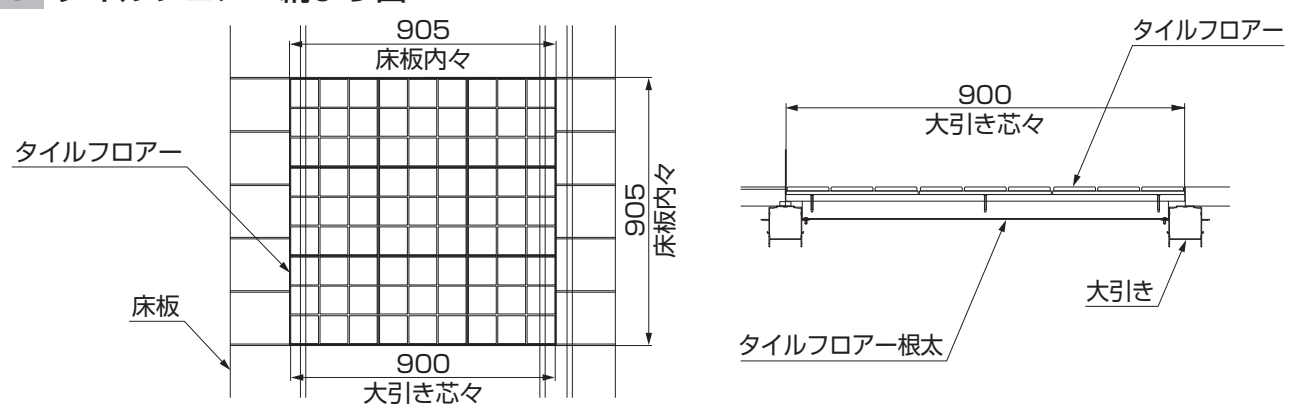
※デッキの出幅最大寸法は、 $D+32.5\text{mm}$ (12.5mm) です。
 ※デッキ最低H寸法は、束柱A: 165mm、束柱B: 250mmです。

2-5 幕板大引き固定 出幅方向納まり図 (側面)



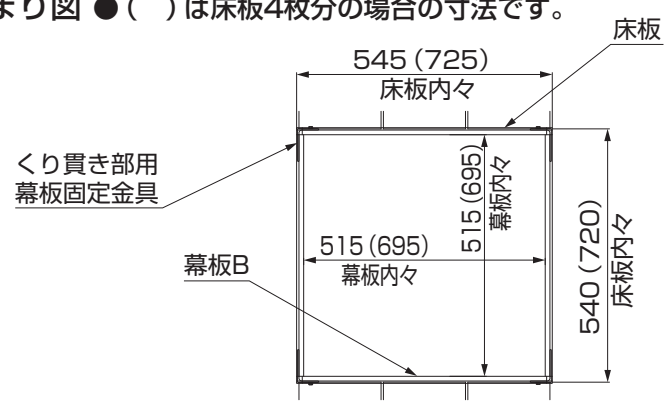
※デッキの出幅最大寸法は、 $D+32.5\text{mm}$ (12.5mm) です。
 ※デッキの間口最大寸法は、 $W+65\text{mm}$ (25mm) です。()は、幕板B寸法です。
 ※デッキ最低H寸法は、束柱A : 165mm、束柱B : 250mmです。

2-6 タイルフローアー納まり図



※タイルフローアーを取付ける位置の大引きピッチは900mmです。
 ※タイルフローアーを切りつめて取付ける場合は大引きピッチを600mmまたは300mmです。

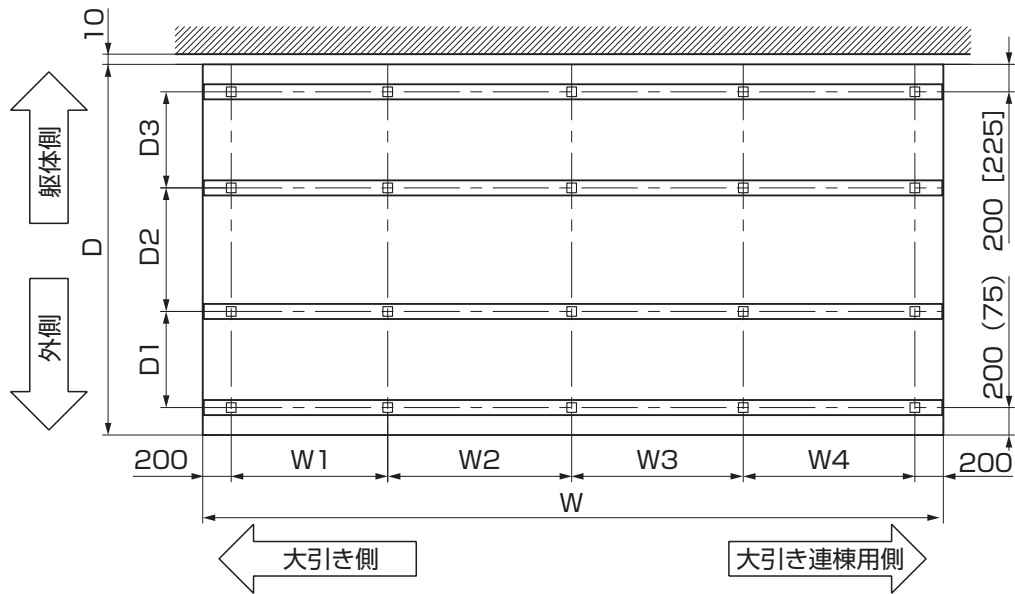
2-7 くり貫き納まり図 ● ()は床板4枚分の場合の寸法です。



※デッキくり貫きが可能な寸法は、床板3枚分、もしくは4枚分です。
 ※くり貫き部の床板張出し寸法は、200mm以内としてください。

3 床板縦張り基本寸法

3-1 基本寸法



開口方向寸法

	床板外々 W	幕板A デッキ外々 W+65	幕板B デッキ外々 W+25	束柱 ピッチ	ピッチ寸法						使用大引
					(大引き側) ↔ (大引き連棟用側)						
					W1	W2	W3	W4	W5	W6	
1.5間	2695	2760	2720	2	1140	1140	-	-	-	-	1.5間
2.0間	3595	3660	3620	2	1590	1590	-	-	-	-	2.0間
2.5間	4315	4380	4340	3	1300	1300	1300	-	-	-	2.5間
3.0間	5395	5460	5420	4	1140	1340	1250	1250	-	-	1.5間+1.5間(連棟用)
3.5間	6295	6360	6320	4	1140	1340	1700	1700	-	-	1.5間+2.0間(連棟用)
4.0間	7195	7260	7220	4	1590	1790	1700	1700	-	-	2.0間+2.0間(連棟用)
4.5間	7915	7980	7940	5	1300	1300	1500	1700	1700	-	2.5間+2.0間(連棟用)
5.0間	8815	8880	8840	6	1300	1300	1500	1500	1400	1400	2.5間+2.5間(連棟用)

大引き連結部分

出幅方向寸法

	床板出幅 W	幕板A デッキ出幅 W+33	幕板B デッキ出幅 W+13	大引き ピッチ	ピッチ寸法					使用床板
					(外側) ↔ (躯体側)					
					D1	D2	D3	D4	D5	
3尺	900	933	913	-	500	-	-	-	-	L=900
4尺	1200	1233	1213	-	800	-	-	-	-	L=1200
5尺	1500	1533	1513	2	550	550	-	-	-	L=1500
6尺	1800	1833	1813	2	700	700	-	-	-	L=1800
7尺	2100	2133	2113	2	850	850	-	-	-	L=2100
8尺	2400	2433	2413	3	700	600	700	-	-	L=2400
9尺	2700	2733	2713	4	700	900	700	-	-	L=2700
10尺	2900	2933	2913	4	700	900	900	-	-	L=2900
12尺	3600	3633	3613	4	700	900	900	700	-	L=900(L=1800を2分割)、2700
15尺	4500	4533	4513	5	700	900	900	900	700	L=1800、2700

床板連結部分

- ※()寸法は、幕板を大引き固定する場合の寸法です。
- ※[]寸法は、幕板大引き固定で出幅7尺の場合の寸法です。
- ※大引きの束柱最大芯々寸法は、1800mm以内にしてください。
- ※床下化粧材を取付ける位置の束柱芯々寸法は900mm以内にしてください。
- ※出幅方向の大引き最大芯々寸法は900mm以内にしてください。
- ※床板端部張出し最大寸法は、前面側200mm以内、躯体側225mm以内にしてください。
- ※大引きは、間口3.0間以上で連結部があります。
- ※大引きの連結部は、束柱を取付けてください。
- ※床板は出幅12尺以上で連結部があります。

3-2 1.5間 ●図は、幕板を床板固定する場合の寸法です。幕板大引き固定は「3-1 基本寸法」を参照してください。
 ●()は幕板Bの寸法です。幕板Bは、コーナー部で45°切断せずに間口方向優先で納めています。
 ●代表サイズが記載されています。3~5尺に関しては「3-1 基本寸法」を参照してください。

※大引きの束柱最大芯々寸法は、1800mm以内にしてください。

※出幅方向の大引き最大芯々寸法は900mm以内にしてください。

※床板端部張出し最大寸法は、前面側200mm以内、躯体側225mm以内にしてください。

仕様 屋根 出幅	1.5間	仕様 屋根 出幅	1.5間
6尺		10尺	
7尺		12尺	
8尺		15尺	
9尺			

3-3 2.0間 ●図は、幕板を床板固定する場合の寸法です。幕板大引き固定は「3-1 基本寸法」を参照してください。
 ●()は幕板Bの寸法です。幕板Bは、コーナー部で45°切断せずに間口方向優先で納めています。
 ●代表サイズが記載されています。3~5尺に関しては「3-1 基本寸法」を参照してください。

※大引きの束柱最大芯々寸法は、1800mm以内にしてください。

※出幅方向の大引き最大芯々寸法は900mm以内にしてください。

※床板端部張出し最大寸法は、前面側200mm以内、躯体側225mm以内にしてください。

仕様 屋根 出幅	2.0間	仕様 屋根 出幅	2.0間
6尺		10尺	
7尺		12尺	
8尺		15尺	
9尺			

3-4 2.5間 ●図は、幕板を床板固定する場合の寸法です。幕板大引き固定は「3-1 基本寸法」を参照してください。
 ●()は幕板Bの寸法です。幕板Bは、コーナー部で45°切断せずに間口方向優先で納めています。
 ●代表サイズが記載されています。3~5尺に関しては「3-1 基本寸法」を参照してください。

※大引きの束柱最大芯々寸法は、1800mm以内にしてください。

※出幅方向の大引き最大芯々寸法は900mm以内にしてください。

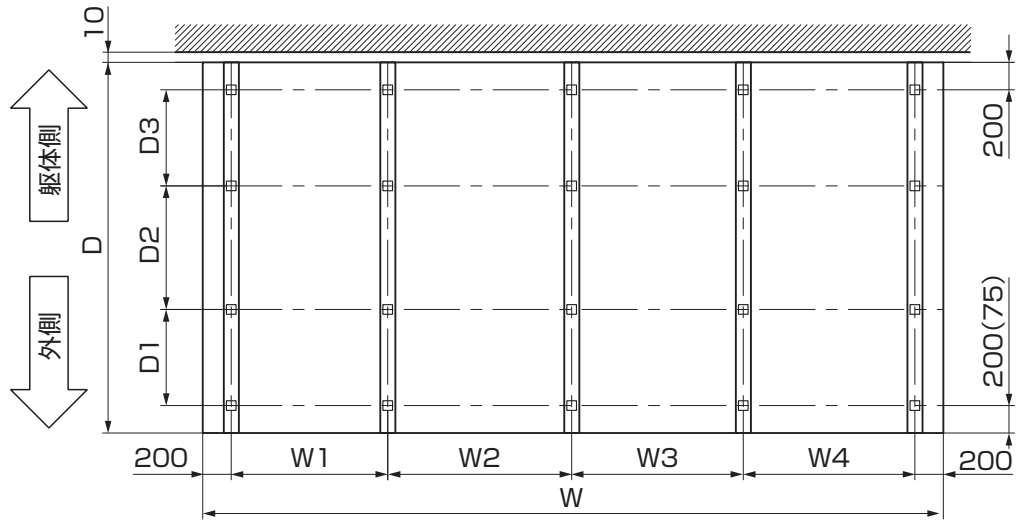
※床板端部張出し最大寸法は、前面側200mm以内、躯体側225mm以内にしてください。

仕様 屋根 出幅	2.5間	仕様 屋根 出幅	2.5間
6尺		10尺	
7尺		12尺	
8尺		15尺	
9尺			

4

床板横張り基本寸法

4-1 基本寸法



2
基本寸法と
各部名称

開口方向寸法

	床板外々 W	幕板A デッキ外々 W+65	幕板B デッキ外々 W+25	大引き ピッチ	ピッチ寸法										使用床板
					W1	W2	W3	W4	W5	W6	W7	W8	W9	W10	
1.5間	2700	2765	2725	3	700	900	700	-	-	-	-	-	-	-	L=2700
2.0間	3600	3665	3625	4	700	900	900	700	-	-	-	-	-	-	L=3600
2.5間	4500	4565	4525	5	700	900	900	900	700	-	-	-	-	-	L=1800,2700
3.0間	5400	5465	5425	6	700	900	900	900	900	700	-	-	-	-	L=1800,3600
3.5間	6300	6365	6325	7	700	900	900	900	900	900	700	-	-	-	L=2700,3600
4.0間	7200	7265	7225	8	700	900	900	900	900	900	900	700	-	-	L=1800,3600
4.5間	8100	8165	8125	9	700	900	900	900	900	900	900	900	700	-	L=1800,2700,3600
5.0間	9000	9065	9025	10	700	900	900	900	900	900	900	900	900	700	L=900,2700

出幅方向寸法

	床板 外々 D	幕板A デッキ 外々 W+33	幕板B デッキ 外々 W+13	束柱 ピッチ	ピッチ寸法 (外側)⇔(躯体側)			間口毎の使用大引							
					D1	D2	D3	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間	3.5間	4.0間	4.5間	5.0間
3R	895	928	908	-	480	-	-	1.5間×2本	1.5間×2本	1.5間×2本	2.0間×2本	2.0間×2本	1.5間×3本	1.5間×1本 +2.0間×2本	1.5間×1本 +2.0間×2本
4R	1255	1288	1268	-	840	-	-	1.5間×2本	2.5間×2本	2.5間×2本	1.5間×2本 +2.5間×1本	1.5間×2本 +2.5間×2本	1.5間×3本 +2.5間×1本	1.5間×2本 +2.5間×2本	1.5間×4本 +2.5間×1本
5R	1435	1468	1448	-	1020	-	-	2.0間×2本	2.5間×2本	2.5間×2本	1.5間×2本 +2.5間×2本	2.0間×1本 +2.5間×2本	2.5間×3本	1.5間×1本 +2.5間×3本	2.5間×4本
6R	1795	1828	1808	-	1380	-	-	2.0間×2本	1.5間×1本 +2.0間×2本	2.0間×3本	1.5間×1本 +2.0間×3本	2.0間×4本	1.5間×1本 +2.0間×4本	2.0間×5本	1.5間×1本 +2.0間×5本
7R	1975	2008	1988	-	1560	-	-	2.5間×2本	1.5間×1本 +2.5間×2本	2.5間×3本	1.5間×1本 +2.5間×3本	2.5間×4本	1.5間×1本 +2.5間×4本	2.5間×5本	1.5間×1本 +2.5間×5本
8R	2335	2368	2348	2	960	960	-	1.5間×4本	1.5間×5本	1.5間×6本	1.5間×7本	1.5間×8本	1.5間×9本	1.5間×10本	1.5間×11本
9R	2695	2728	2708	2	1140	1140	-	1.5間×4本	1.5間×5本	1.5間×6本	1.5間×7本	1.5間×8本	1.5間×9本	1.5間×10本	1.5間×11本
10R	2875	2908	2888	2	1230	1230	-	2.0間×4本	2.0間×5本	2.0間×6本	2.0間×7本	2.0間×8本	2.0間×9本	2.0間×10本	2.0間×11本
12R	3595	3628	3608	2	1590	1590	-	2.0間×4本	2.0間×5本	2.0間×6本	2.0間×7本	2.0間×8本	2.0間×9本	2.0間×10本	2.0間×11本
15R	4495	4528	4508	3	680	1800	1600	1.5間×4本 +連1.5間×4本	1.5間×5本 +連1.5間×5本	1.5間×6本 +連1.5間×6本	1.5間×7本 +連1.5間×7本	1.5間×8本 +連1.5間×8本	1.5間×9本 +連1.5間×9本	1.5間×10本 +連1.5間×10本	1.5間×11本 +連1.5間×11本

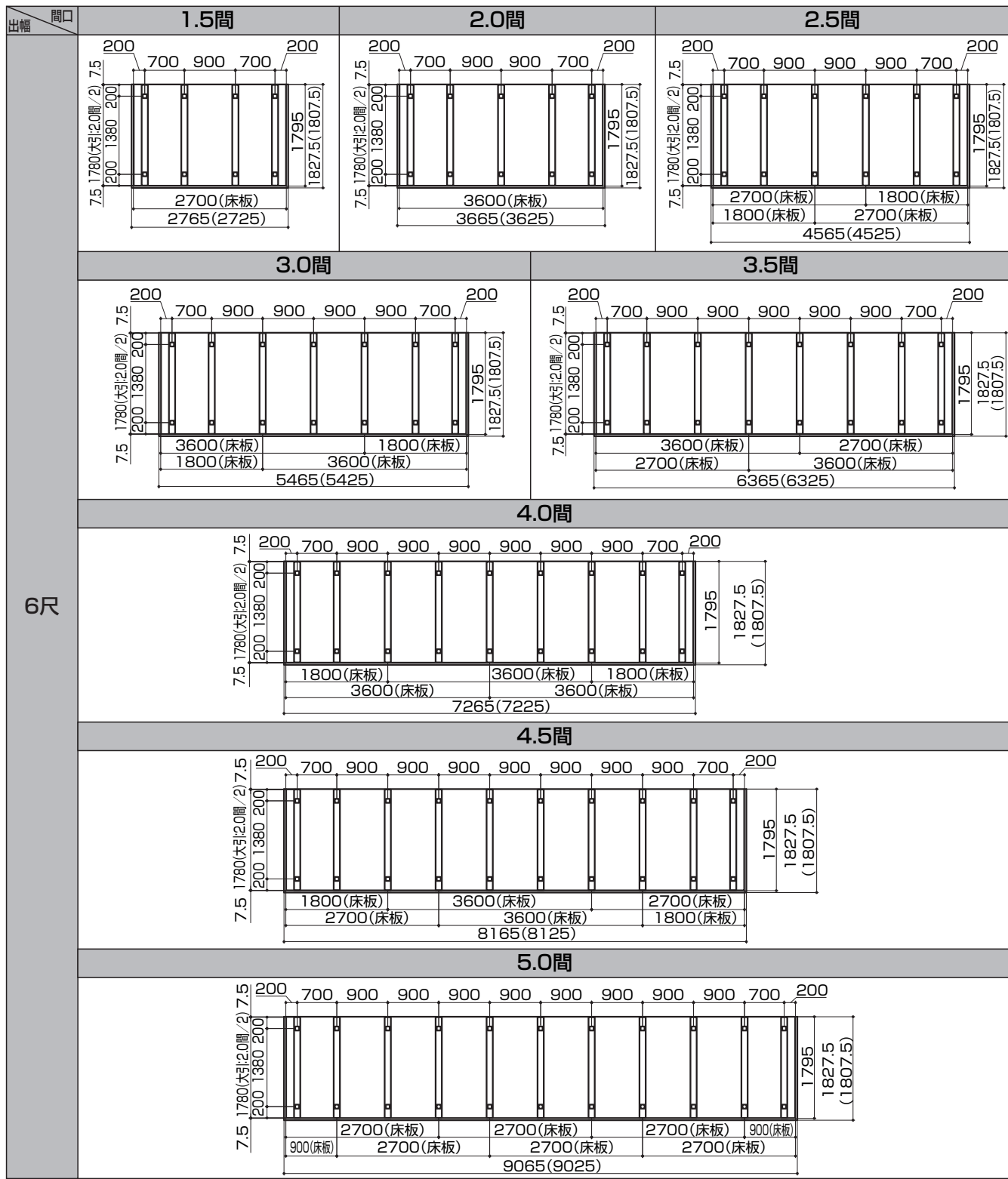
大引き連結部分

- ※()寸法は、幕板を大引き固定する場合の寸法です。
- ※大引きの束柱最大芯々寸法は、1800mm以内になしてください。
- ※床下化粧材を取付ける位置の束柱芯々寸法は900mm以内になしてください。
- ※間口方向の大引き最大芯々寸法は900mm以内になしてください。

- ※床板端部張出し最大寸法は、前面側200mm以内、躯体側225mm以内になしてください。
- ※大引きは、出幅15尺以上で連結部があります。
- ※大引きの連結部は、束柱を取付けてください。
- ※床板は開口2.5間以上で連結部があります。

4-2 6尺 ●図は、幕板を床板固定する場合の寸法です。幕板大引き固定は「4-1 基本寸法」を参照してください。
●()は幕板Bの寸法です。幕板Bは、コーナー部で45°切断せずに間口方向優先で納めています。

※大引きの束柱最大芯々寸法は、1800mm以内にしてください。
※間口方向の大引き最大芯々寸法は900mm以内にしてください。
※床板端部張出し最大寸法は、前面側200mm以内、躯体側225mm以内にしてください。

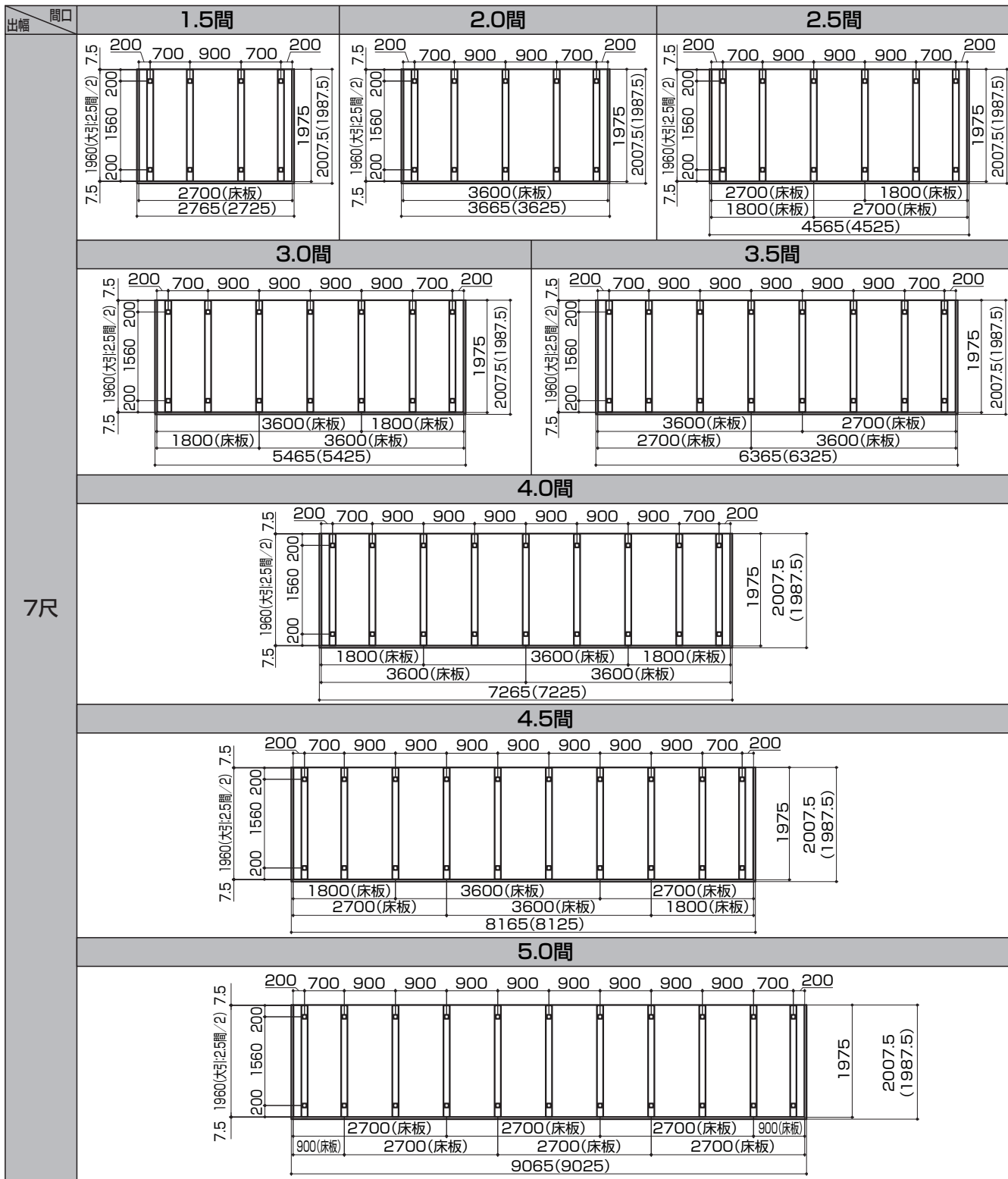


4-3 7尺 ●図は、幕板を床板固定する場合の寸法です。幕板大引き固定は「4-1 基本寸法」を参照してください。
●()は幕板Bの寸法です。幕板Bは、コーナー部で45°切断せずに間口方向優先で納めています。

※大引きの束柱最大芯々寸法は、1800mm以内にしてください。

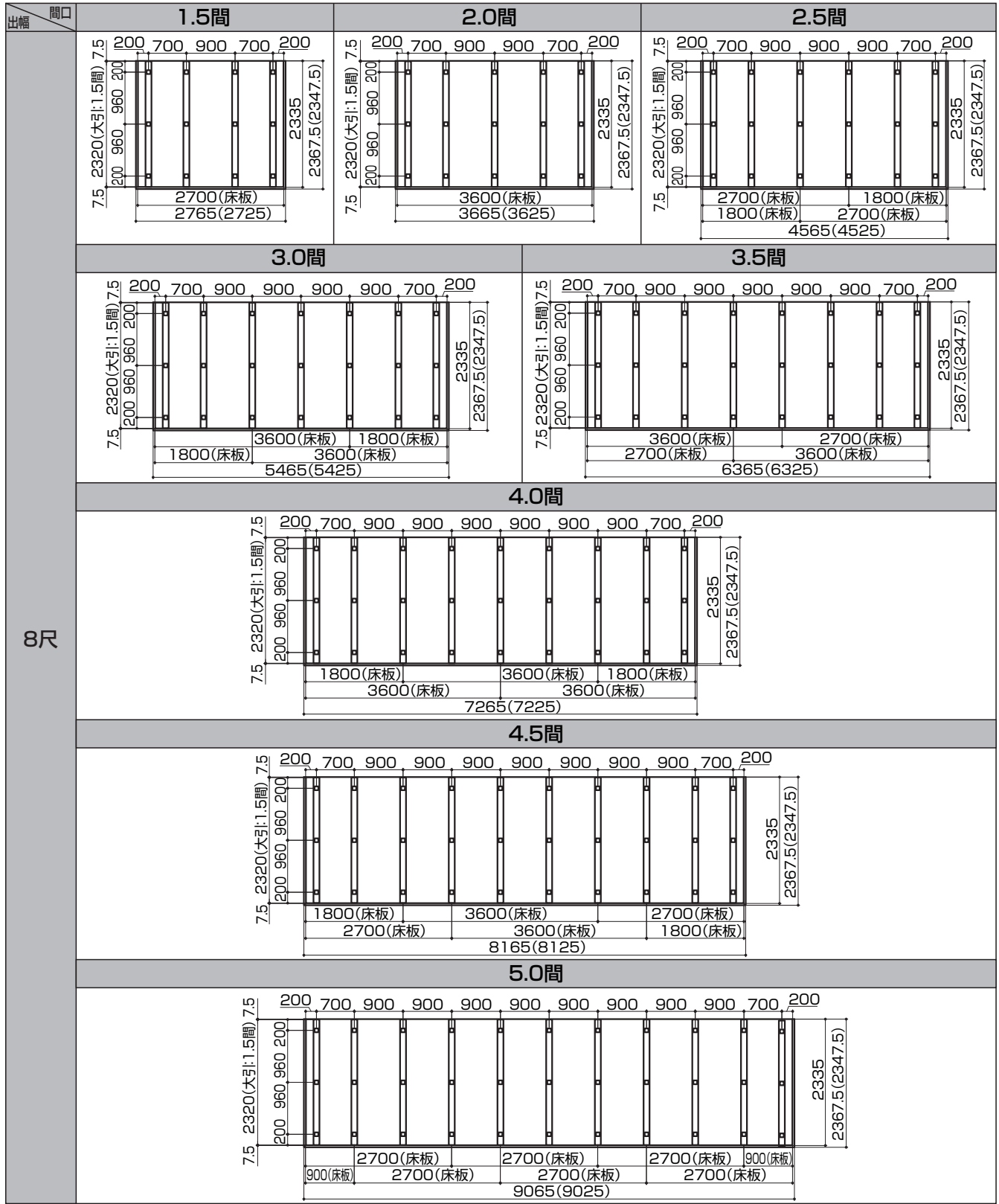
※間口方向の大引き最大芯々寸法は900mm以内にしてください。

※床板端部張出し最大寸法は、前面側200mm以内、躯体側225mm以内にしてください。



4-4 8尺 ●図は、幕板を床板固定する場合の寸法です。幕板大引き固定は「4-1 基本寸法」を参照してください。
 ○()は幕板Bの寸法です。幕板Bは、コーナー部で45°切断せずに間口方向優先で納めています。

※大引きの束柱最大芯々寸法は、1800mm以内にしてください。
 ※間口方向の大引き最大芯々寸法は900mm以内にしてください。
 ※床板端部張出し最大寸法は、前面側200mm以内、躯体側225mm以内にしてください。

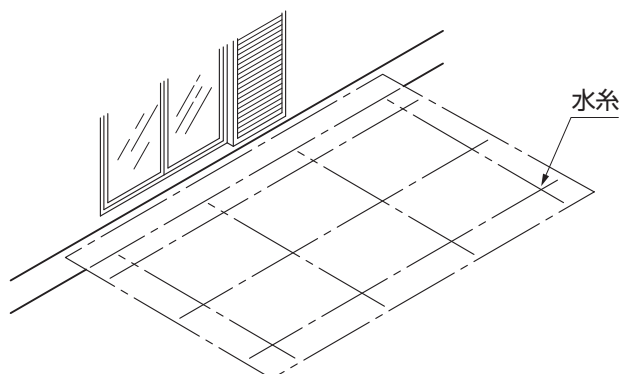


8尺

3.本体の施工方法

1

基礎石配置



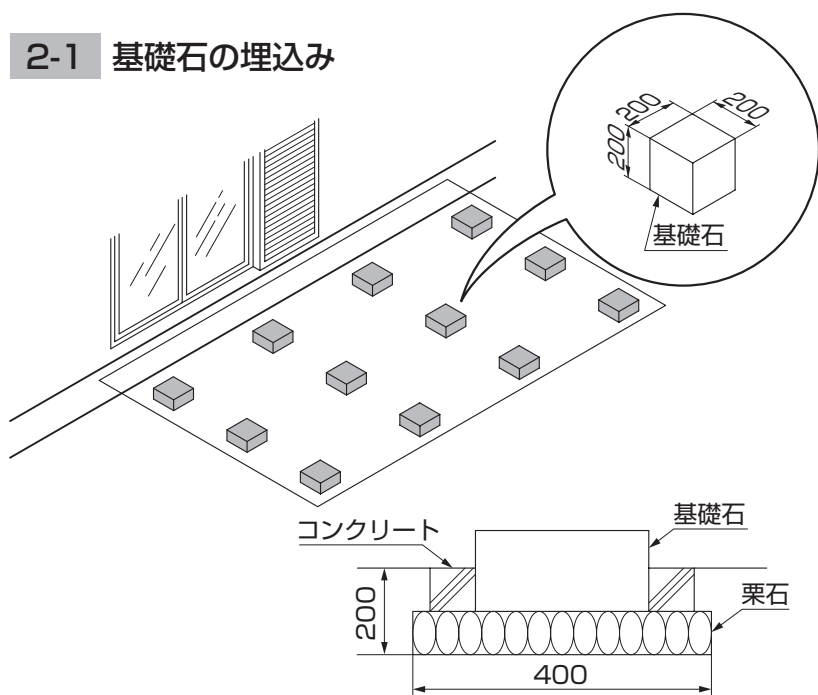
①「2.基本寸法と各部名称 3.基本寸法」を参照して、前面・両側面の水糸に寸法出しをし、基礎石の位置を決定してください。

※本体の仕様位置によっては、柱と基礎石が干渉する場合があります。本体の施工前にその事を確認の上、必要に応じて基礎を移動してください。

2

基礎の施工

2-1 基礎石の埋込み



①各基礎石の位置を約400mm角、深さ200mmに掘り、栗石を敷いて、基礎石を据えてください。

※本図基礎石は推奨寸法になります。

※この作業が十分でないと、基礎の沈みが発生する場合があります。

②基礎石のレベルを出してください。

③基礎石のまわりをコンクリートで固めてください。

※コンクリートで基礎を固めないと、基礎の浮き沈みが発生する場合があります。

2-2 束柱の加工

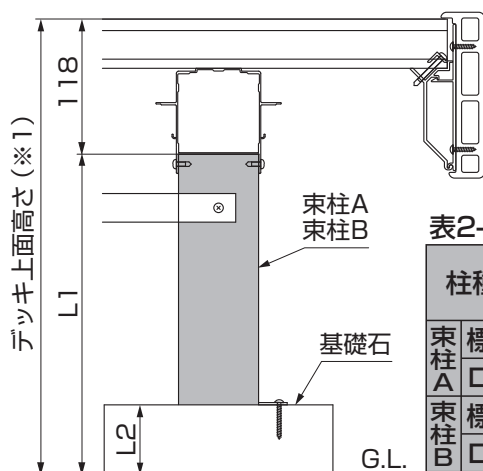


表2-1

柱種類	束柱最大切詰寸法	デッキ最低寸法
束柱A	標準	385
	ロング	935
束柱B	標準	各150
	ロング	上700 下150

①デッキ上面高さ(※1)を決定してください。

※デッキ上面高さを決めると、L1が決まります。

②束柱Aまたは束柱Bを、L1からL2を引いた寸法で切断加工してください。

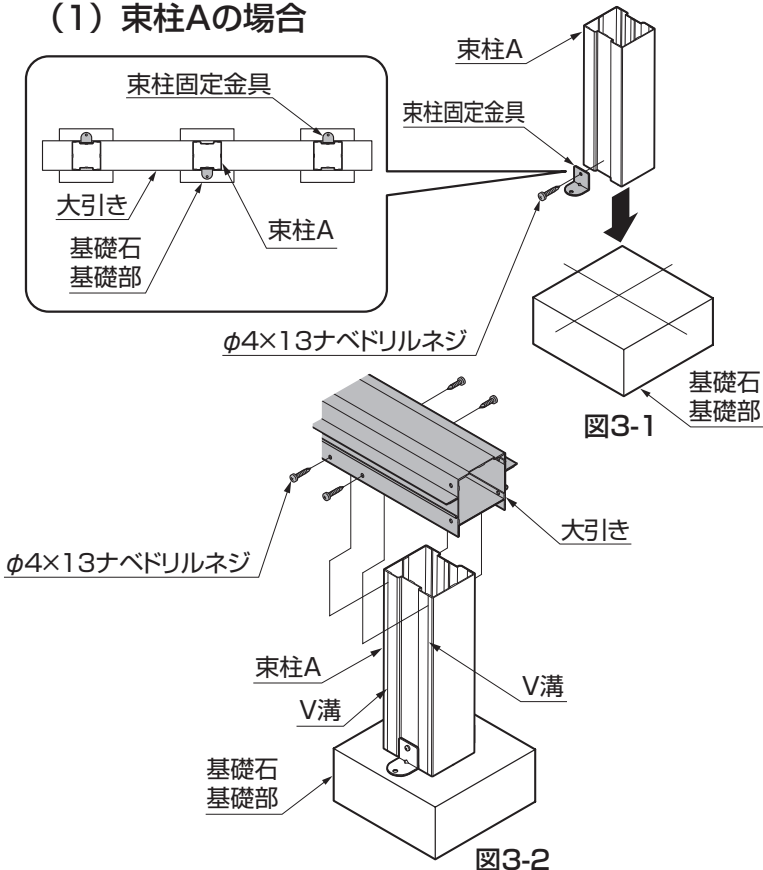
※束柱Aまたは束柱Bを切断するときには、基礎石の寸法を考えて切断加工してください。
※束柱Bは高さ調整式で、調整寸法は150mmです。

※束柱Bの切断は、柱下部側の下面方向ならびに柱上部側の上面方向より、同寸法で行ってください。

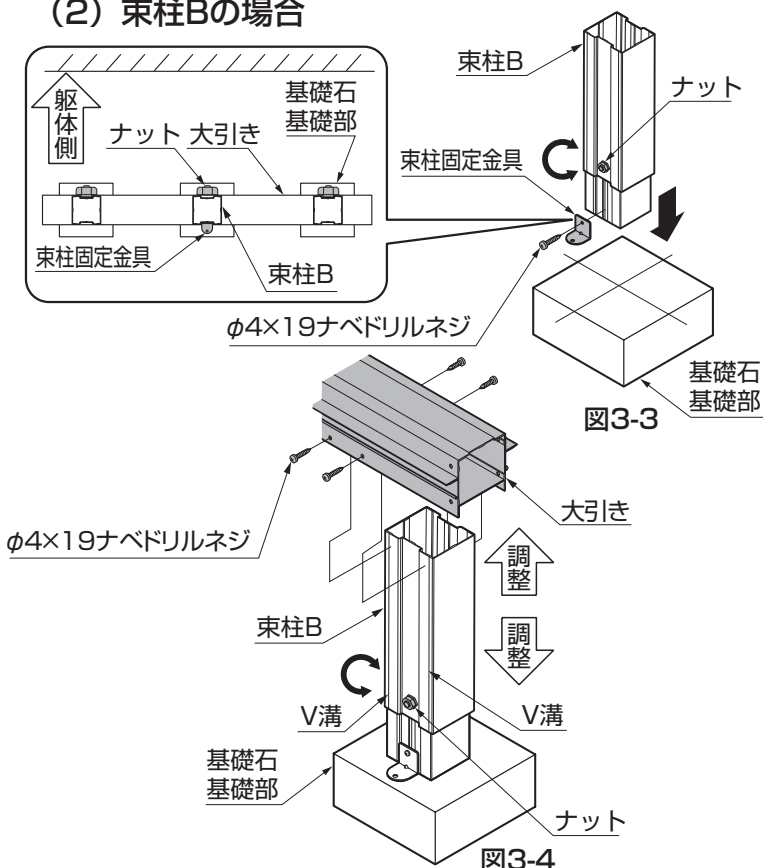
図2-2

3-1 束柱と大引きの取付け

(1) 束柱Aの場合



(2) 束柱Bの場合



①束柱Aに、束柱固定金具をφ4×13ナベドリルネジで固定してください。

※束柱固定金具は、それぞれの束柱に交互に取付けてください。(図3-1参照)

②「2.基本寸法と各部名称 3.基本寸法」を参照して、前面・両側面の水系に寸法出しをし、基礎石または基礎部に束柱Aをのせてください。

※基礎部材の水平・直角等を確認してください。

③大引きと束柱AをV溝に合わせてφ4×13ナベドリルネジで固定してください。

①束柱Bに、束柱固定金具をφ4×19ナベドリルネジで固定してください。

※束柱固定金具は、それぞれの束柱に交互に取付けてください。(図3-3参照)

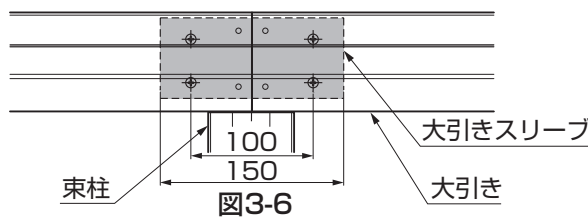
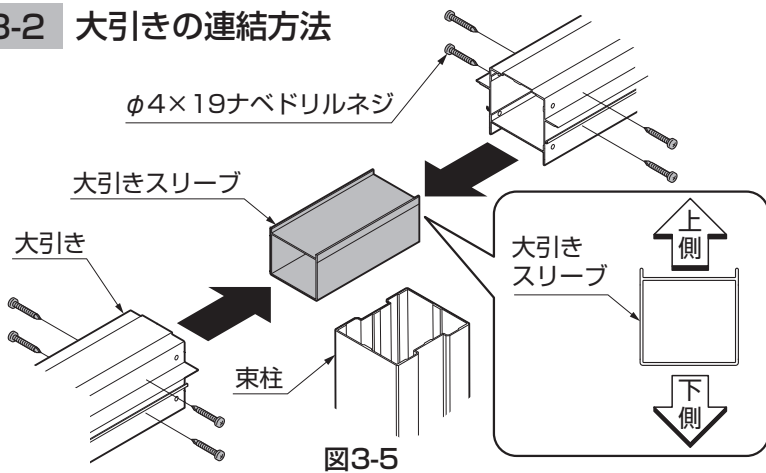
※束柱Bはナットを緩め、内側の束柱をスライドさせて表へ出し、ナットを仮締めして、内側の束柱が下になるように取付けてください。
※束柱Bの場合は、ナット部分が躯体側になるように取付けてください。

②「2.基本寸法と各部名称 3.床板縦張り基本寸法」、「2.基本寸法と各部名称 4.床板横張り基本寸法」を参照して、前面・両側面の水系に寸法出しをし、基礎石または基礎部に束柱Bをのせてください。

※基礎部材の水平・直角等を確認してください。
※束柱Bはナットを緩め、高さを調節し、水平・直角を確認してからナットを締め、V溝にφ4×19ナベドリルネジで固定してください。

③大引きと束柱BをV溝に合わせてφ4×19ナベドリルネジで固定してください。

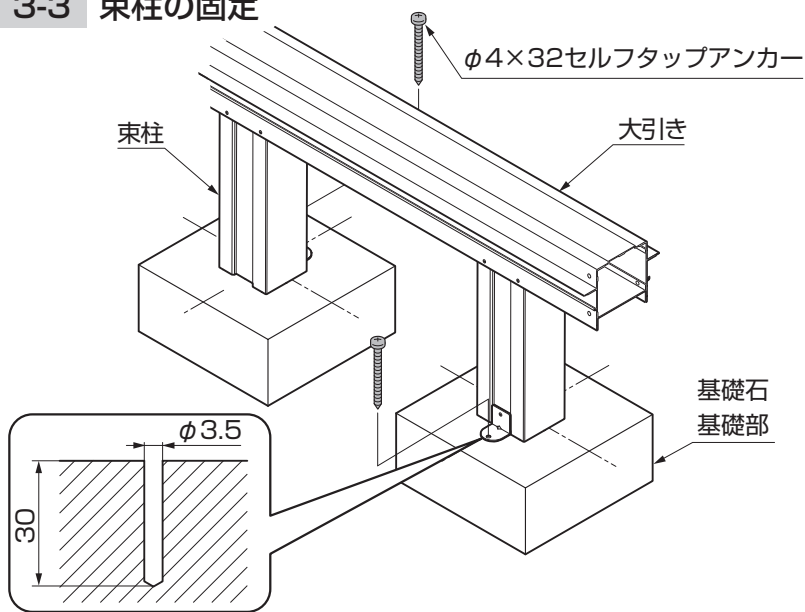
3-2 大引きの連結方法



①大引きスリーブを大引きに挿入して、φ4×19ナベドリルネジで固定してください。

※大引きの連結部は、束柱の中央上部で突き合わせて固定してください。
(図3-6参照)
※大引きスリーブ材の上下を確認してから、組付けてください。

3-3 束柱の固定



①基礎石または基礎部に、φ3.5で深30mmの下孔をあけてください。

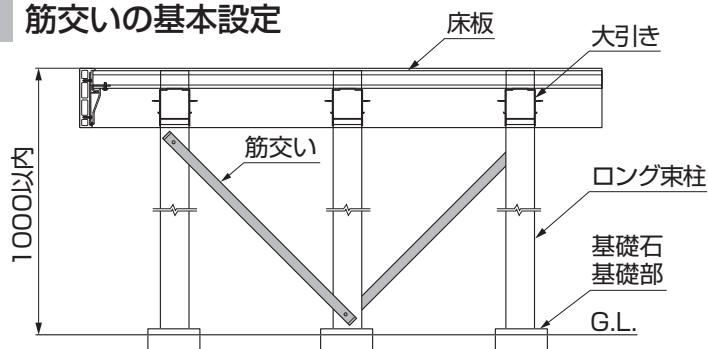
②束柱固定金具を基礎石または基礎部にφ4×32セルフタップアンカーで固定してください。

※束柱と基礎石の固定は、基礎部材の水平・直角等を確認後に行ってください。

4 筋交いの取付け

●ロング束柱の場合の作業です。

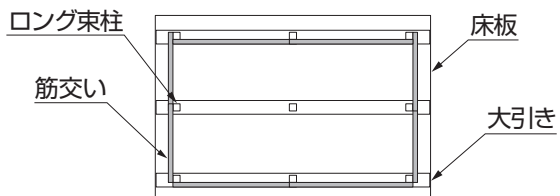
4-1 筋交いの基本設定



※筋交いの取付けは、筋交い基本設定基準および施工実施例を参考に施工してください。
※床下化粧材を取付ける場合は、筋交いをデッキ内側に取付けてください。

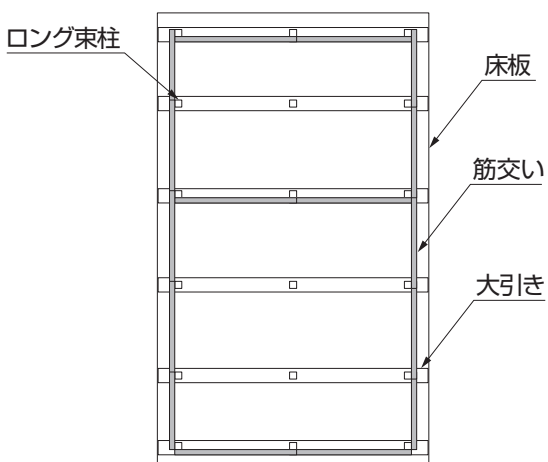
4-2 筋交いの施工実施例

(1) 出幅4000mm未満、間口4000mm未満の場合



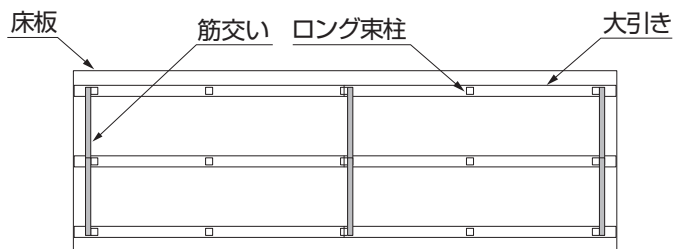
※大引き方向は、前面側と躯体側に配置してください。
 ※床板方向は、両側面側に配置してください。

(2) 出幅4000mm以上、間口4000mm未満の場合



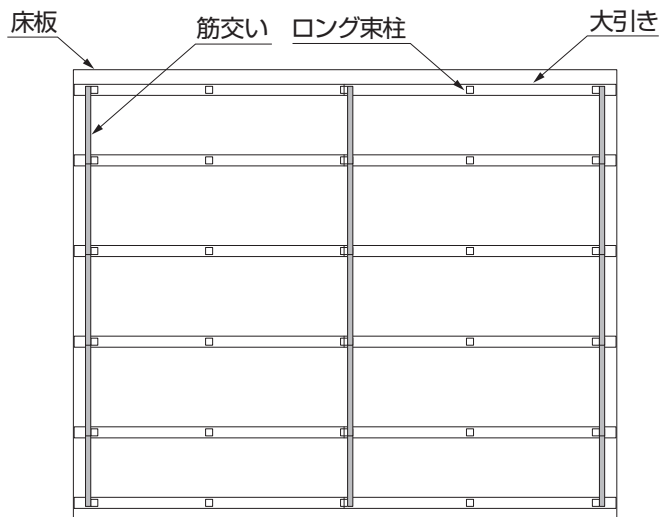
※大引き方向は、前面側、躯体側ならびに出幅4000mmにつき1筋配置してください。
 ※床板方向は、両側面側に配置してください。

(3) 出幅4000mm未満、間口4000mm以上の場合



※床板方向は、両側面側と間口4000mmにつき1筋配置してください。

(4) 出幅4000mm以上、間口4000mm以上の場合



※床板方向は、両側面側と間口4000mmにつき1筋配置してください。

4-3 筋交いの取付け

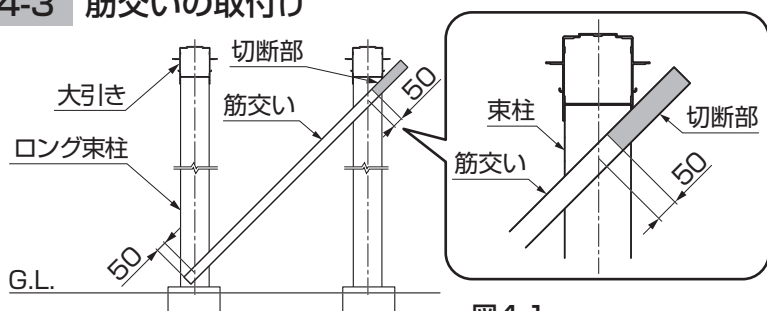


図4-1

①取付位置を確認し、束柱の中心から50mm程度で切断してください。

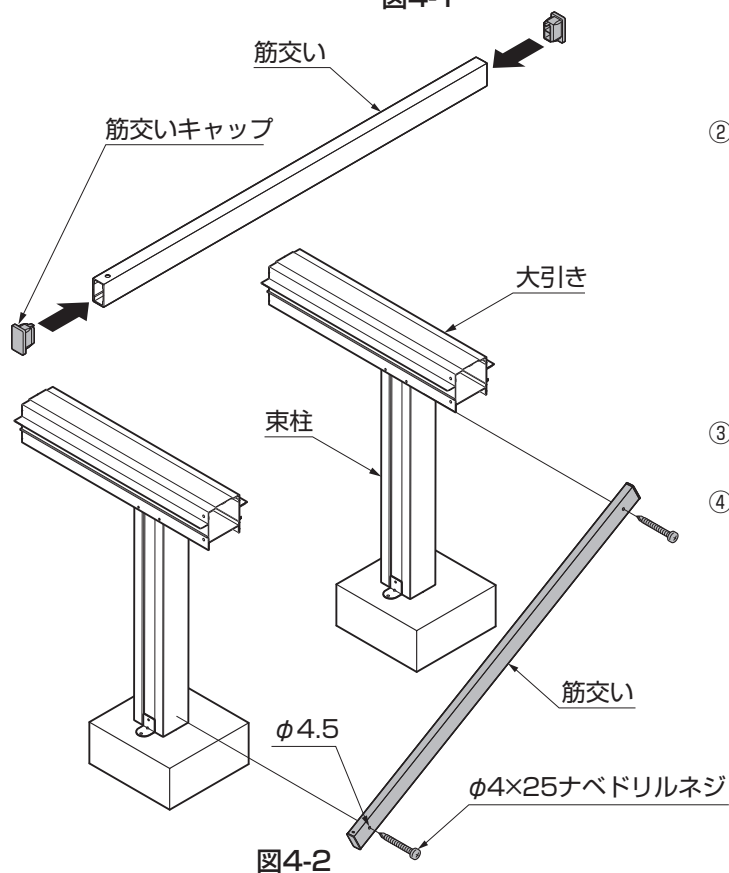


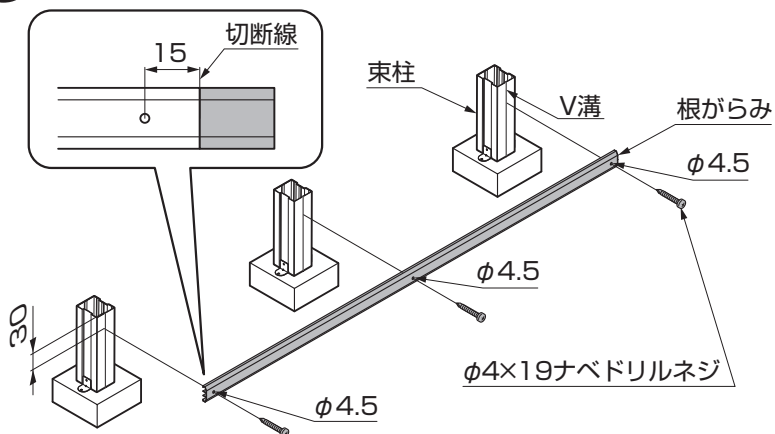
図4-2

②筋交いの両端に筋交いキャップを押し込んで取付けてください。

③筋交いにφ4.5の孔をあけてください。

④束柱に筋交いを、φ4×25ナベドリルネジで固定してください。

5 根がらみの取付け オプション



①大引きのピッチにあわせて根がらみにφ4.5の孔をあけてください。

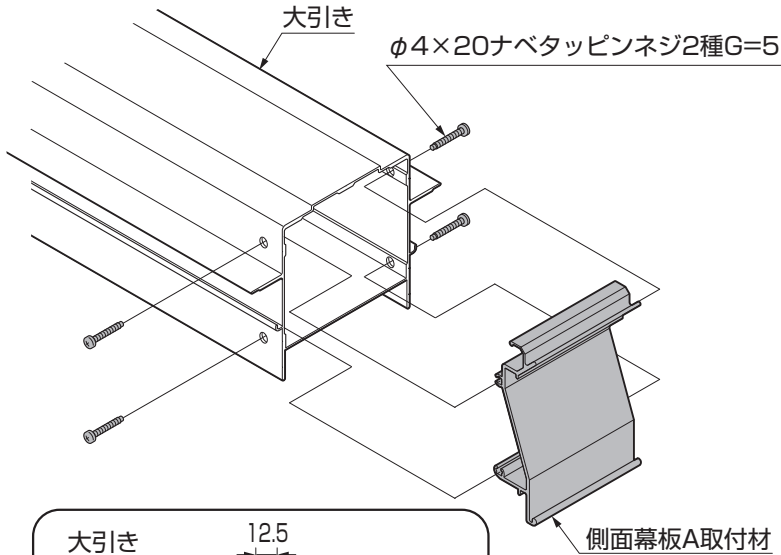
②根がらみを端部の孔から15mmの位置で切断してください。

③束柱のV溝にあわせて根がらみを束柱の上端から30mmの位置に、φ4×19ナベドリルネジで取付けてください。

6

側面幕板取付材の取付け

6-1 側面幕板A取付材の取付け



①床板を取付け始める側に、側面幕板A取付材を大引きにφ4×20ナベタッピンネジ2種G=5で固定してください。

※反対側は床板を取付け終わってから、側面幕板A取付材を取付けてください。

※大引き切断の場合は、図6-2を参照して下孔をあけてください。

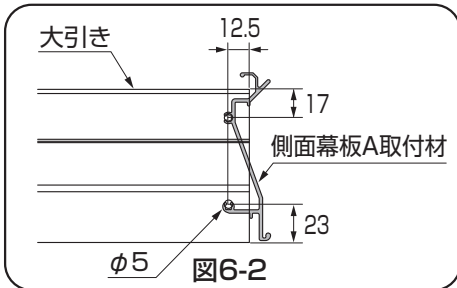
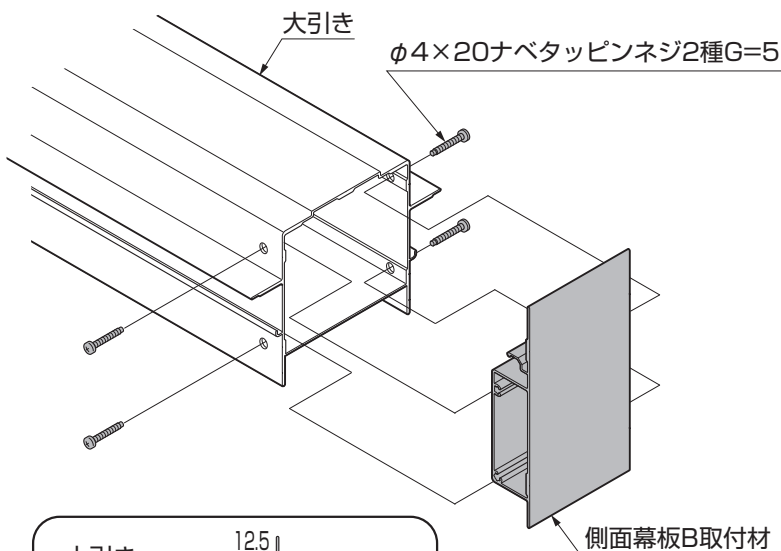


図6-1

6-2 側面幕板B取付材の取付け



①床板を取付け始める側に、側面幕板B取付材を大引きにφ4×20ナベタッピンネジ2種G=5で固定してください。

※反対側は床板を取付け終わってから、側面幕板B取付材を取付けてください。

※大引き切断の場合は、図6-4を参照して下孔をあけてください。

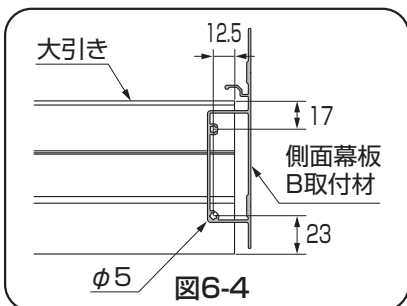


図6-3

7-1 床板補強材の取付け位置の確認

(1) デッキ前面部にフェンス柱を取付ける場合

●デッキ前面部に取付ける場合の作業です。デッキ側面部には不要です。

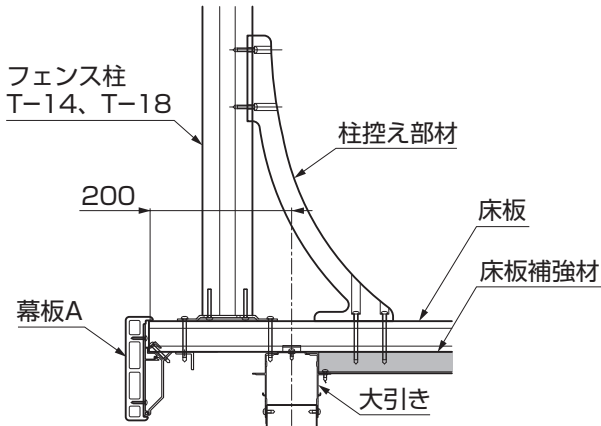


図7-1

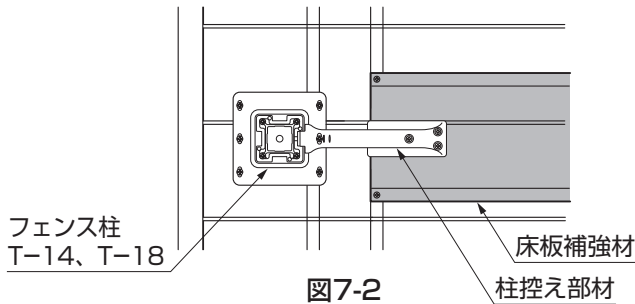
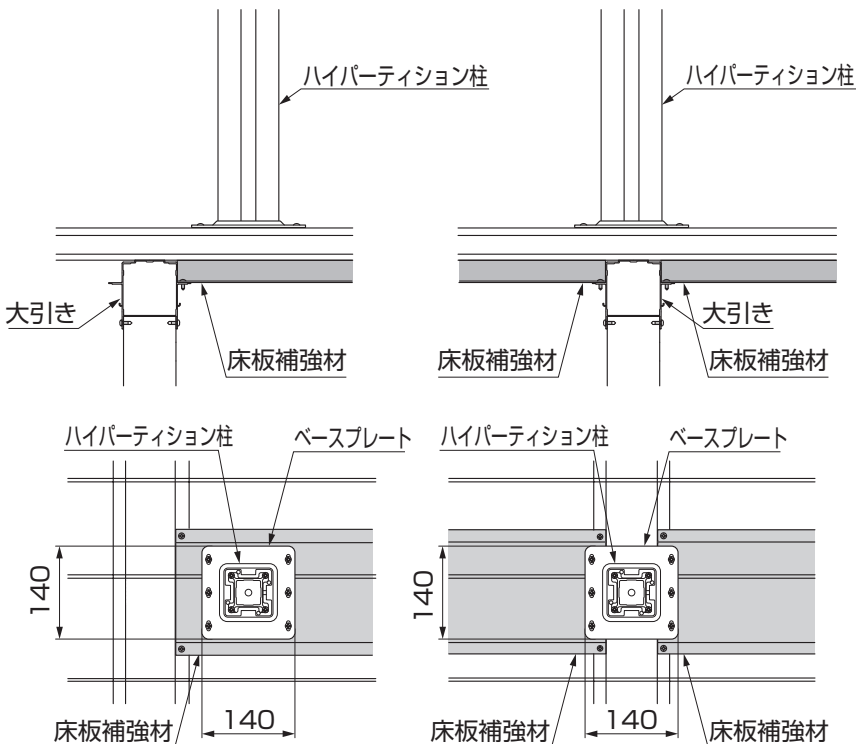


図7-2

▲ 注意

- 左図はフェンス柱がT-14以上の場合です。T-12以下の場合、床板補強材および柱控え部材は不要です。
- フェンス柱T-14、T-18をデッキ前面部に取付ける場合は、柱控え部材の固定、強度確保のために床板補強材を取付けてください。
- 床板の張出しを大引きの中心から200mmにしてください。短くすると、柱が取付かなくなる場合があります。

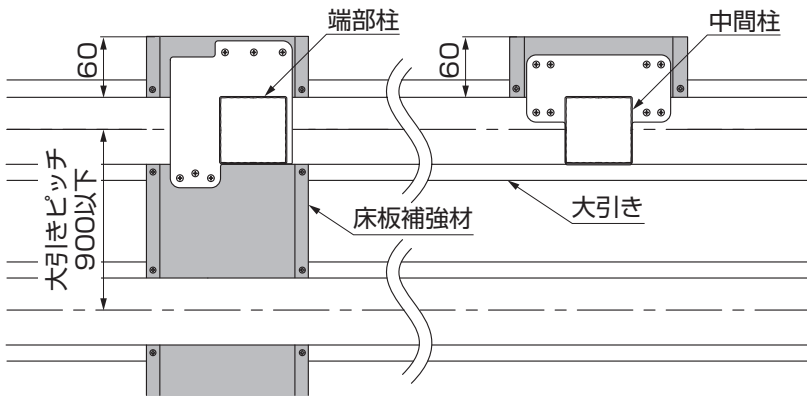
(2) デッキ中間部にハイパーティション柱を取付ける場合



▲ 注意

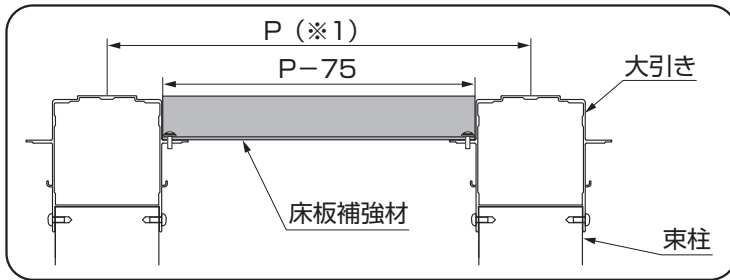
- ハイパーティション柱をデッキ中間部に取付ける場合は、ベースプレートの固定、強度確保のために床板補強材を取付けてください。

(3) ほせるんですⅡ (デッキON) を取付ける場合



- ※ほせるんですⅡ(デッキON)を取付ける場合は、床板補強材を取付けてください。
- ※大引きピッチは900以下にしてください。
- ※前面下枠は、大引きに固定してください。
- ※側面下枠は、床板補強材に固定してください。
- ※柱の取付位置の直下に大引きを設置してください。
- ※詳細は「ほせるんですⅡ 人工木 取付説明書」を参照してください。

7-2 床板補強材の取付け



①大引きピッチ(※1)にあわせて床板補強材を切断してください。(図7-3参照)

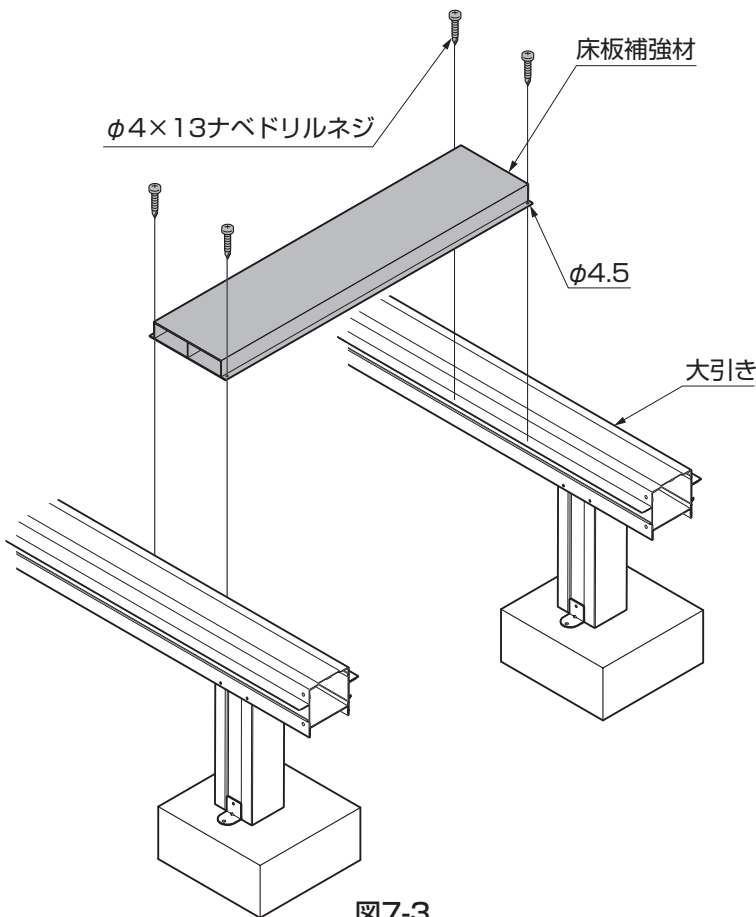


図7-3

- ②床板補強材1本当りに4ヶ所、φ4.5の孔をあけてください。
- ③大引きに床板補強材を、φ4×13ナベドリルネジで固定してください。

8-1 補助根太取付部品の取付け ●特殊納まりの加工です。

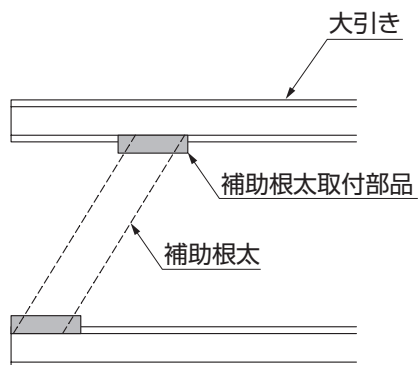


図8-1

①補助根太を取付ける位置を確認してください。

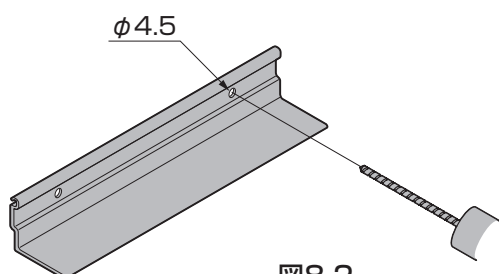


図8-2

②補助根太取付部品に2ヶ所、 $\phi 4.5$ の孔をあけてください。

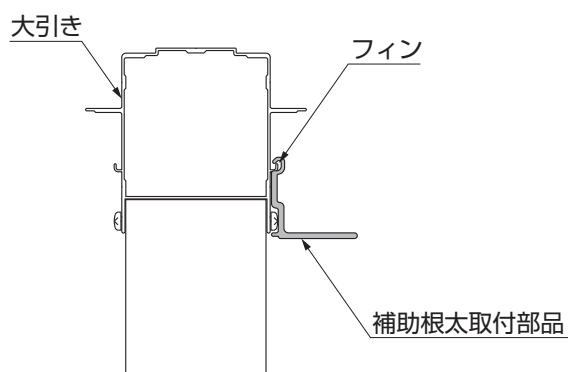


図8-3

③補助根太取付部品の上部を、大引きのフィンにひっかけて取付けてください。

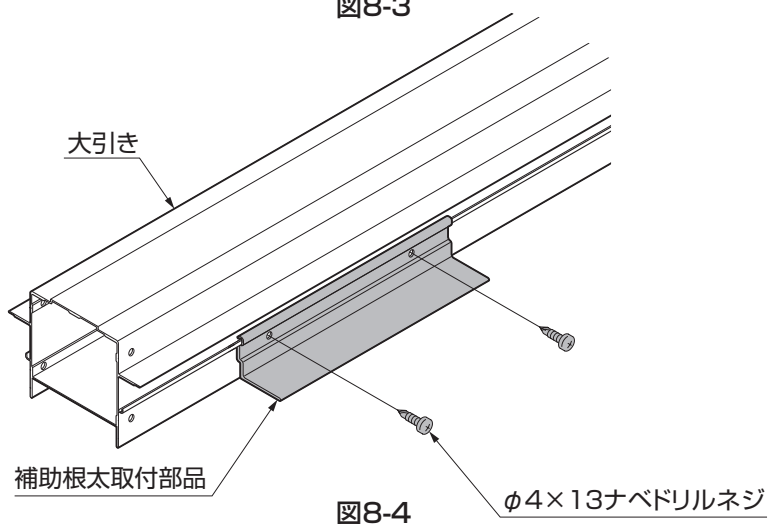


図8-4

④大引きに補助根太取付部品を、 $\phi 4 \times 13$ ナベドリルネジで固定してください。

8-2 角切り ●特殊納まりの加工です。

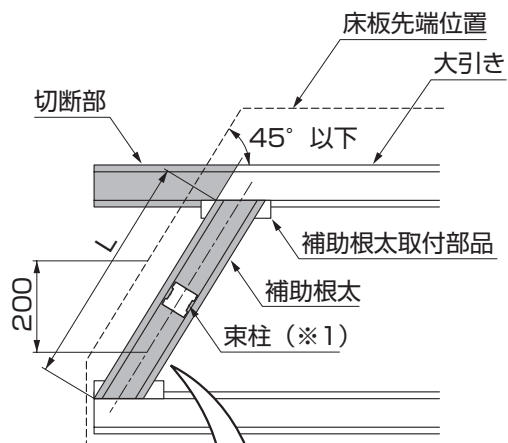
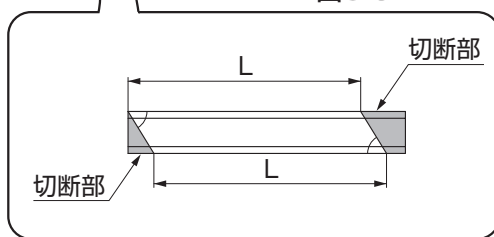


図8-5



※床板の角切りは、45°以下で切断するように補助根太をつけてください。

①角切りする角度で大引きを切断してください。

※L寸法が800mm以上の場合、中間部に束柱(※1)を設置してください。

※補助根太の中心から床板先端まで200mm以内にしてください。

②L寸法を実測して、角切りする角度で、補助根太を切断してください。

※L寸法が2000mm以上の場合、補助根太の代わりに大引きを使用し、束柱を2本設置してください。

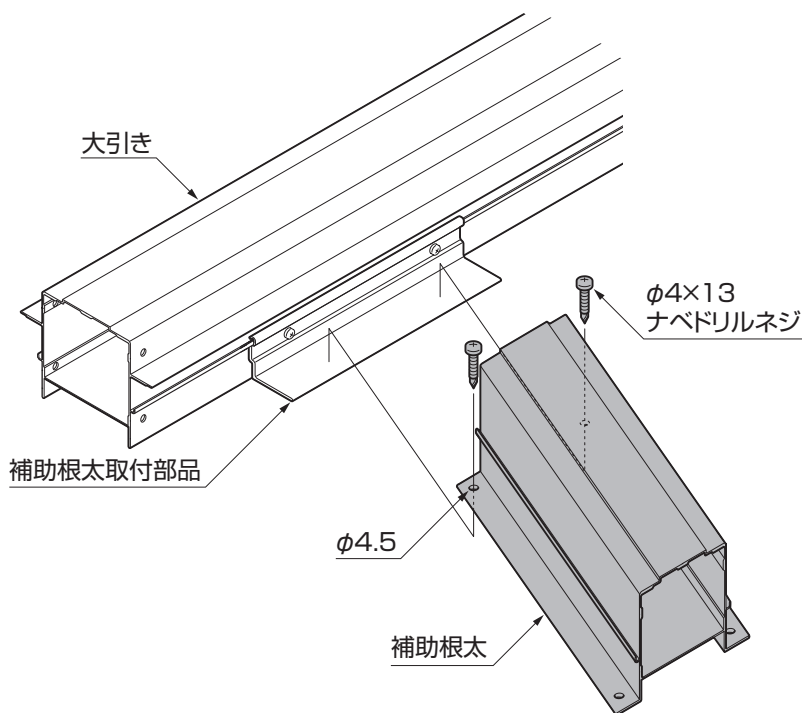


図8-6

③補助根太に4ヶ所、φ4.5の孔をあけてください。

④補助根太を補助根太取付部品に、φ4×13 ナベドリルネジで固定してください。

8-3 R加工 ●特殊納まりの加工です。

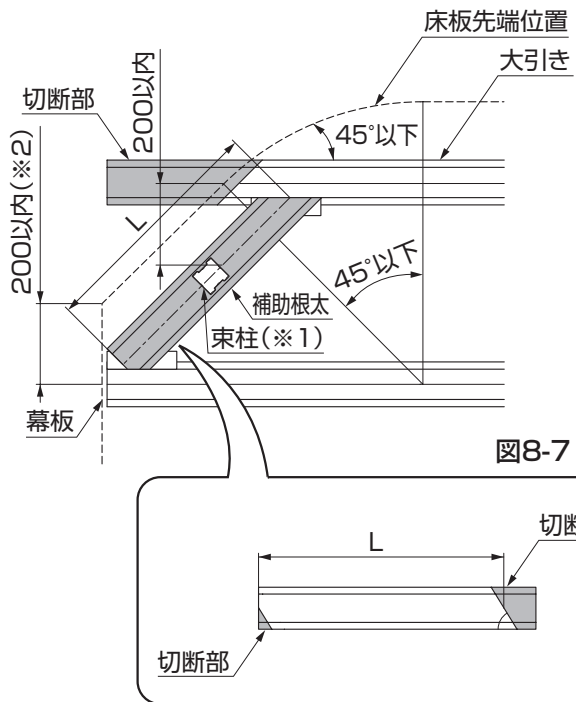


図8-7

※床板の角切りは、45°以下で切断するように補助根太をつけてください。

①床板の先端に合わせて大引きを切断してください。

※L寸法が800mm以上の場合は、中間部に束柱(※1)を設置してください。

※補助根太の中心から床板先端まで200mm以内にしてください。

※側面幕板のとび出し(※2)は200mm以内にしてください。

②L寸法を実測して、現物に合わせて補助根太を切断してください。

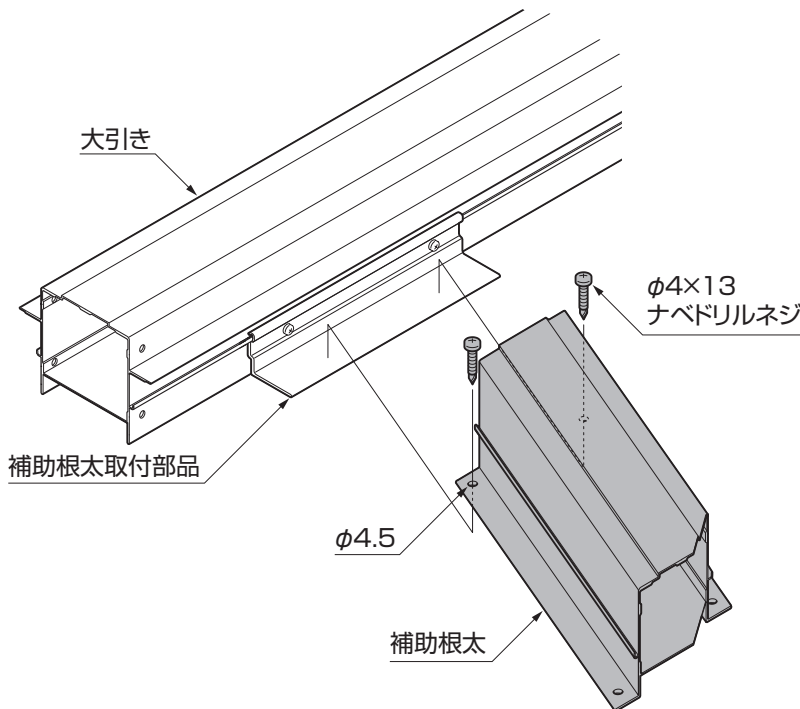


図8-8

③補助根太に3ヶ所、φ4.5の孔をあけてください。

④補助根太を補助根太取付部品に、φ4×13 ナベドリルネジで固定してください。

9 躯体付けアングルの取付け オプション

●躯体面と大引きとの距離が200mmを超える場合の作業です。

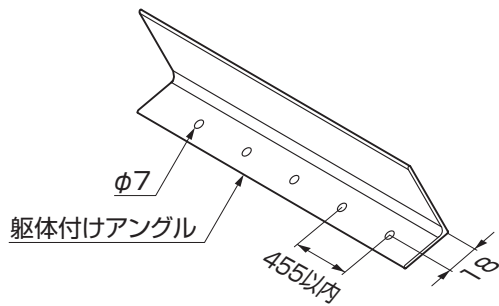


図9-1

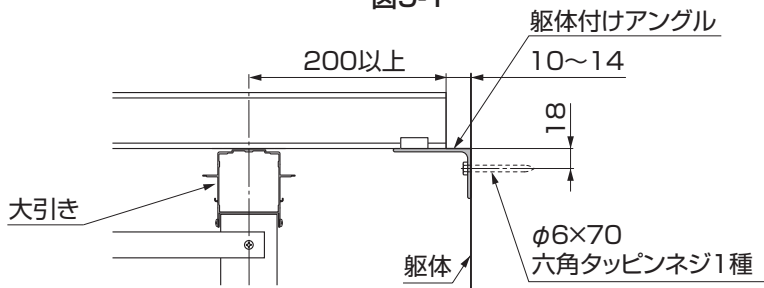


図9-2

※躯体付けアングル上面と、大引き上面の高さは同じにしてください。

- ①躯体付けアングルにφ7の孔を、455mmピッチ以内であけてください。
- ②躯体付けアングルの躯体にφ6×70六角タッピンネジ1種で固定してください。

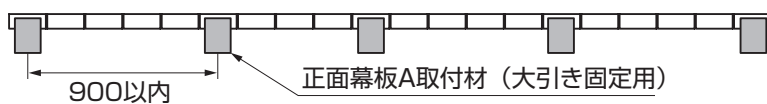
※φ6×70六角タッピンネジ1種は、躯体の構造部材に取付けてください。

10 正面幕板取付材（大引き固定用）の取付け

●正面幕板を大引き固定する場合の作業です。

10-1 正面幕板取付材（大引き固定用）の取付位置の確認

(1) 幕板Aの場合



(2) 幕板Bの場合



- ①図を参照して、正面幕板A取付材（大引き固定用）または正面幕板B取付材（大引き固定用）を取付ける位置を確認してください。

※取付位置は幕板Aでは3つおきの箇所と4つおきの箇所、幕板Bでは2つおきの箇所と3つおきの箇所がありますので、注意してください。

※正面幕板取付材（大引き固定用）は、始まりと終わり、および幕板接続部に必ず取付けてください。

※フェンスベースプレートの固定に正面幕板取付材（大引き固定用）を用いる場合は、「MAL-245デッキフェンス、MAL-246ウッドパーティション、MAL-247ハイパーパーティション、MAL-970モダンデッキフェンス」の取付け説明書を参考に位置を確認してください。

10-2 正面幕板取付材（大引き固定用）の取付け

(1) 正面幕板A取付材（大引き固定用）の場合

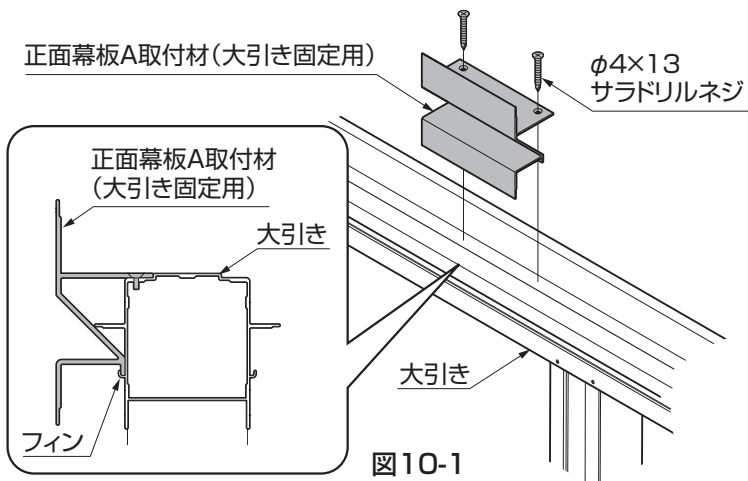
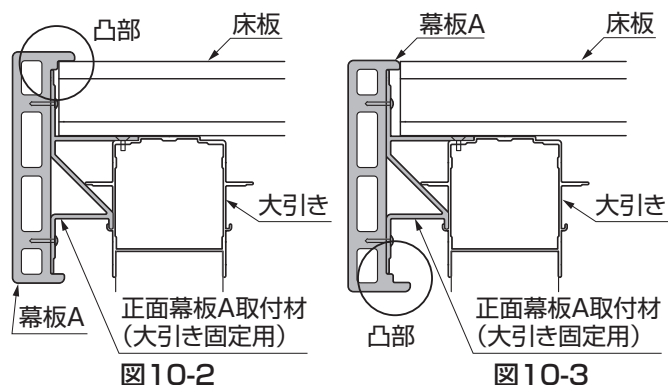


図10-1

- ①正面幕板A取付材（大引き固定用）を大引きのフィンに引っかけて取付けてください。

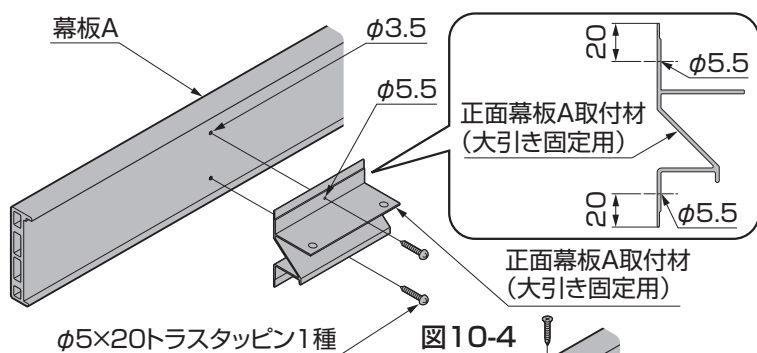
- ②正面幕板A取付材（大引き固定用）を大引きにφ4×13サラドリルネジで固定してください。

(2) 正面幕板A取付材 (大引き固定用) を内側からネジ止めする場合



※幕板Aの凸部を上正面幕板A取付材 (大引き固定用) を取付けると、幕板と床板のすき間を隠すことができますが、床板との段差ができます。(図10-2参照)

※幕板Aの凸部を下正面幕板A取付材 (大引き固定用) を取付けると、床板はフラットになります。(図10-3参照)



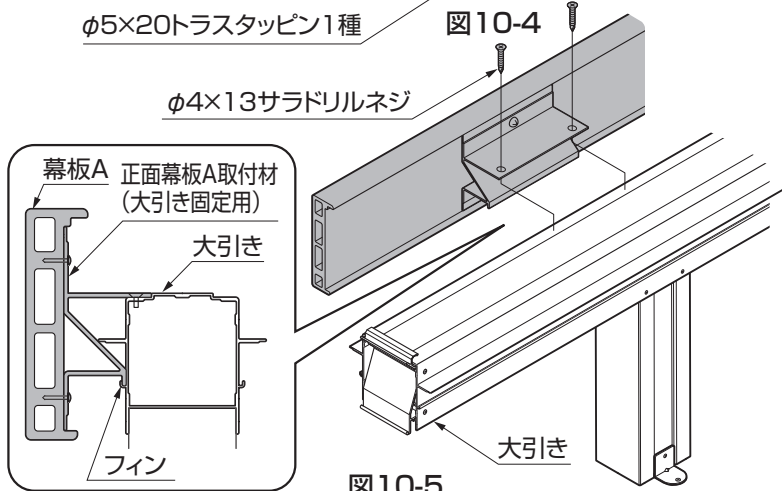
①正面幕板A取付材 (大引き固定用) に上部から20mmと下部から20mmに2ヶ所、5.5の孔をあけてください。(図10-4参照)

②正面幕板A取付材 (大引き固定用) を幕板Aにあてて、幕板Aにφ3.5の下孔をあけてください。

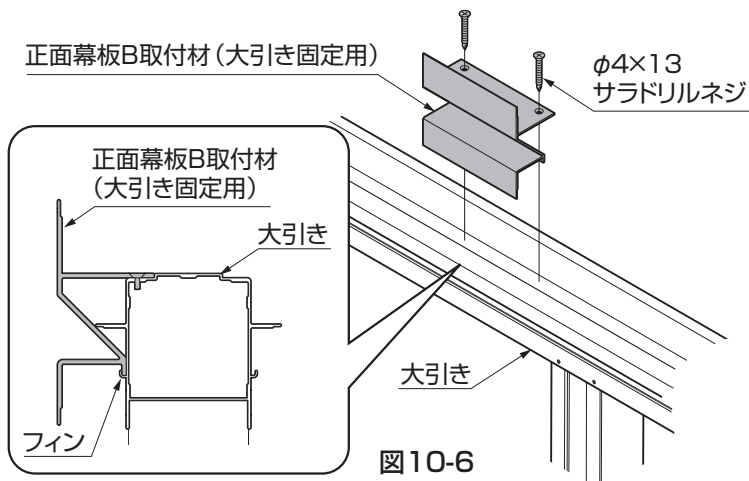
③正面幕板A取付材 (大引き固定用) を幕板Aに、φ5×20トラスタッピン1種で取付けてください。

④正面幕板A取付材 (大引き固定用) を、大引きのフィンに引っかけて取付けてください。

⑤正面幕板A取付材 (大引き固定用) を、大引きにφ4×13サラドリルネジで固定してください。



(3) 正面幕板B取付材 (大引き固定用) の場合



①正面幕板B取付材 (大引き固定用) を、大引きのフィンに引っかけて取付けてください。

②正面幕板B取付材 (大引き固定用) を、大引きにφ4×13サラドリルネジで固定してください。

11

床板の取付け

11-1 床板取付上の注意

(1) Rコーナー、角度切り取付上の注意

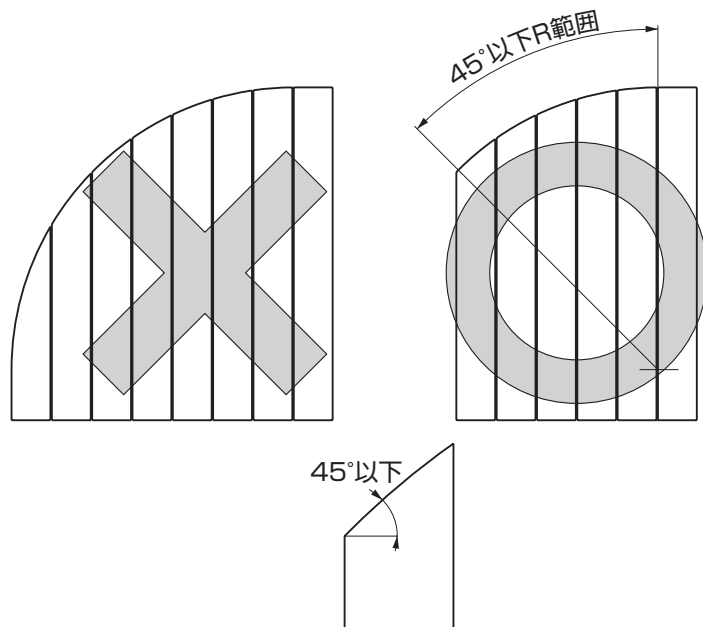


図11-1

- ※Rコーナーは800R以上にしてください。
- ※床板のRコーナー納りは正面側から45°の範囲までです。
- ※床板の切断は45°以下にしてください。(図11-1参照)

(2) くり貫き納まりの床板取付上の注意

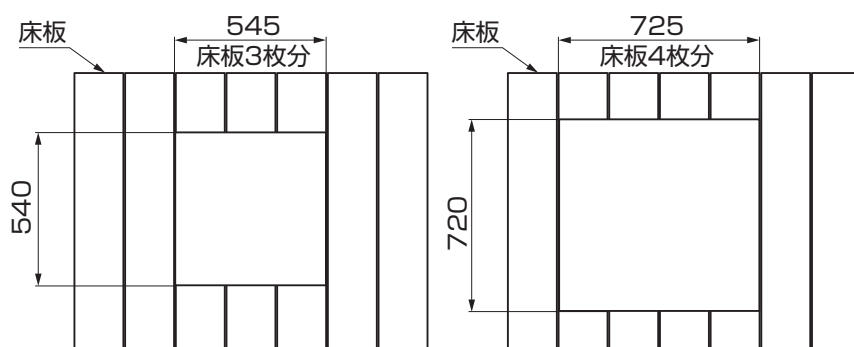


図11-2

- ※床板3枚分、または4枚分をあけて床板を取付けてください。

(3) タイルフロアの床板取付上の注意

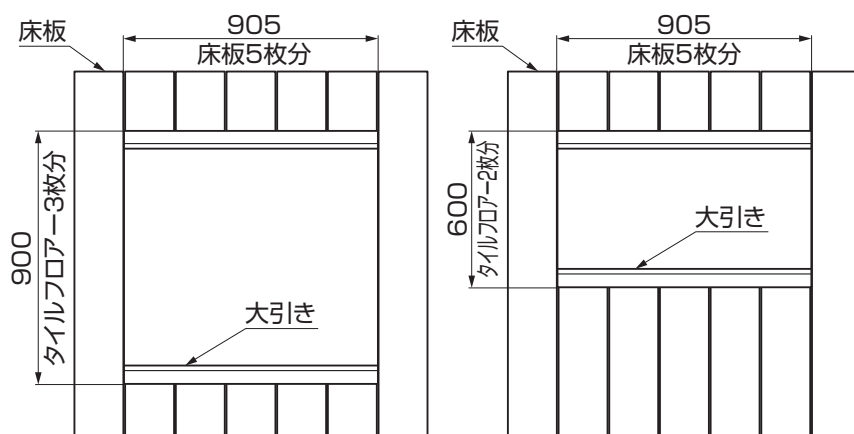
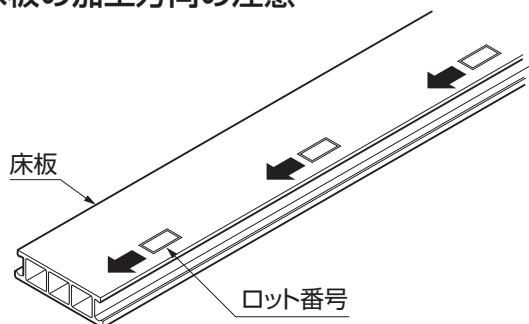


図11-3

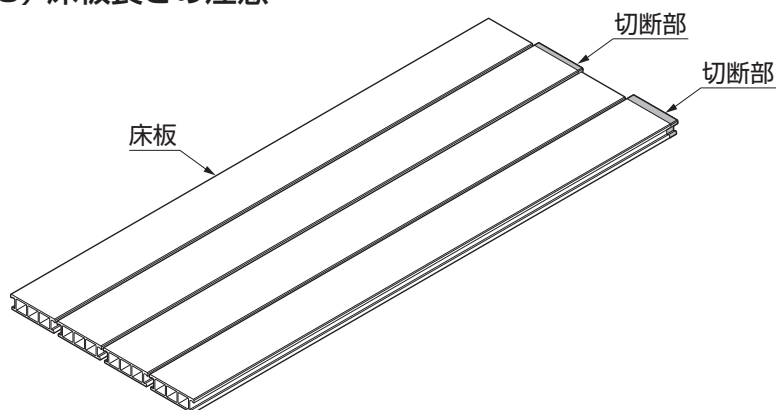
- ※床板5枚分をあけて床板を取付けてください。

(4) 床板の加工方向の注意



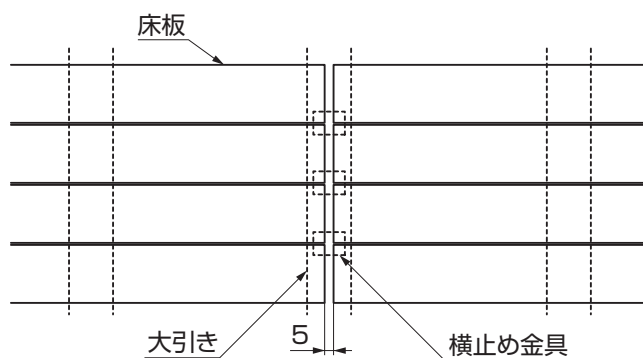
※床板表面には、長手方法に表面加工がされています。加工方向によって色が異なって見えることがあります。床板の加工方向を一定にしてから固定してください。床板の裏面にロット番号と矢印が刻印されています。矢印の方向が加工方向を示していますので、矢印の方向をそろえてから施工してください。

(5) 床板長さの注意



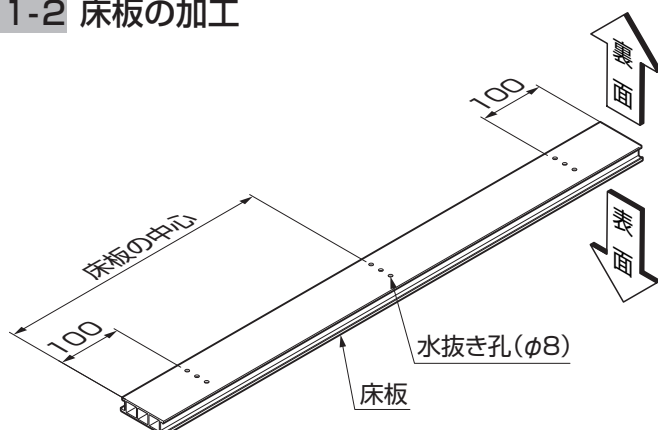
※人工木材は、温度変化による伸縮により、長さに若干のばらつきがあります。施工前に長さをそろえてから、固定してください。

(6) 床板を連棟する場合の注意



※床板の連棟部に大引きがくるように配置してください。
 ※床板連棟部のすき間を5mmにしてください。

11-2 床板の加工



①床板へ水抜き孔(φ8)をあけてください。孔位置は両端部から約100mmの箇所と中心部へ(3つのホロー部それぞれにかかるように)孔をあけてください。
 ※床板へ水抜き孔をあけるときに表面へ貫通させないように注意してください。

11-3 床板の固定 ●図は側面幕板A取付材の場合を示します。

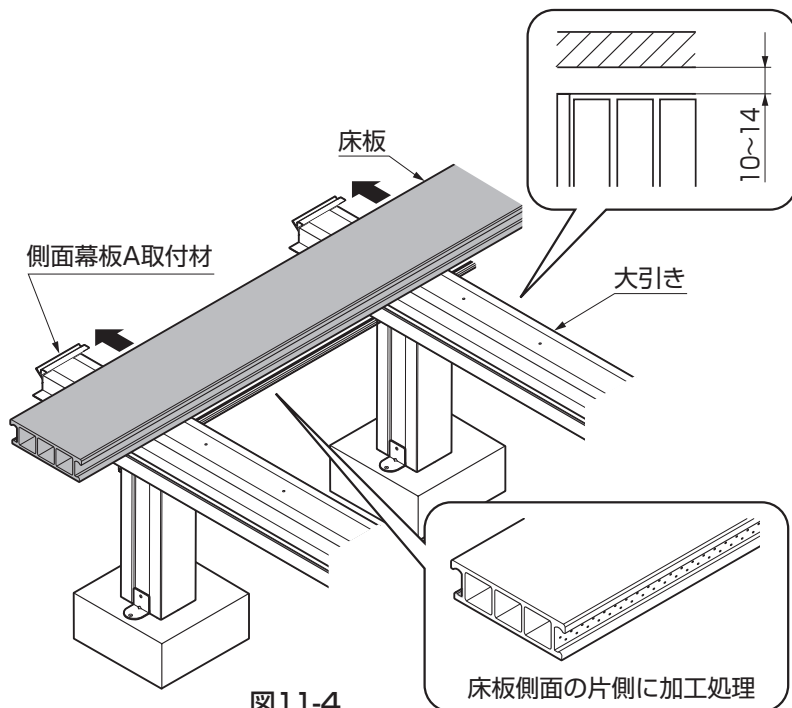


図11-4

①床板を大引きの側面幕板A取付材、または側面幕板B取付材に差し込んでください。

※躯体側隙間塞ぎ材を使用する場合は、躯体と床板端部の隙間を10~14mmにしてください。

※床板側面の片側には加工が施されており手で触れると表面がザラザラしています。床板施工時にこの加工方向を合わせることで床板表面の研磨加工方向を揃えることができます。

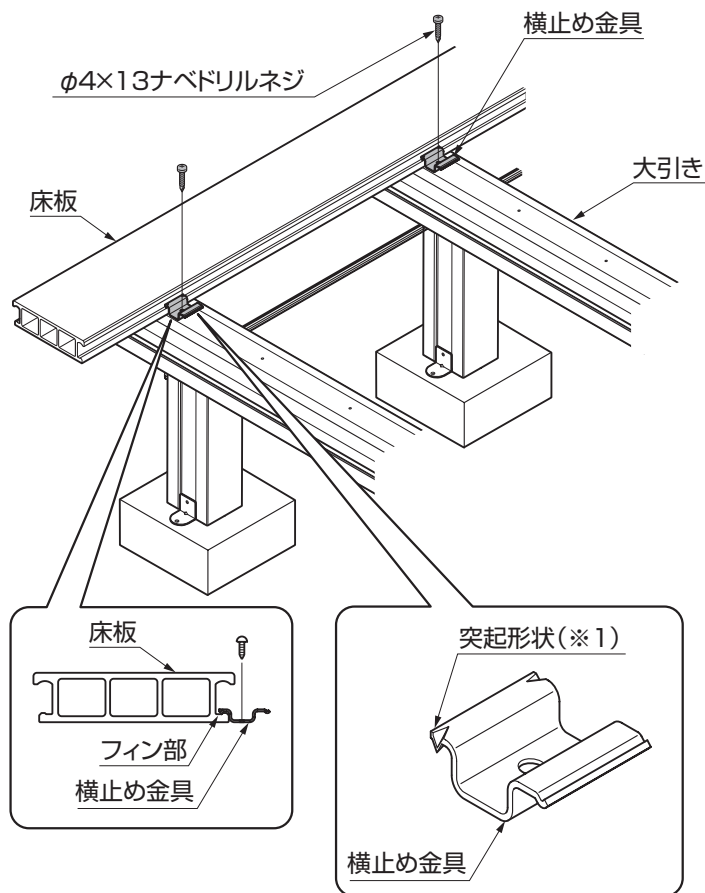


図11-5

②横止め金具を床板のフィン部に乗せて、φ4×13ナベドリルネジで下孔の位置に取付けてください。

※突起形状(※1)のある側を、床板のフィン部に取付けてください。

※オプションの目地塞ぎ材Aを取付ける際は、「11-5 目地塞ぎ材Aの取付け」を参照してください。

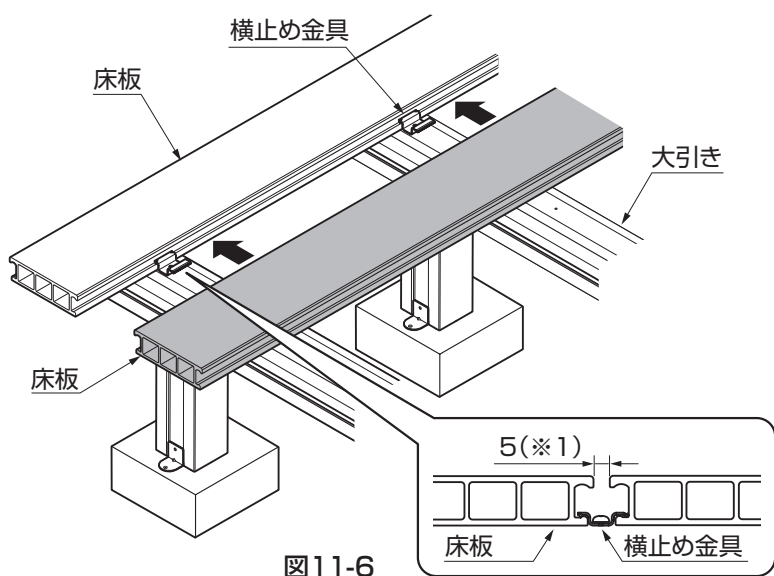


図11-6

③床板同士のすき間が5mm(※1)になるように、床板を横止め金具に差し込んでください。

※床板のすき間は孔開け治具で確認できます。

※入りにくい時はプラスチックハンマーで軽くたたいて入れてください。

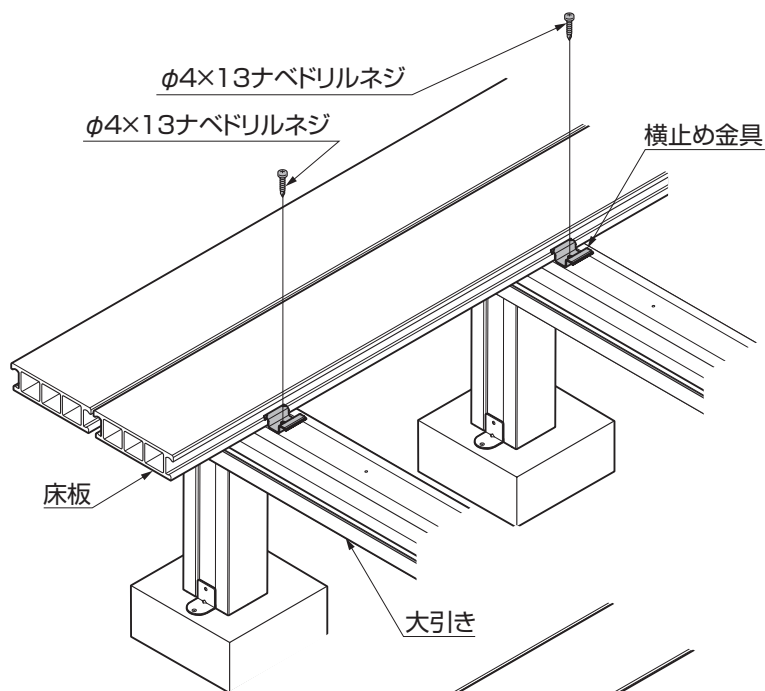


図11-7

④2枚目以降も横止め金具をφ4×13ナベドリルネジで大引きの下孔の位置に取付けてください。

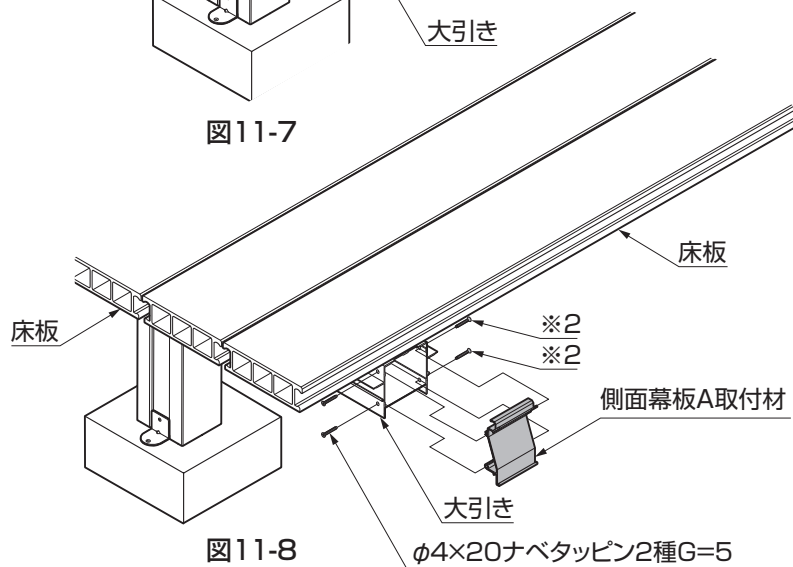
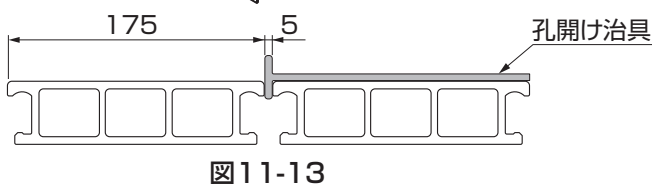
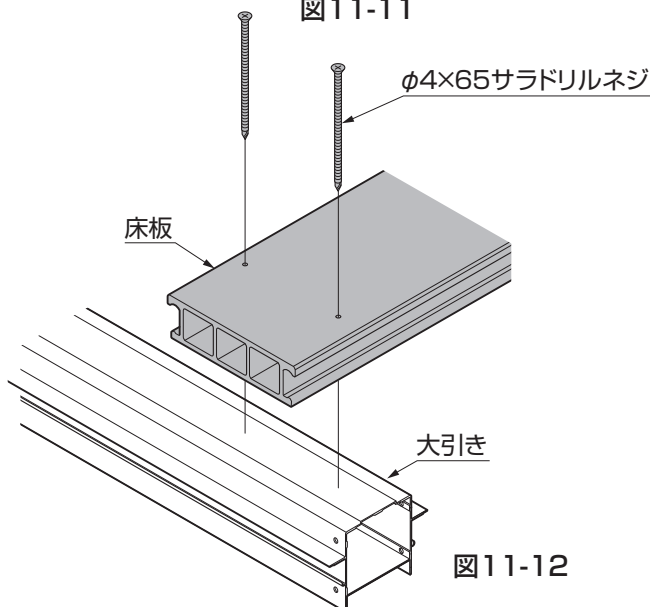
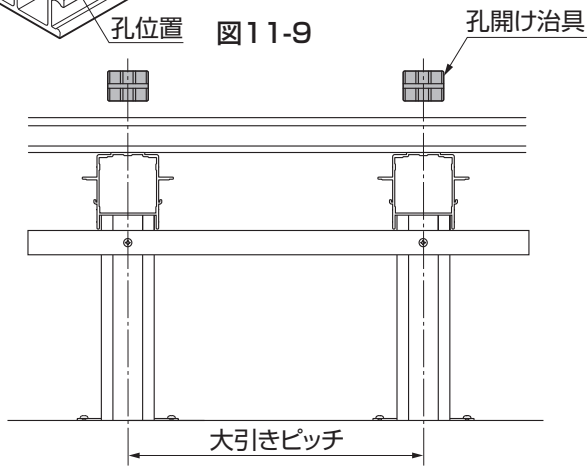
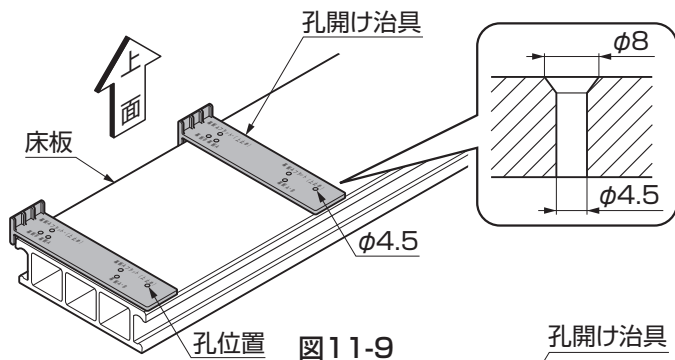


図11-8

⑤側面幕板A取付材または側面幕板B取付材を大引きにφ4×20ナベタッピン2種G=5で取付けてください。

※正面幕板取付材(大引き固定用)を使用する場合、φ4×20ナベタッピン2種G=5は2本止め(※2)してください。

11-4 横止め金具で固定できない場合



①床板を「3.基本寸法」を参照して、大引きのピッチで孔開け治具を使って、φ4.5の貫通孔をあけてください。
(図11-9、図11-10参照)

※孔開け治具の○印の孔を使ってください。(図11-11参照)

※床板先端と孔開け治具の向きを逆にしない様注意してください。

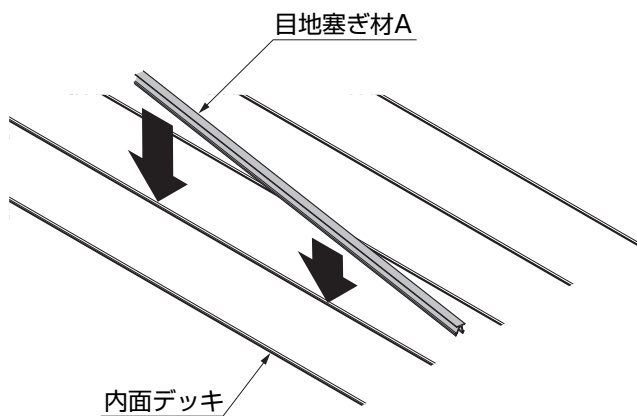
②床板上面のφ4.5の孔にφ8サラ取り加工をしてください。

③床板を大引きに、φ4×65サラドリルネジで固定してください。

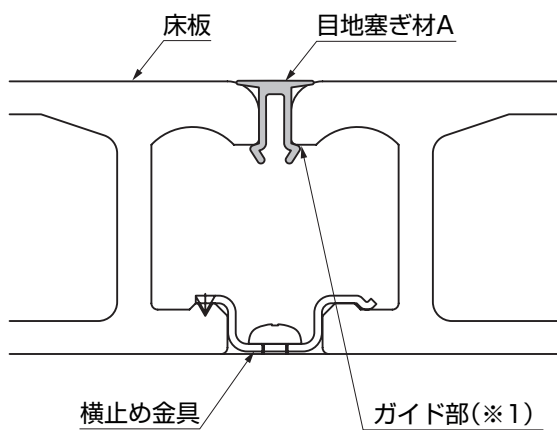
※電動ドライバー等での締め付け過ぎに注意してください。締め過ぎると床板が割れるおそれがあります。

※孔開け治具を使って、床板と床板のすき間を5mmにしてください。
(図11-13参照)

11-5 目地塞ぎ材Aの取付け **オプション**



①床板の長さにそろえて目地塞ぎ材Aをカット後、目地部へはめ込んでください。



※入りにくい場合はガイド部を(※1)指でせまくしながらはめ込んでください。

12

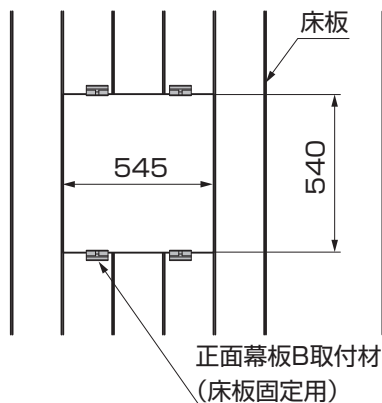


図12-1 3枚抜きの場合

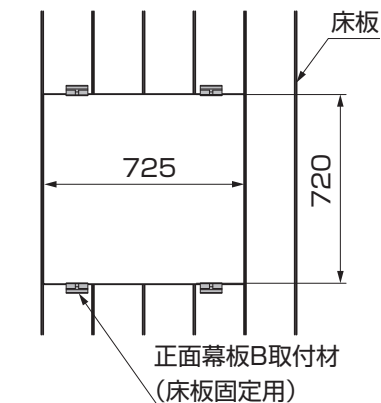


図12-2 4枚抜きの場合

※床板に内々寸法545mm×540mm、または725mm×720mmあいているか確認してください。
(図12-1、図12-2参照)

- ①正面幕板B取付材(床板固定用)を床板の4ヶ所にはめこんでください。
(図12-1、図12-2参照)

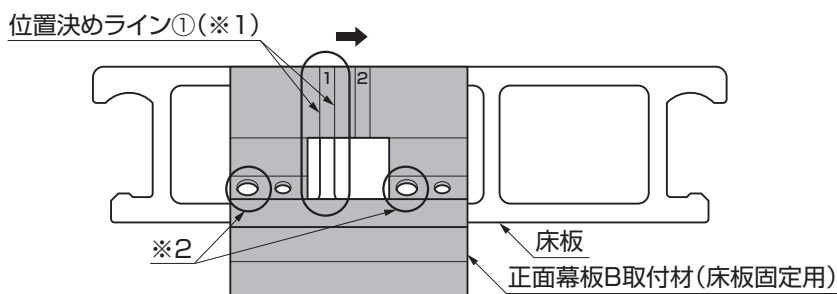


図12-3

※正面幕板B取付材(床板固定用)がずれないように押さえながら孔をあけてください。

- ②正面幕板B取付材(床板固定用)を床板中空部にはめこみ、同取付材の左側位置決めライン①(※1)に床板リブを合わせ、左側の孔(※2)に従ってφ6の下孔をあけてください。

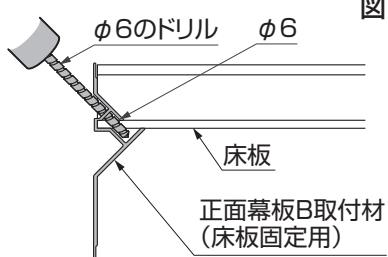


図12-4

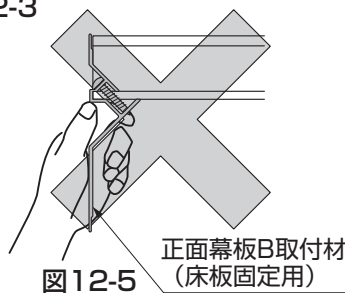


図12-5

※床板に下孔をあけると、正面幕板B取付材(床板固定用)にはφ6の孔をあけないように注意してください。

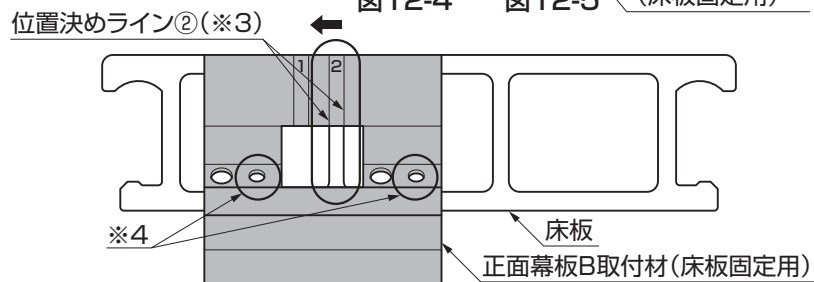


図12-6

▲ 注意
●正面幕板B取付材(床板固定用)の下部を持ってφ4×40ナベドリルネジで固定してください。上部を持つと貫通したネジ先で手を傷つける場合があります。

- ③正面幕板B取付材(床板固定用)を右側位置決めライン②(※3)に床板リブを合わせ、φ3.5の下孔をあけてから、右側の孔(※4)へφ4×40ナベドリルネジで固定してください。

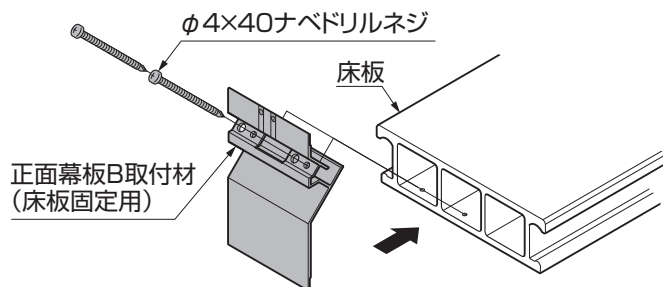


図12-7

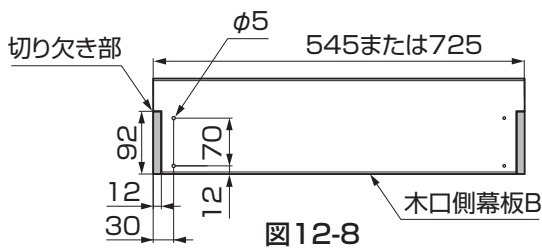


図12-8

④幕板Bを545mm、または725mm幅で切断してください。

⑤木口側幕板Bの両端に切り欠き加工をして、4ヶ所、 $\phi 5$ の下孔をあけてください。(図12-8参照)

⑥木口側幕板Bの両端にくり貫き部幕板固定金具をM4×25サラ小ネジ、M4六角ナット、M4用平座金、M4用バネ座金で固定してください。

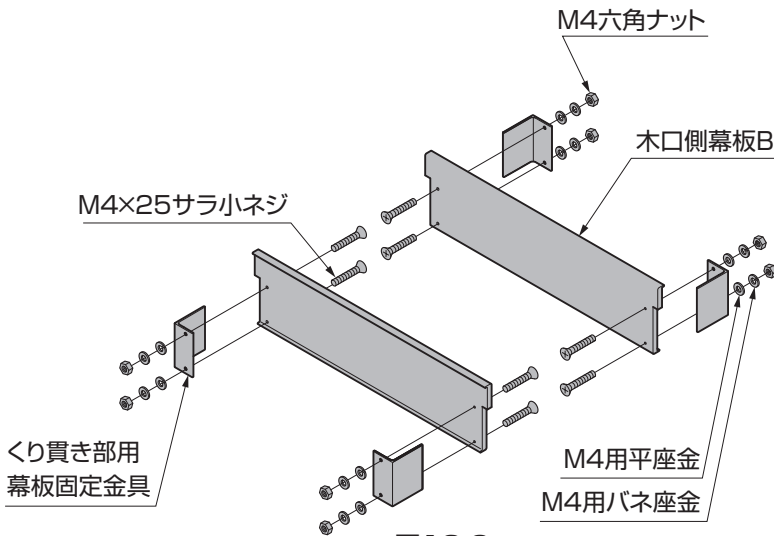


図12-9

⑦木口側幕板Bを正面幕板B取付材(床板固定用)に、 $\phi 4 \times 25$ サラドリルネジで取付けてください。

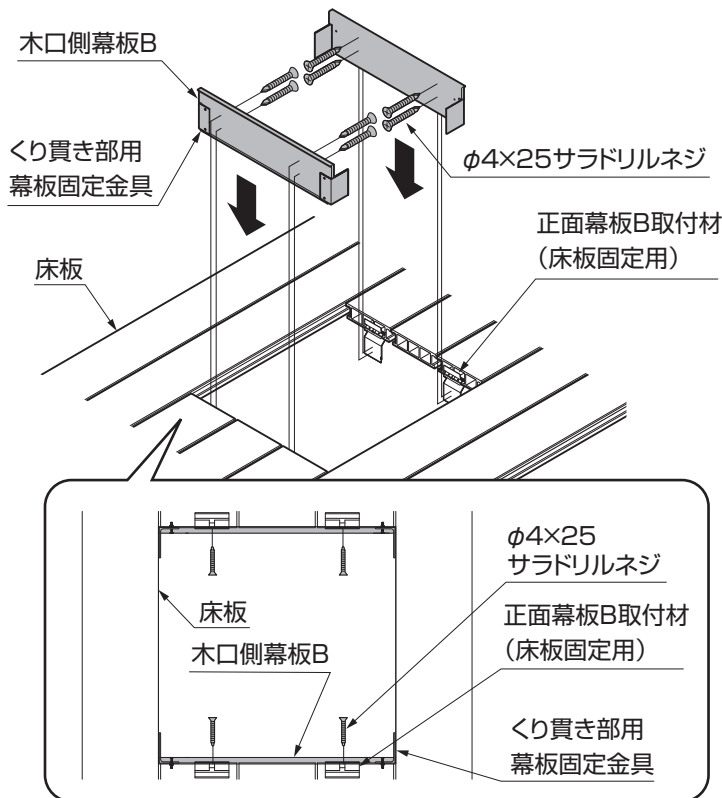


図12-10

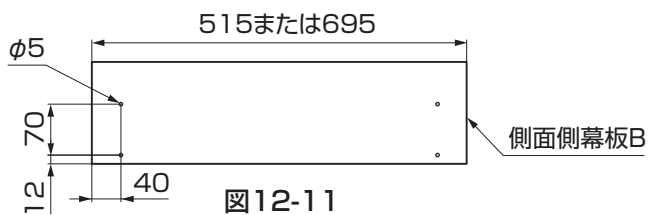


図12-11

⑧幕板Bを515mm、または695mm幅に切断してください。

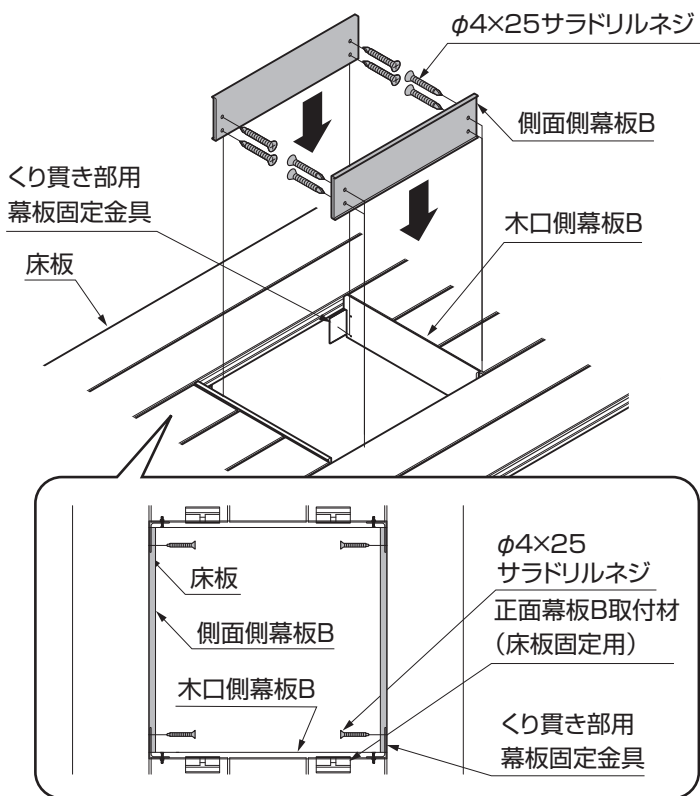


図12-12

⑨側面側幕板Bの両端に4ヶ所、φ5の下孔をあけてください。(図12-11参照)

⑩側面側幕板Bを、くり貫き部用幕板固定金具にφ4×25サラドリルネジで取付けてください。

13

タイルフロアの取付け TOEX

●本製品はTOEX商品で取付け可能です。

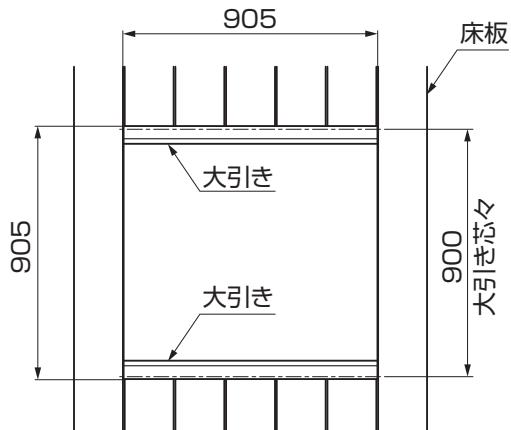
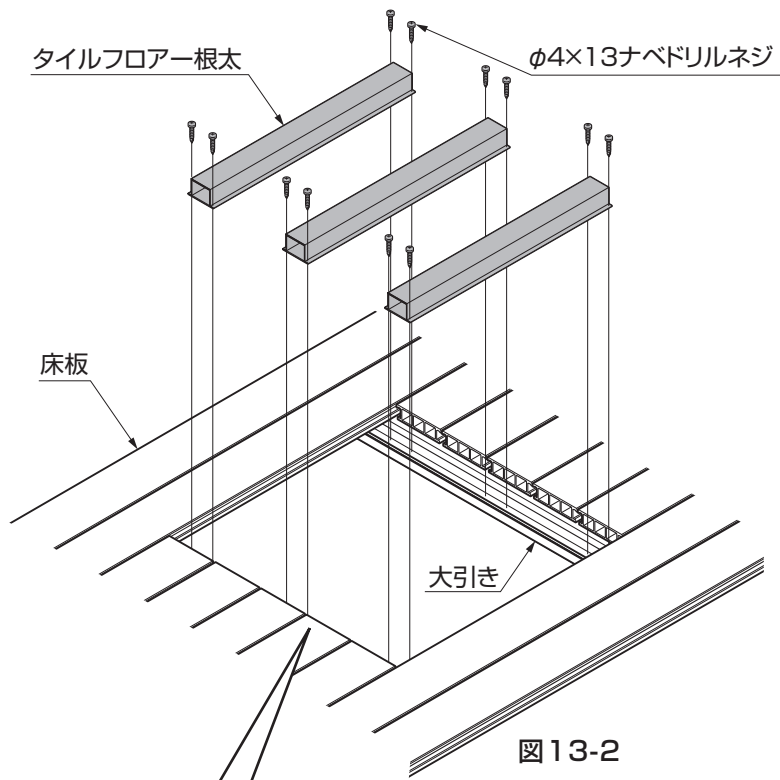
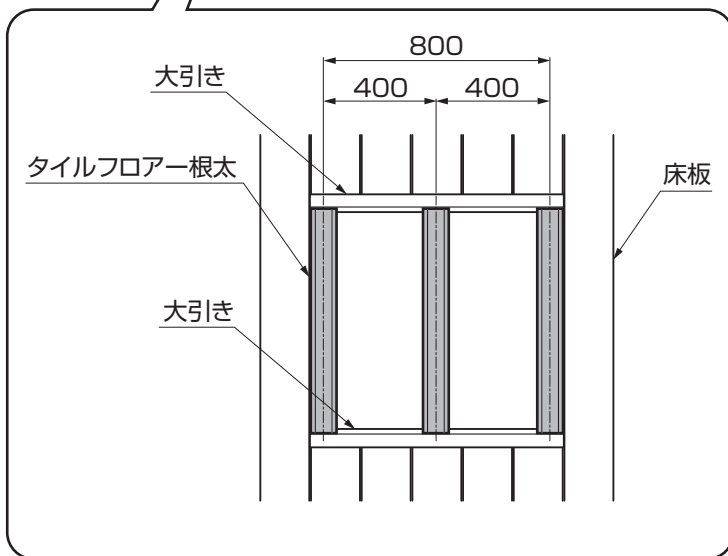


図13-1

※床板に内々寸法905×905mmあいているか確認してください。



- ①タイルフローアー根太を大引きに、400mmピッチで3つφ4×13ナベドリルネジで取付けてください。(図13-2参照)



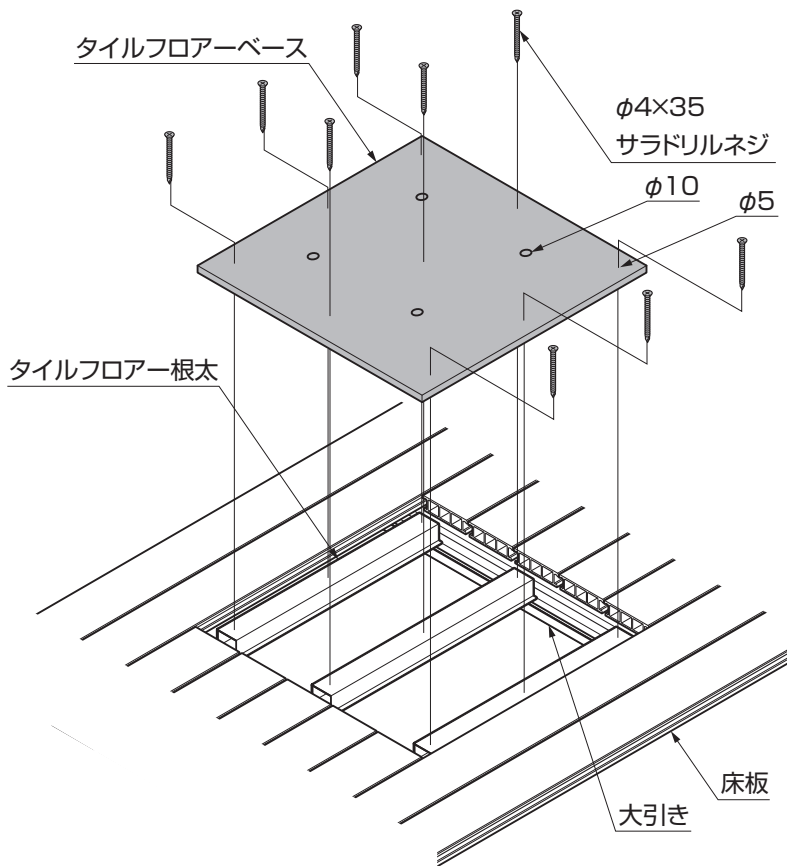


図13-3

- ②タイルフローアーベースを、タイルフローアー根太にφ4×35サラドリルネジで固定してください。
- ③タイルフローアーベースに4ヶ所、φ10の水抜き孔をあけてください。

※水抜き孔はタイルフローアー根太をさけてあけてください。

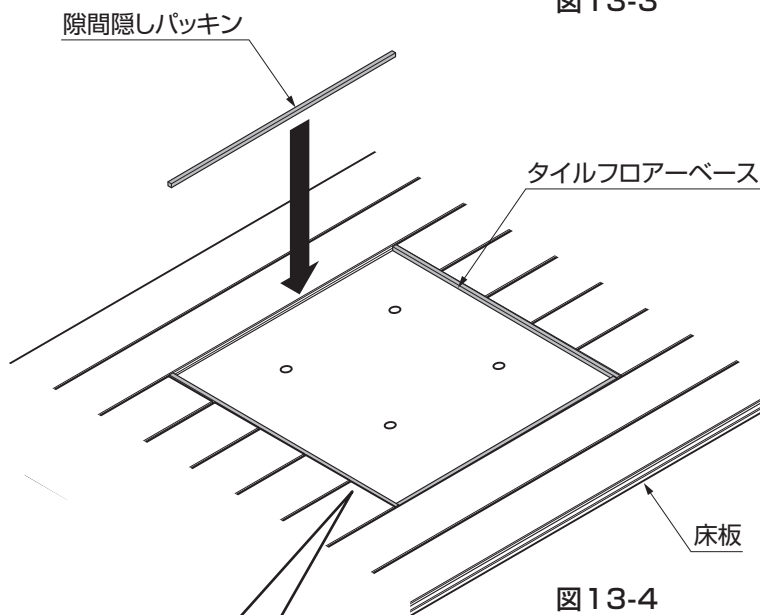
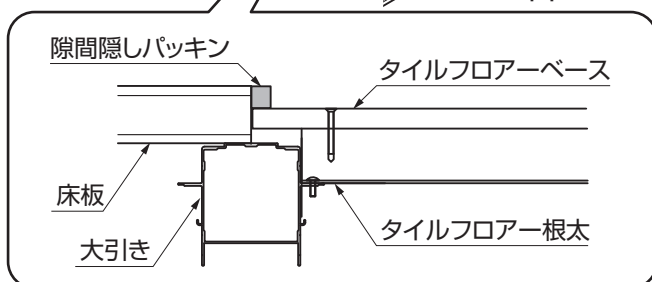
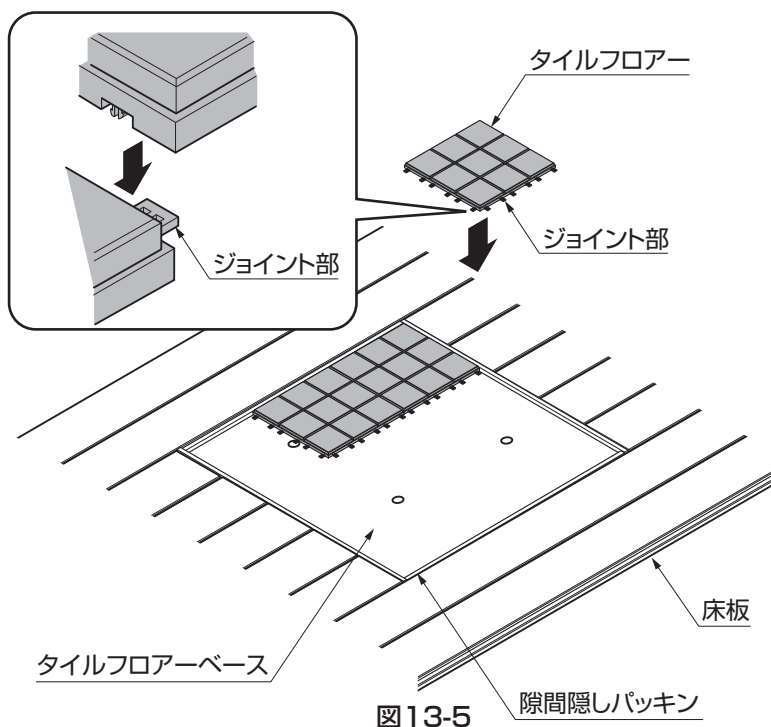


図13-4

- ④隙間隠しパッキンの「りけい紙」をはがして床板の側面に、4ヶ所貼り付けてください。

※タイルフローアーのサイズにあわせて、隙間隠しパッキンは切断してください。





⑤タイルフローア-の梱包にある施工方法に従って、タイルフローア-を連結して敷き詰めてください。

※必要のないジョイント部はカッターで切り落としてください。

図13-5 隙間隠しパッキン

14 正面・コーナー幕板取付材の取付け

14-1 正面幕板取付材の取付け位置の確認

(1) 幕板Aの場合

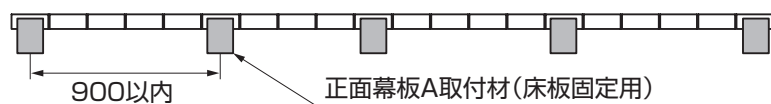


図14-1

(2) 幕板Bの場合

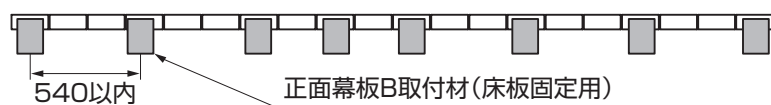


図14-2

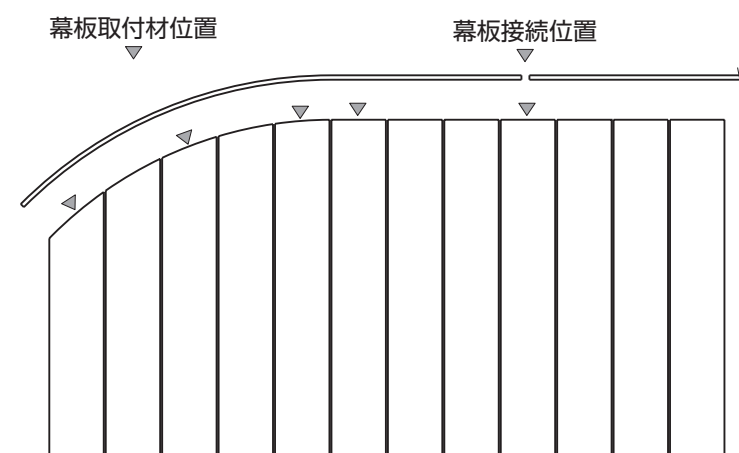


図14-3

①正面幕板A取付材(床板固定用)、または正面幕板B取付材(床板固定用)を取付ける位置を確認してください。(図14-1、図14-2参照)

※取付け位置は幕板Aでは3つおきの箇所と4つおきの箇所、幕板Bでは1つおきの箇所と2つおきの箇所がありますので、注意してください。

※コーナー(角度切り直線)部は1~2つおきに取付けてください。

※正面幕板A取付材(床板固定用)または正面幕板B取付材(床板固定用)は、直線部・コーナー部の始まりと終り、および幕板接続部には必ず取付けてください。

※Rコーナー部はコーナー幕板A取付材またはコーナー幕板B取付材を1つおきに取付けてください。

※Rの大きさが途中で変わる場合はそれぞれのRの始まりと終りにコーナー幕板A取付材またはコーナー幕板B取付材を取付けてください。

14-2 幕板取付材の取付け

(1) 正面幕板A取付材(床板固定用)の場合

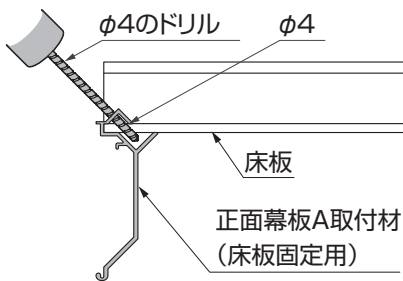


図14-4

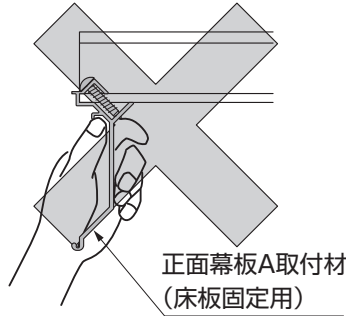


図14-5

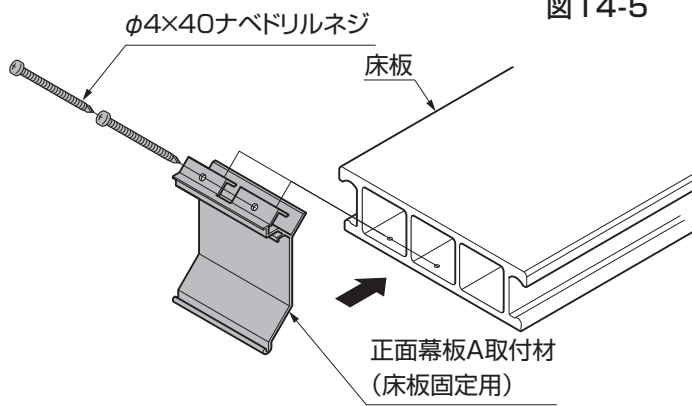


図14-6

※正面幕板A取付材(床板固定用)がずれないように押さえながら孔をあけてください。

- ①正面幕板A取付材(床板固定用)を床板中空部にはめこみ、正面幕板A取付材(床板固定用)の孔に従って床板下面にφ4の下孔をあけてください。

※φ4の下孔は、正面幕板A取付材(床板固定用)にはあけないでください。

▲ 注意

●正面幕板A取付材(床板固定用)の下部を持って、φ4×40ナベドリルネジで固定してください。上部を持つと貫通したネジ先で手を傷つける場合があります。

- ②正面幕板A取付材(床板固定用)を、床板中空部にφ4×40ナベドリルネジで固定してください。

(2) 正面幕板B取付材(床板固定用)の場合

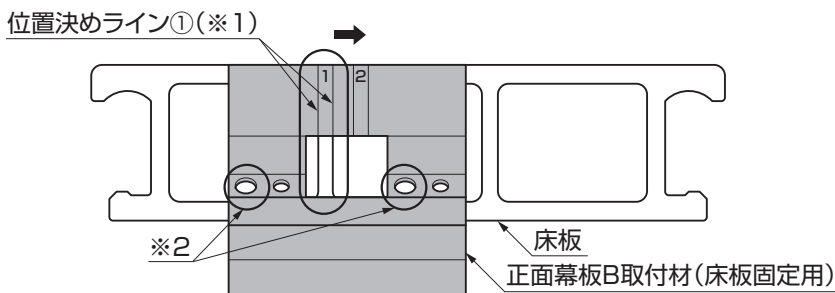


図14-7

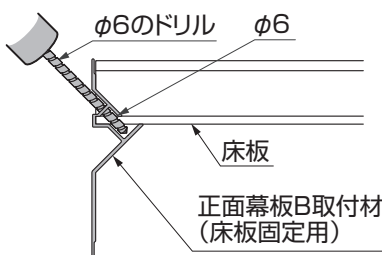


図14-8

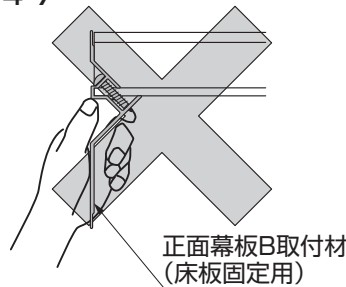


図14-9

※正面幕板B取付材(床板固定用)がずれないように押さえながら孔をあけてください。

- ①正面幕板B取付材(床板固定用)を床板中空部にはめこみ、同取付材の左側位置決めライン①(※1)に床板リブを合わせ、左側の孔(※2)に従ってφ6の下孔をあけてください。

※床板に下孔をあけるときの、正面幕板B取付材(床板固定用)にはφ6の孔をあけないように注意してください。

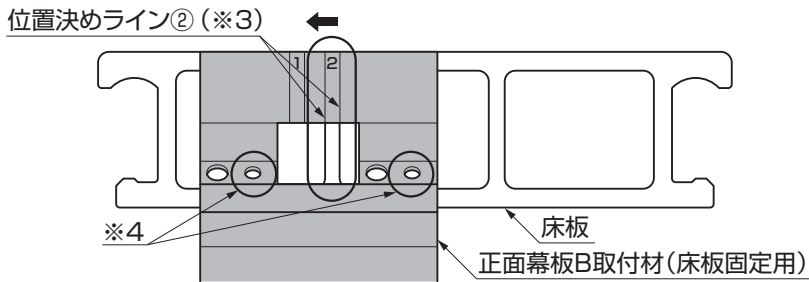


図14-10

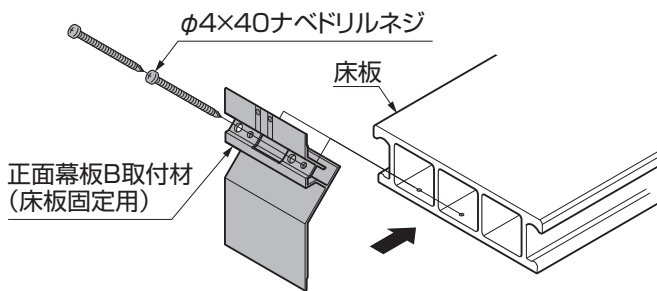


図14-11

▲ 注意

●正面幕板B取付材 (床板固定用) の下部を持って、φ4×40ナベドリルネジで固定してください。上部を持つと貫通したネジ先で手を傷つける場合があります。

②正面幕板B取付材 (床板固定用) を右側位置決めライン②(※3)に床板リブを合わせ、右側の孔(※4)へφ4×40ナベドリルネジで固定してください。

(3) コーナー幕板A取付材 (角度切り用) の場合

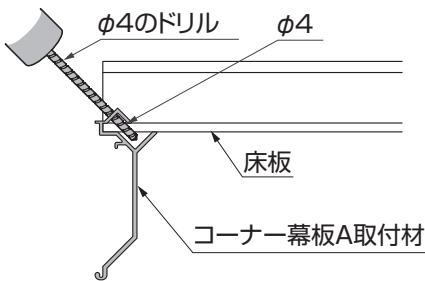


図14-12

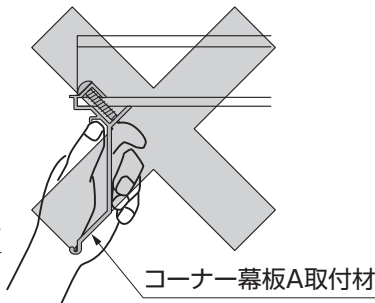


図14-13

※コーナー幕板A取付材がずれないように押さえながら孔をあけてください。

①コーナー幕板A取付材を床板中空部にはめこみ、コーナー幕板A取付材の孔に従って床板下面にφ4の下孔をあけてください。

※床板に下孔をあけるときの、コーナー幕板A取付材には孔をあけないように注意してください。

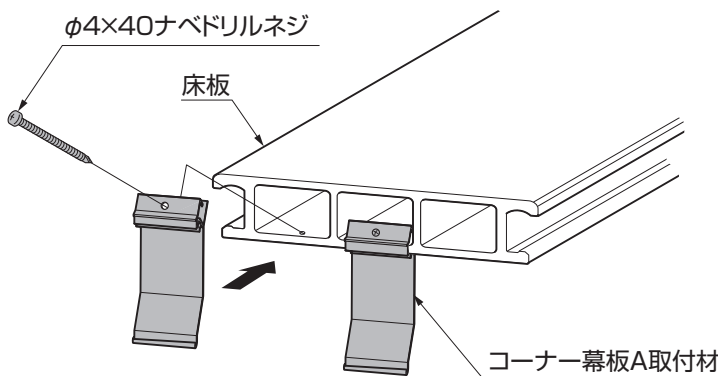


図14-14

▲ 注意

●コーナー幕板A取付材の下部を持ってφ4×40ナベドリルネジで固定してください。上部を持つと貫通したネジ先で手を傷つける場合があります。

②コーナー幕板A取付材を、床板中空部2ヶ所に1つずつφ4×40ナベドリルネジで固定してください。

(4) コーナー幕板B取付材セット (R用/角度切り用) の場合

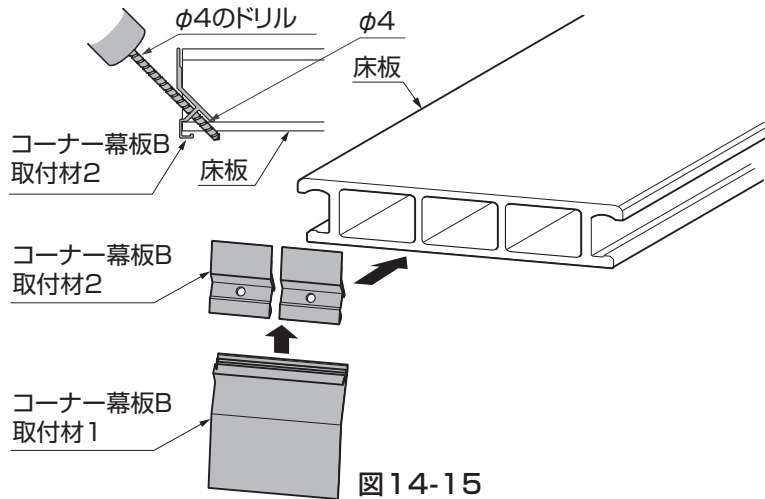


図14-15

※コーナー幕板B取付材2がずれないように押さえながら孔をあけてください。

- ①コーナー幕板B取付材2を床板中空部2ヶ所に1つずつはめこみ、コーナー幕板B取付材2の孔に従って床板下面にφ4の下孔をあけてください。
- ②コーナー幕板B取付材1をコーナー幕板A取付材2にひっかけて取付けてください。

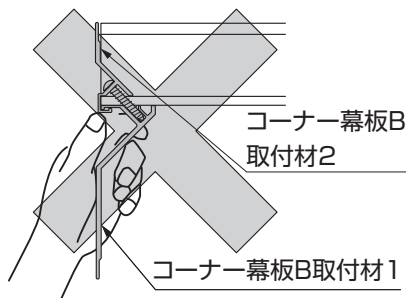


図14-16

▲ 注意

- コーナー幕板B取付材1の下部を持ってφ4×40ナベドリルネジで固定してください。上部を持つと貫通したネジ先で手を傷つける場合があります。

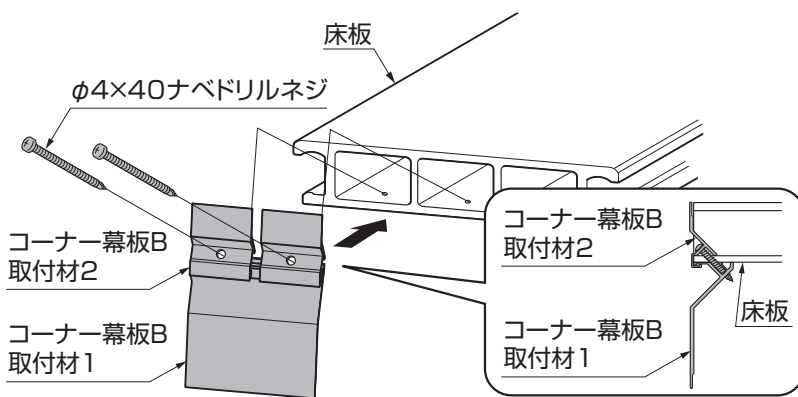


図14-17

- ③コーナー幕板B取付材1を取付けたコーナー幕板B取付材2を床板中空部にφ4×40ナベドリルネジで固定してください。

15

幕板の取付け

15-1 幕板Aの場合

(1) 幕板金具の取付け

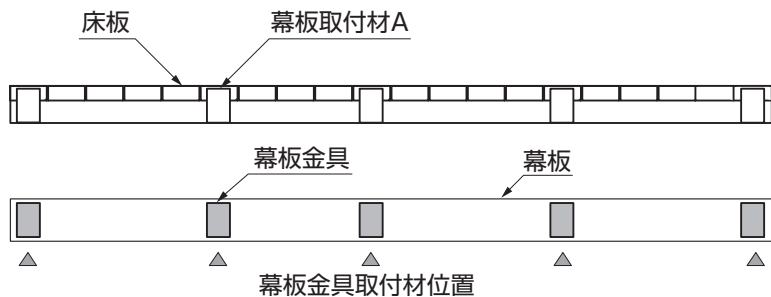


図 15-1

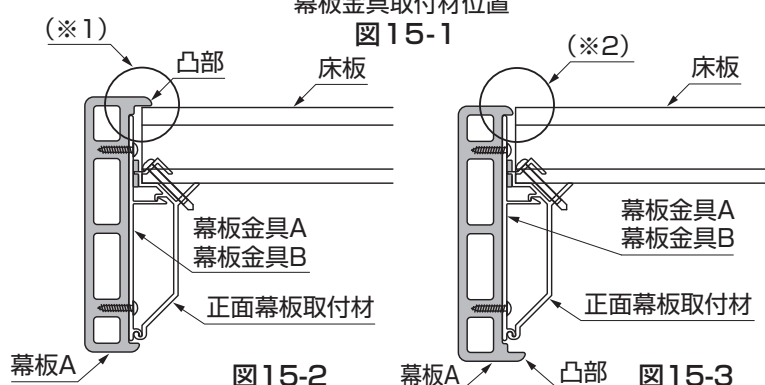


図 15-2

図 15-3

①幕板取付材の位置を確認して、幕板金具Aまたは幕板金具Bを取付ける位置を確認してください。

※幕板Aの凸部を上にも幕板金具を取付けると、幕板と床板の隙間(※1)を隠すことができますが、床板との段差ができます。(図15-2参照)

※幕板Aの凸部を下にも幕板金具を取付けると、床板はフラット(※2)になります。(図15-3参照)

※幕板金具Aには、クッション材(※4)をフィンから5mmあけて貼りつけてください。

※フリーコーナー部の場合は、幕板金具Bをφ5×20トラスタッピン1種で取付けてください。

②幕板金具Aまたは幕板金具Bを幕板Aに当てて、φ3.5の下孔をあけてください。

※幕板金具Aまたは幕板金具Bをあてる際は、幕板Aのへこみの上側(※3)につき当たるようにしてください。

③幕板Aの上下を確認して、幕板Aに幕板金具Aまたは幕板金具Bを、φ5×20トラスタッピン1種で固定してください。

①幕板金具Aまたは幕板金具Bに、φ4.5の下孔を2ヶ所あけてください。

※幕板金具Aには、クッション材(※4)をフィンから5mmあけて貼りつけてください。

※フリーコーナー部の場合は、幕板金具Bをφ5×20トラスタッピン1種で取付けてください。

②幕板金具Aまたは幕板金具Bを幕板Aの端部より半分出るようにあてて、φ3.5の下孔をあけてください。

③幕板Aの上下を確認して、幕板Aに幕板金具Aまたは幕板金具Bを、φ5×20トラスタッピン1種で固定してください。

※幕板の連結部は高さをそろえて固定してください。

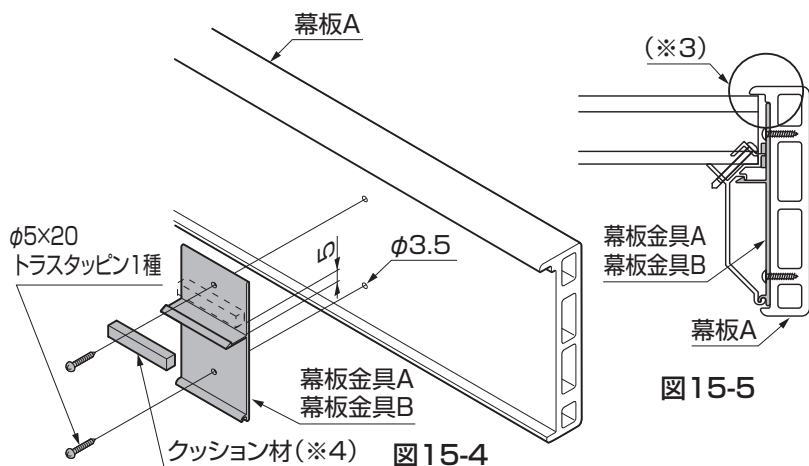


図 15-4

図 15-5

(2) 連結部の場合

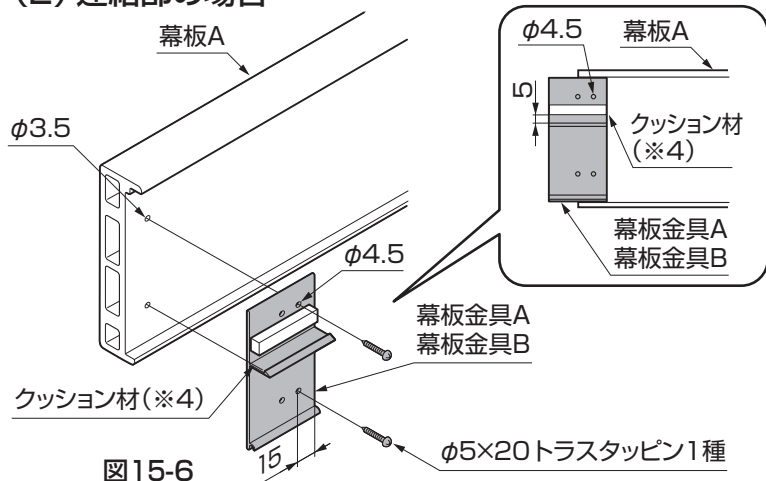


図 15-6

(3) 直線・90度コーナーの場合

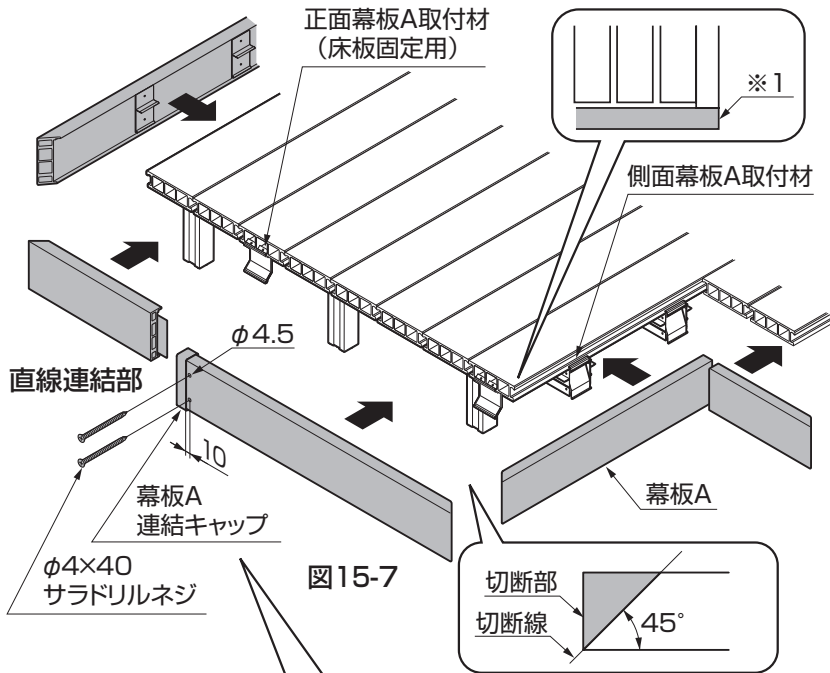
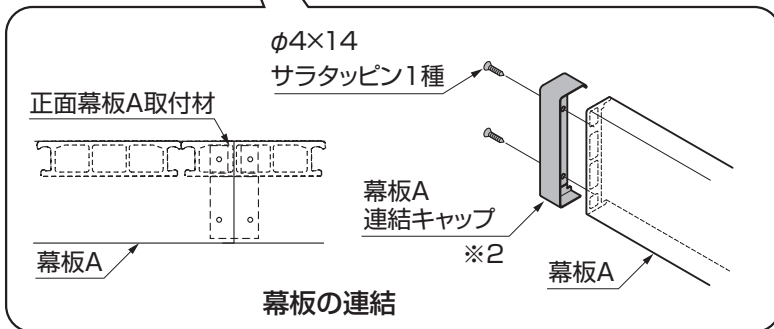


図15-7



幕板の連結

※デッキ上にフェンスを取付ける場合は、フェンス取付け後に幕板を固定してください。

①90°コーナー部の端部は、45°に切断加工してください。

※正面部の幕板Aを取りはずす可能性がある場合は、正面部側の幕板を優先に取付けてください。(※1)

※幕板Aの連結は、幕板A取付材 (床板固定用)のある箇所で行ってください。(図15-7参照)

※幕板Aの切断寸法は、間口方向優先で指示しています。

※幕板A連結キャップは後から施工する幕板Aに取付けてください。(※2)

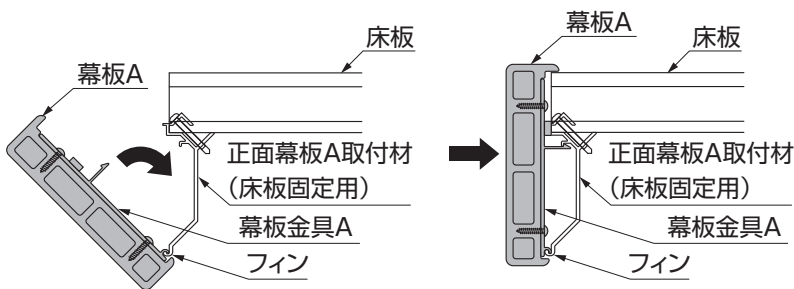


図15-8

②正面幕板A取付材 (床板固定用)のフィンに、幕板金具Aをひっかけてから押しつけて取付けてください。

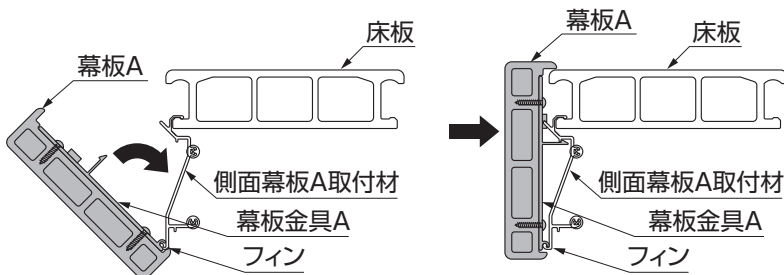
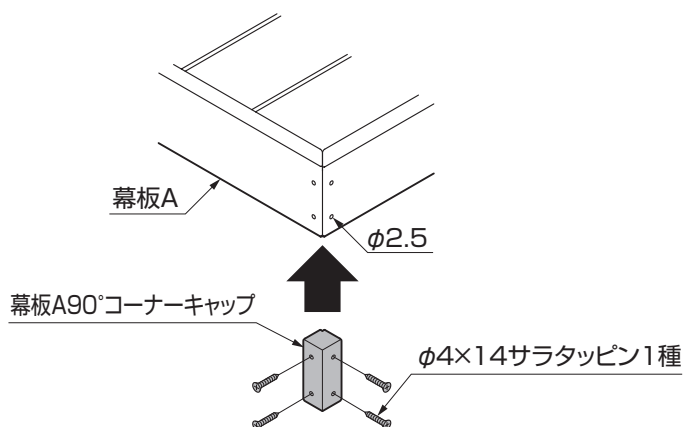


図15-9

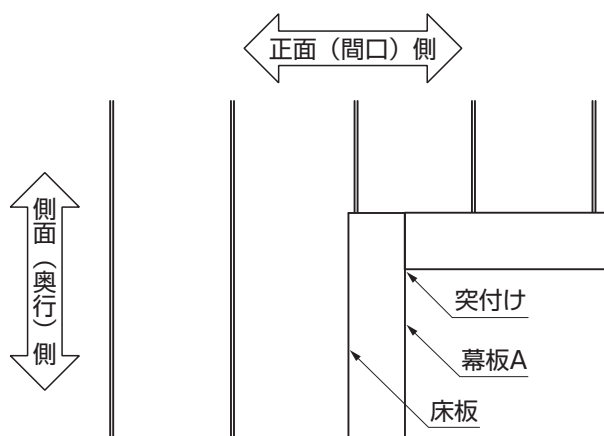
③側面幕板A取付材のフィンに、幕板金具Aをひっかけてから押しつけて取付けてください。

(4) 90度コーナー（出隅仕様）の場合



- ① 幕板A90°コーナーキャップを幕板Aコーナー部に当てて、幕板Aにφ2.5の下孔をあけてください。
- ② 幕板Aコーナーキャップを、φ4×14サラタツピン1種で取付けてください。

(5) 90度コーナー（入隅仕様）の場合



- ① 入隅コーナーの場合には、奥行側の幕板を床板端部に合わせて切断し、その幕板へ正面側の幕板をつき当てて切断します。
- ② 幕板A入隅キャップをコーナー部に当てて位置を確認し、幕板Aにφ2.5の下孔をあけてください。
- ③ コーナーキャップを、φ4×14サラタツピン1種で取付けてください。

図15-11

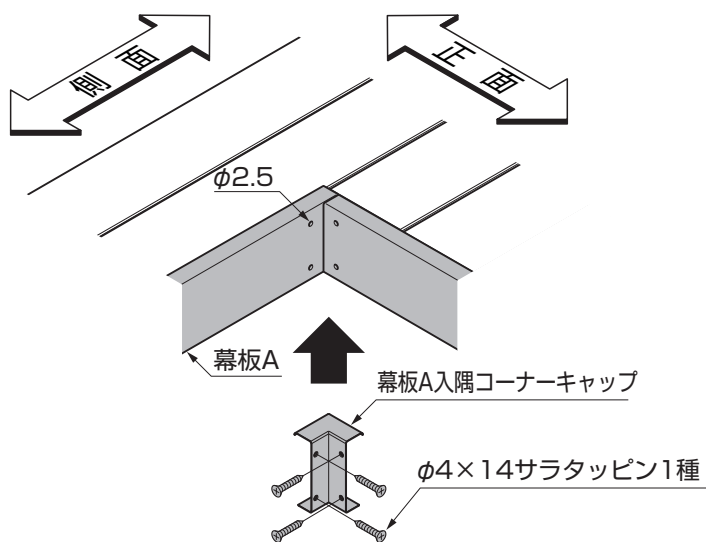


図15-12

(6) フリーコーナー部の場合

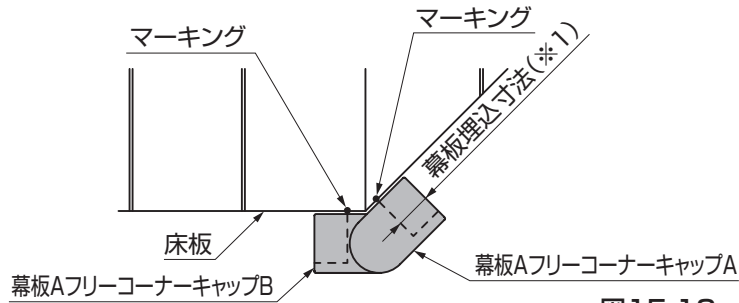


図15-13

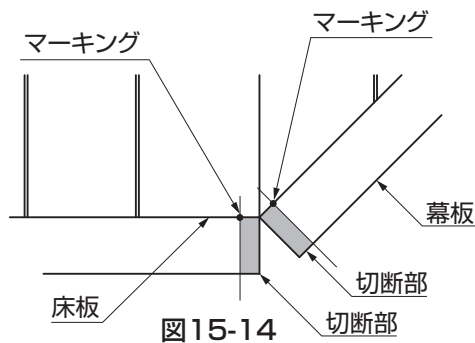


図15-14

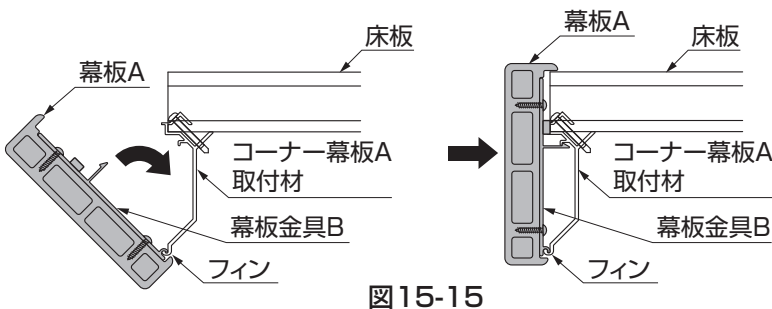


図15-15

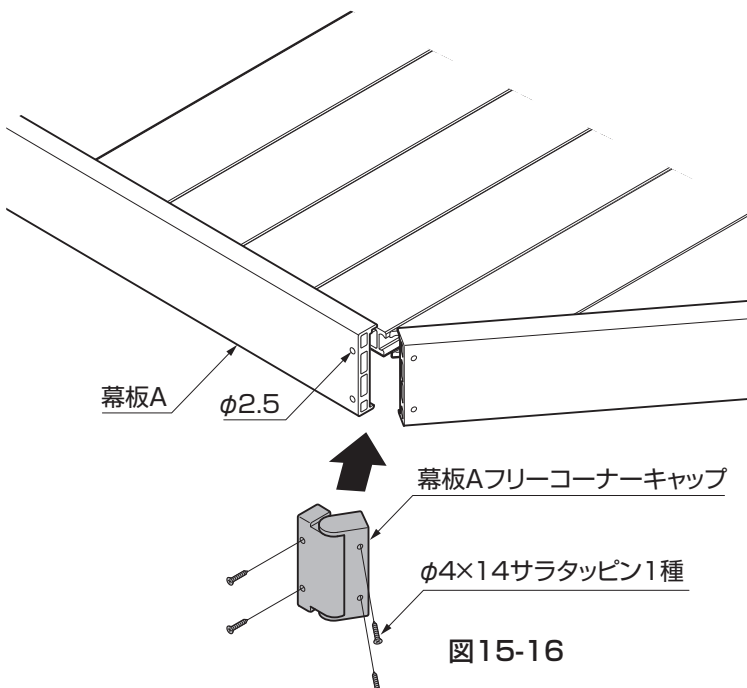


図15-16

※幕板Aフリーコーナーキャップの取付可能角度範囲は、135°~225°です。

※幕板Aフリーコーナーキャップは分離していますが、幕板に固定した段階で一体になります。

- ①幕板AフリーコーナーキャップAと、幕板AフリーコーナーキャップBを組んで、床板のコーナー部に当ててください。
- ②幕板埋込寸法(※1)を測って、床板にマーキングしてください。
- ③幕板をマーキングした部分で切断してください。
- ④コーナー幕板A取付材のフィンに、幕板金具Bをひっかけてから押しつけて取付けてください。
- ⑤幕板Aをコーナー幕板A取付材に、押し込んで取付けてください。
- ⑥幕板Aフリーコーナーキャップを、幕板フリーコーナー部に当てて、幕板Aに $\phi 2.5$ の下孔をあけてください。
- ⑦幕板Aフリーコーナーキャップを幕板Aに、 $\phi 4 \times 14$ サラタッピン1種で取付けてください。

15-2 幕板Bの場合

(1) 直線・90度コーナーの場合

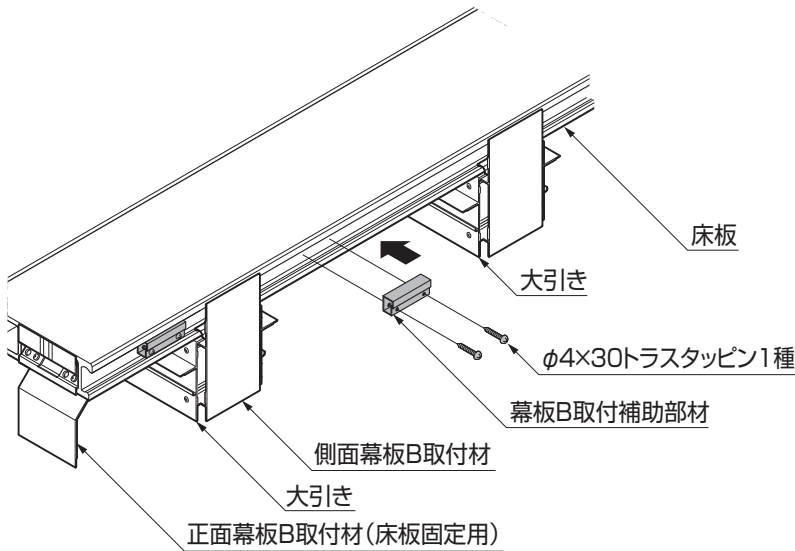


図15-17

- ①床板側面の ϕ 4.5の間中間部と、床板端部と ϕ 4.5の間中間部に、幕板B取付補助部材を ϕ 4×30トラスタッピン1種で固定してください。

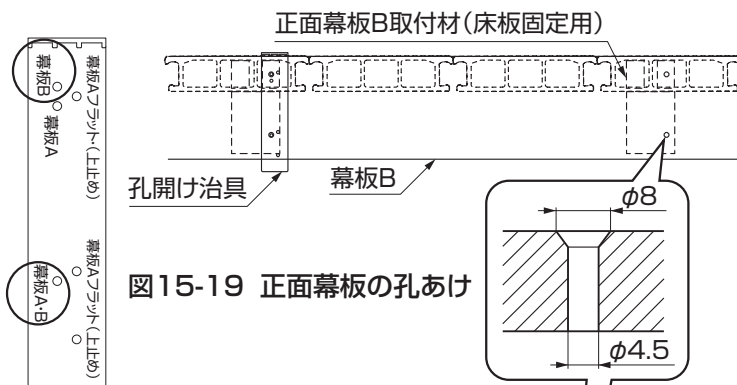


図15-19 正面幕板の孔あけ

- ※デッキ上にフェンスを取付ける場合は、フェンス取付け後に幕板Bを固定してください。
 ※孔開け治具の○印の孔を使ってください。(図15-18参照)

図15-18
孔開け治具

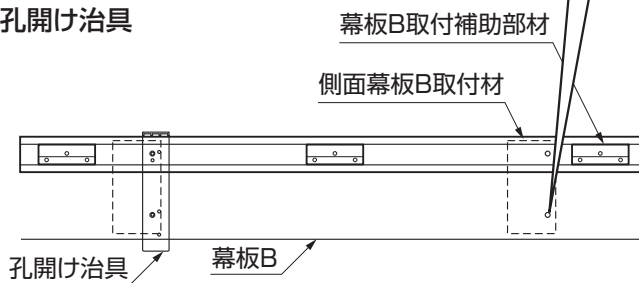


図15-20 側面幕板の孔あけ

- ②孔開け治具を使って、正面幕板B取付材(床板固定用)が付いている部分に、 ϕ 4.5の下孔と ϕ 8サラ取りを幕板Bにしてください。(図15-19参照)
- ③孔開け治具を使って、側面幕板B取付材と幕板B取付補助部材が付いている部分に、 ϕ 4.5の下孔と ϕ 8サラ取りを幕板Bにしてください。(図15-20参照)

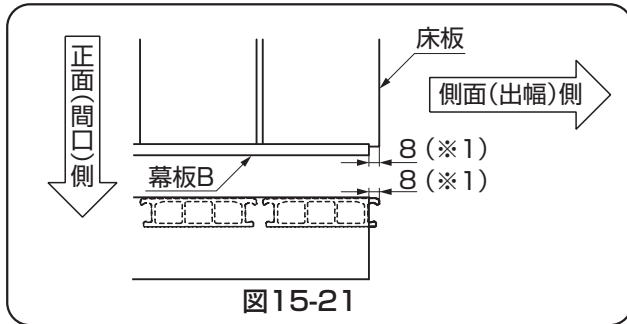


図15-21

※正面側端部の幕板Bは床板から8mm (※1) デッキ内側の納まりになります。(図15-21参照)
また側面側端部の幕板Bは床板と同寸法になります。

- ④正面の幕板Bを、正面幕板B取付材(床板固定用)にφ4×25サラドリルネジで固定してください。

※正面の幕板Bは、上下2ヶ所の取付けになります。

- ⑤側面の幕板Bを側面幕板B取付材と幕板B取付補助部材に、φ4×25サラドリルネジで固定してください。

※側面の幕板Bは大引きに取付けている側面幕板B取付材へは上下2ヶ所、幕板B取付補助部材へは上1ヶ所の取付けとなります。

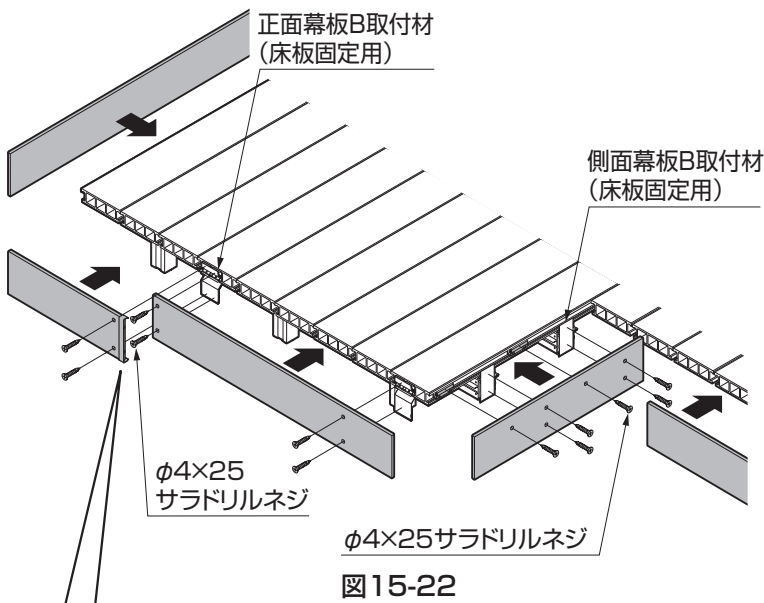
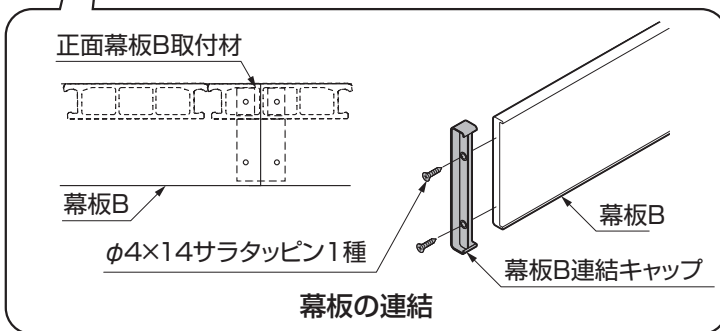


図15-22

※幕板Bの連結は、幕板B取付材(床板固定用)のある箇所で行ってください。(図15-22参照)

※幕板Bの切断寸法は、間口方向優先で指示しています。



幕板の連結

(2) 90度コーナー（出隅仕様）の場合

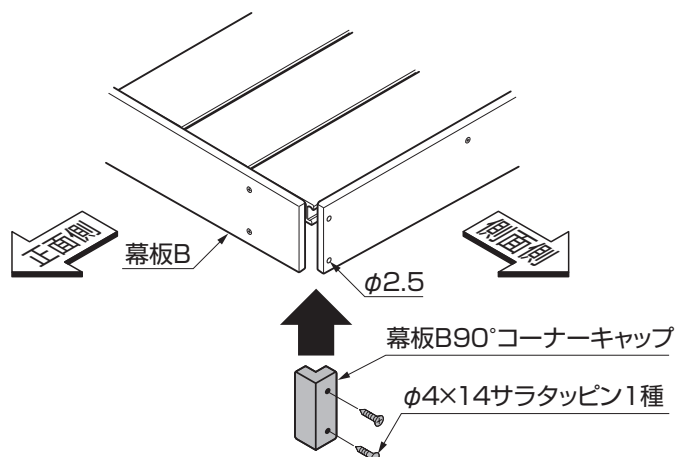


図15-23

- ① 幕板B90°コーナーキャップを幕板Bコーナー部に当てて、デッキ側面側の幕板Bにφ2.5の下孔をあけてください。
- ② 幕板B90°コーナーキャップを幕板Bにφ4×14サラタツピン1種で取付けてください。

(3) 90度コーナー（入隅仕様）の場合

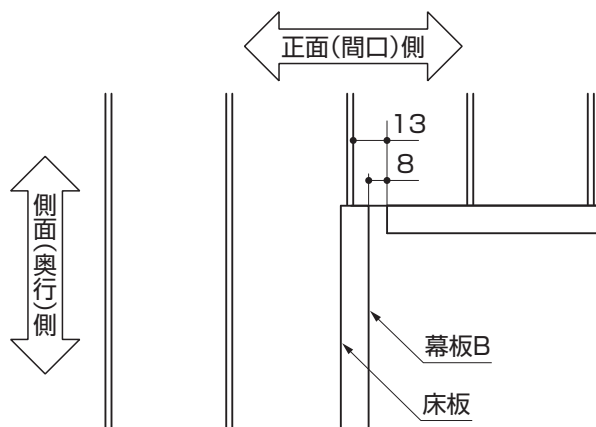


図15-24

- ① 入隅コーナーの場合には、側面側の幕板を床板端部と合わせ、正面側は床板-「13」mmの納まりになります。
- ② 幕板Bの側面に当たる側へ、キャップ内側のくぼみ位置にφ4.5の孔を2ヶ所あけ、その孔に表面からφ8のサラ取り加工をしてください。
- ③ 幕板B入隅キャップを、キャップの上下を確かめてコーナー部に当てて位置を確認し、幕板Bにφ2.5の下孔をあけてください。
- ④ コーナーキャップを、φ4×14サラタツピン1種で取付けてください。

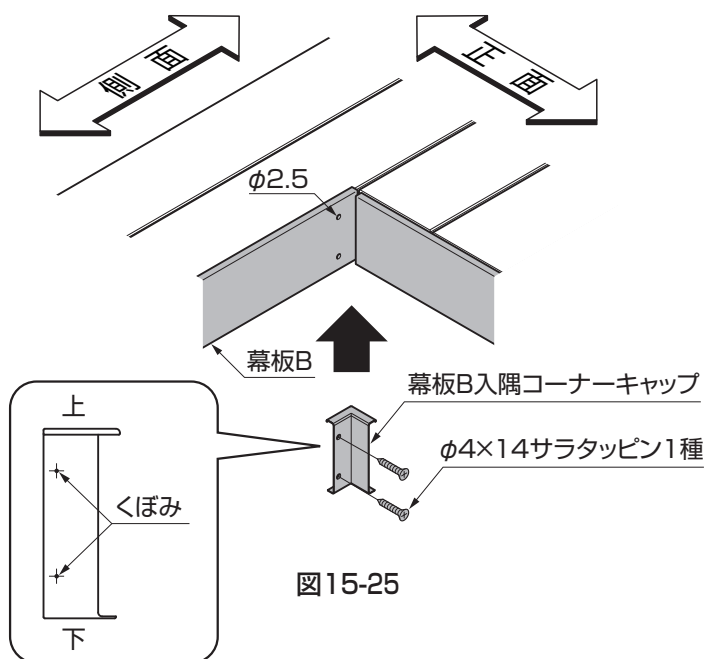


図15-25

(4) フリーコーナー部の場合

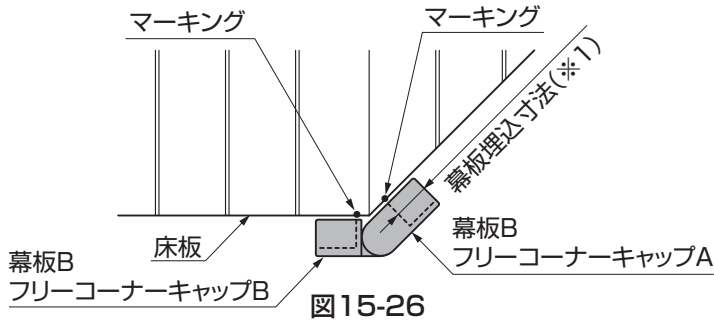


図15-26

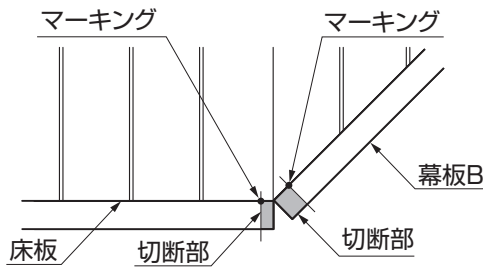


図15-27

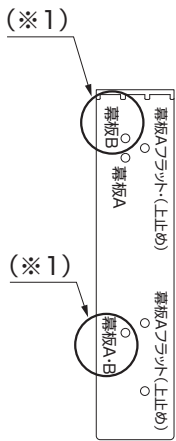


図15-28 孔開け治具

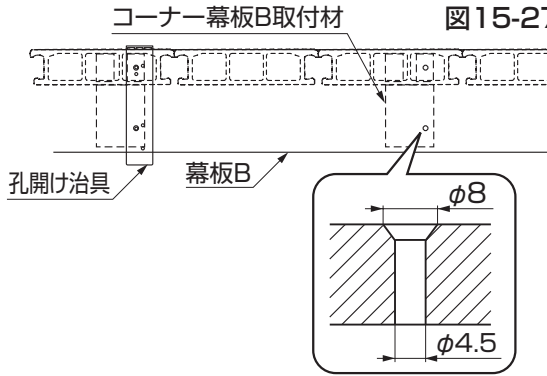


図15-29 幕板の孔あけ

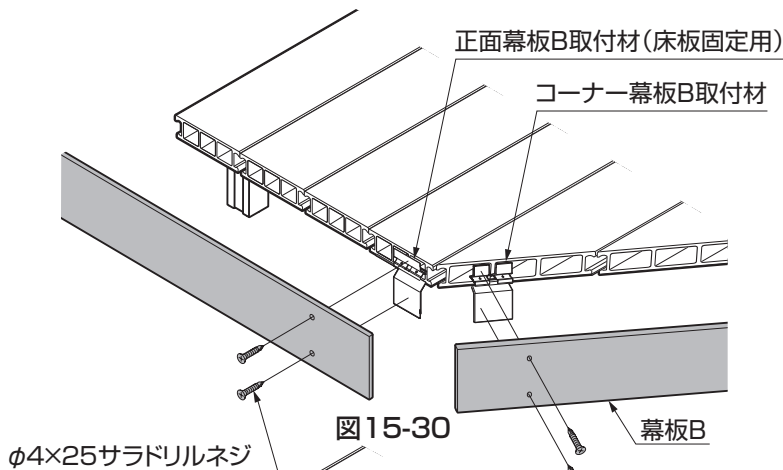


図15-30

φ4×25 サラドリルネジ

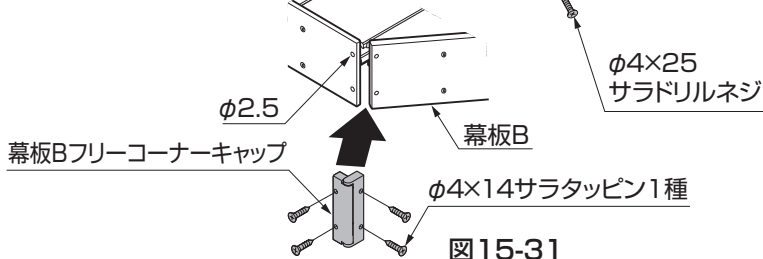


図15-31

※幕板Bフリーコーナーキャップの取付可能角度範囲は、135°～225°です。

※幕板Bフリーコーナーキャップは分離していますが、幕板に固定した段階で一体になります。

- ①幕板BフリーコーナーキャップAと幕板BフリーコーナーキャップBを組んで、床板のコーナー部に当ててください。
- ②幕板埋込寸法(※1)を測って、床板にマーキングしてください。
- ③幕板Bをマーキングした部分で切断してください。

※孔開け治具の○印(※1)の孔を使ってください。(図15-28参照)

- ④孔開け治具を使って、コーナー幕板B取付材が付いている部分に、φ4.5の下孔とφ8のサラ取りを幕板Bにしてください。(図15-29参照)

- ⑤幕板Bを正面幕板B取付材(床板固定用)に、φ4×25サラドリルネジで固定してください。

- ⑥幕板Bをコーナー幕板B取付材に、φ4×25サラドリルネジで固定してください。

- ⑦幕板Bフリーコーナーキャップを幕板Bフリーコーナー部に当てて、幕板Bにφ2.5の下孔をあけてください。

- ⑧幕板Bフリーコーナーキャップを幕板Bに、φ4×14サラタップピン1種で取付けてください。

(5) R納まりの場合

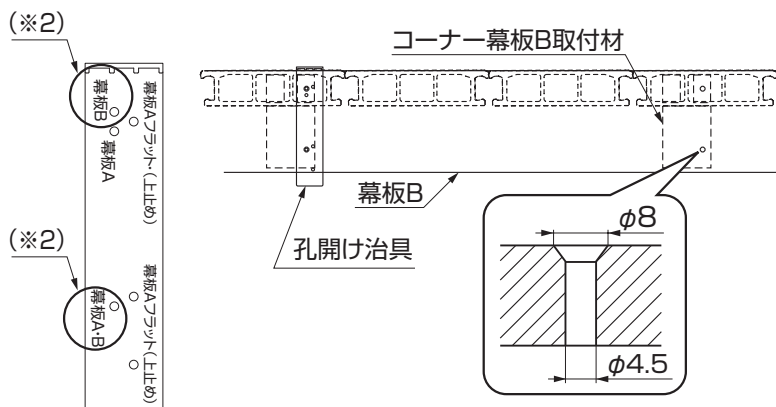


図15-32
孔開け治具

図15-33 幕板の孔あけ

- ① 孔開け治具を使って、コーナー幕板B取付材が付いている部分に、φ4.5の下孔とφ8のサラ取りを幕板Bにしてください。(図15-33参照)

※孔開け治具の○印(※2)の孔を使ってください。(図15-32参照)

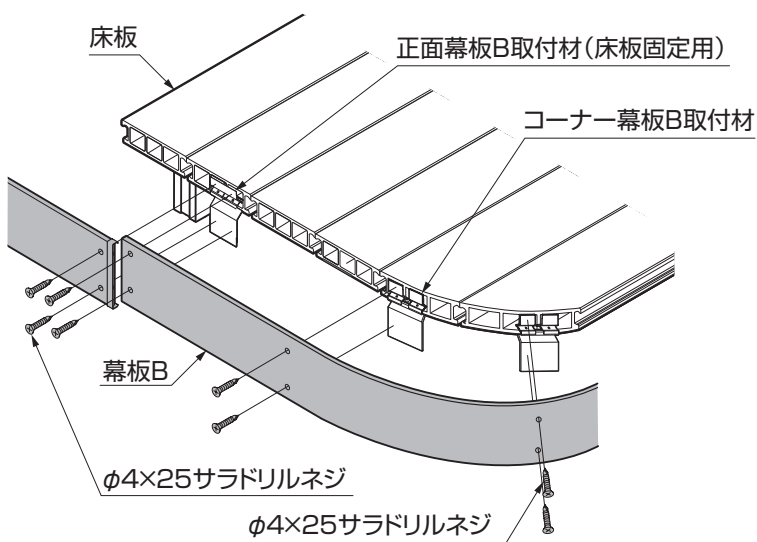


図15-34

- ② 幕板Bを正面幕板B取付材(床板固定用)に、φ4×25サラドリルネジで固定してください。
- ③ コーナー幕板B取付材を、コーナー部の始まりと終わり、その間は1枚おきを目安に取付けてください。
- ④ 幕板Bをコーナー幕板B取付材に、φ4×25サラドリルネジで固定してください。

※R納まりの場合は、幕板Bは必ず直線部で連結してください。

※R部分の半径は、800mm以上にしてください。

16

床下化粧材の取付け オプション

●床下化粧材を取付ける位置の束柱芯々寸法は900mm以内にしてください。

16-1 床下化粧材の切断

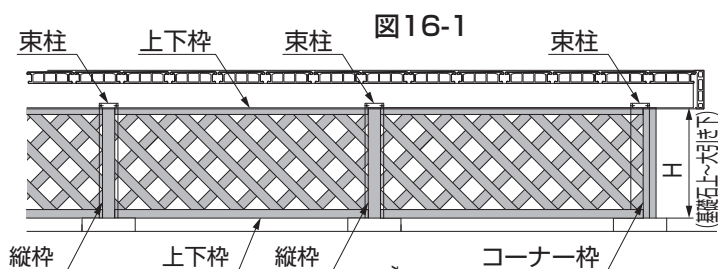


図16-2

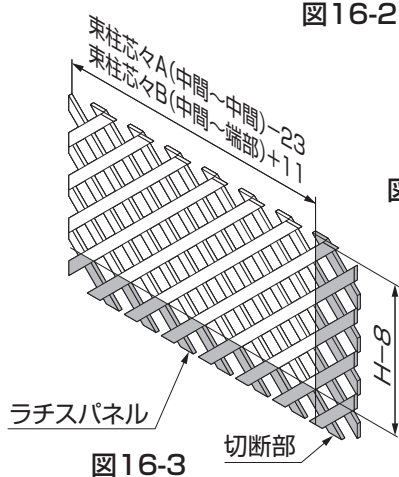


図16-3

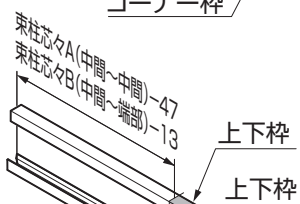


図16-4

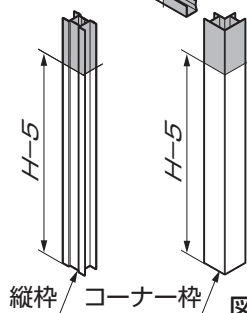


図16-5

- ① 束柱芯々A (中間～中間) 寸法を実測して、ラチスパネルを「束柱芯々A (中間～中間) 寸法」-「23」mmの長さに切断してください。
- ② 束柱芯々B (中間～端部) 寸法を実測して、ラチスパネルを「束柱芯々B (中間～端部) 寸法」+「11」mmの長さに切断してください。
- ③ H寸法を実測してラチスパネルを「H-8」mmの長さに切断してください。
- ④ 上下枠を「束柱芯々A (中間～中間) 寸法」-「47」mmの長さに切断してください。
- ⑤ 上下枠を「束柱芯々B (中間～端部) 寸法」-「13」mmの長さに切断してください。
- ⑥ 縦枠とコーナー枠を「H-5」mmの長さに切断してください。

16-2 縦枠の取付け

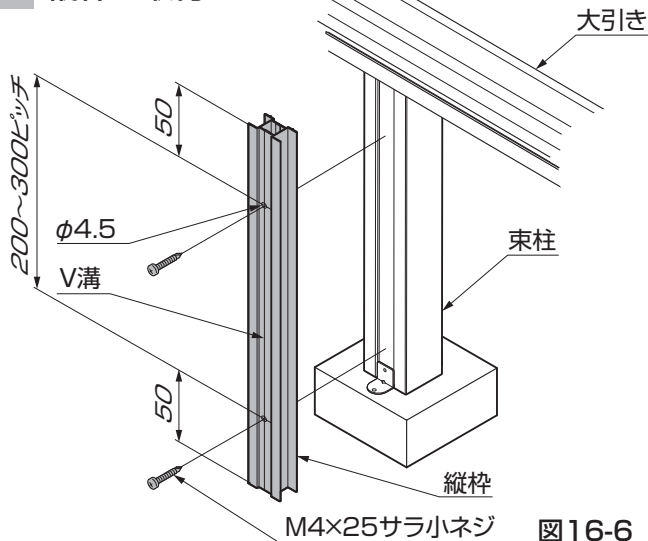


図16-6

※縦枠を1ヶ所のみ取付けて、ラチスパネル、上下枠を取付け終えてから次の縦枠、コーナー枠を取付けてください。

- ⑦ 縦枠の両端から50mmの位置、および200～300mmピッチにV溝にあわせて、φ4.5の孔をあけてください。
- ⑧ 中間にある束柱の中心に縦枠を、M4×25サラ小ネジで固定してください。

16-3 ラチスパネル、上下枠の取付け

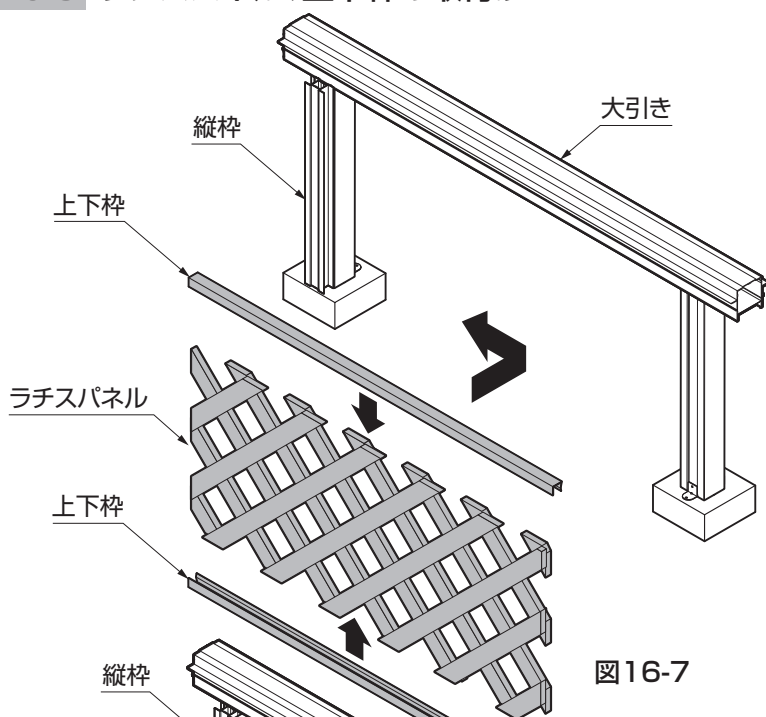


図16-7

- ①ラチスパネルに上下枠を取付けてください。
- ②縦枠にラチスパネルを差し込んで取付けてください。

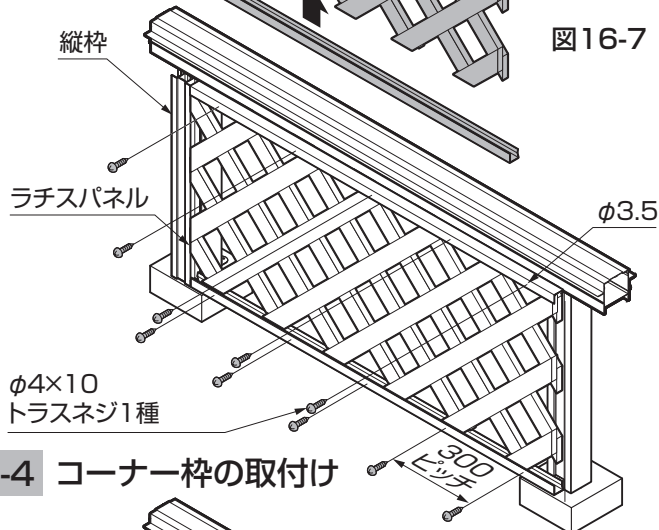


図16-8

- ③上下枠に約300mmピッチで、 $\phi 3.5$ の下孔をあけてください。
- ④ラチスパネルと上下枠を、 $\phi 4 \times 10$ トラスネジ1種で固定してください。

16-4 コーナー枠の取付け

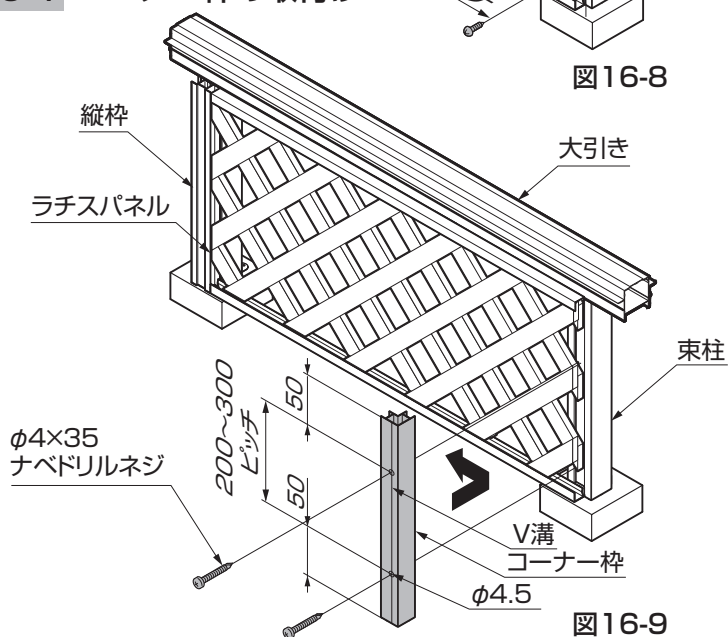
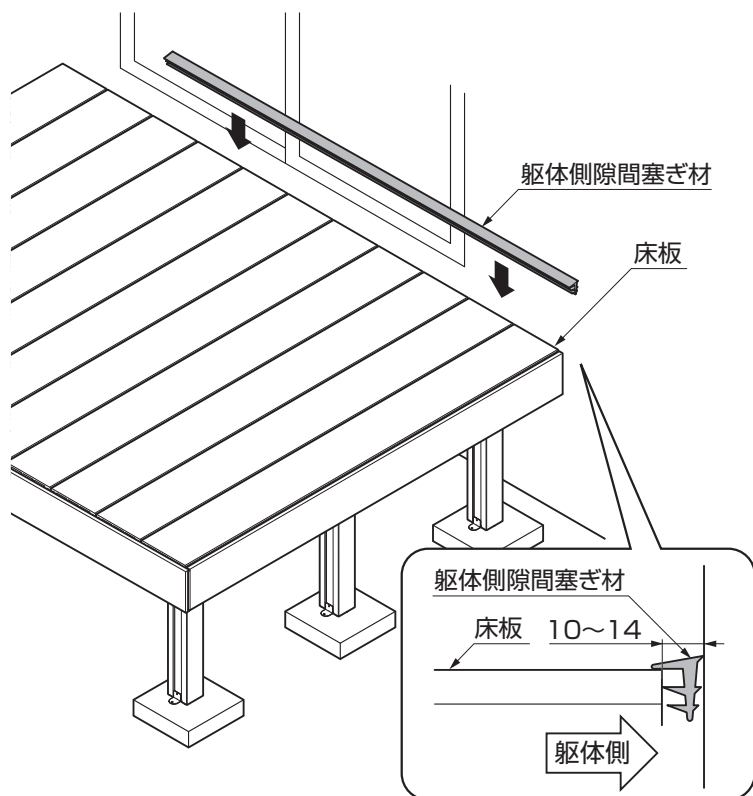


図16-9

- ※縦枠を1ヶ所のみ取付けて、ラチスパネル、上下枠を取付け終わってから次の縦枠、コーナー枠を取付けてください。
- ⑤コーナー枠の両端から50mmの位置、および200~300mmピッチにV溝にあわせて、 $\phi 4.5$ の孔をあけてください。
 - ⑥ラチスパネルにコーナー枠を差し込んで取付けてください。
 - ⑦端部にある束柱とコーナー枠を、 $\phi 4 \times 35$ ナベドリルネジで固定してください。

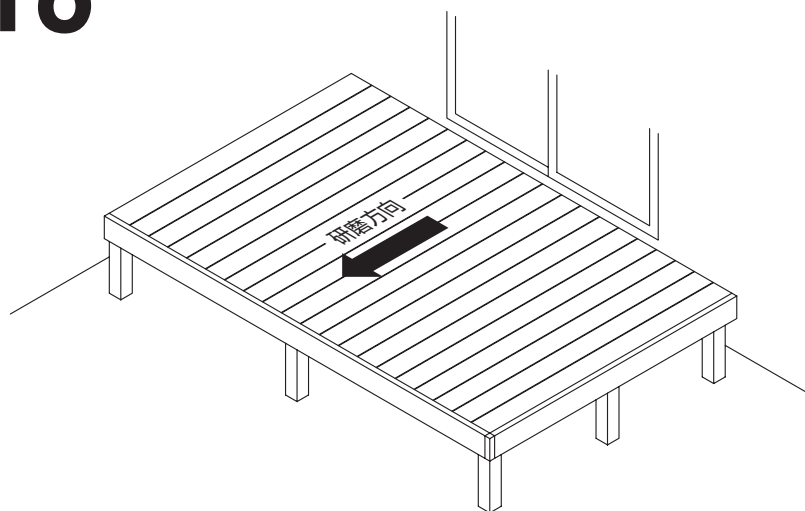
17 躯体側隙間塞ぎ材の取付け オプション

3 本体の施工方法



①床板と躯体の間に躯体側隙間塞ぎ材を押し込んで取付けてください。

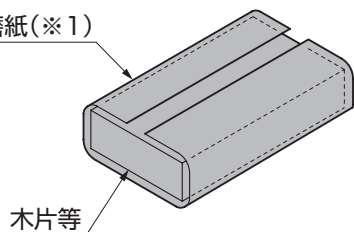
18 施工後の仕上げ



①施工後、表面に付いたすりキズは図の研磨方向に補修用研磨紙で仕上げてください。

- ※1ヶ所を集中的に擦るのではなく、全体をぼかす感じで磨いてください。
- ※平らな部材を研磨紙の裏から補助的に添えて、研磨紙面をフラットに当てるようにしてください。(※1)

補修用研磨紙(※1)



19

横止め金具の付け替え オプション

●床板を全面施工後に横止め金具を大引きに改めて固定するための作業です。

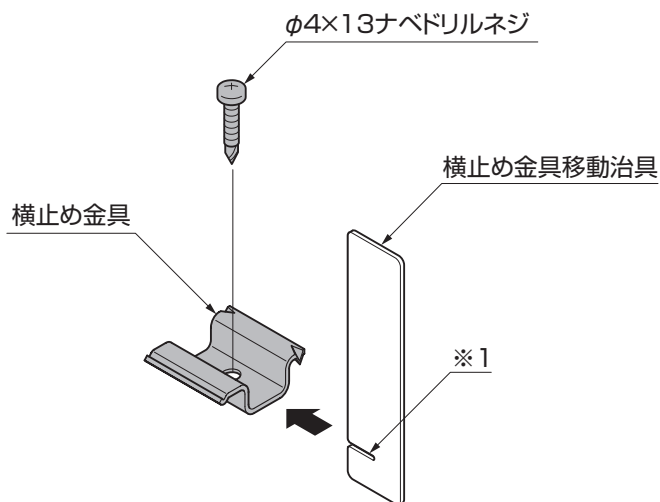


図19-1

①横止め金具の孔にφ4×13ナベドリルネジを入れてから、横止め金具移動治具の溝(※1)に横止め金具を差込んでください。

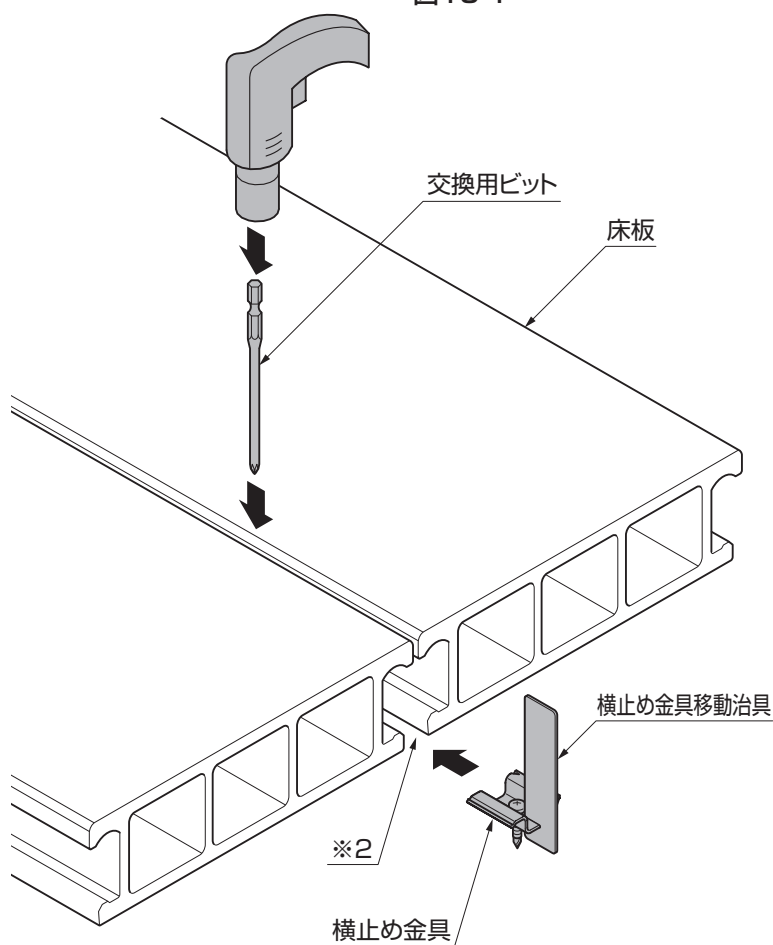


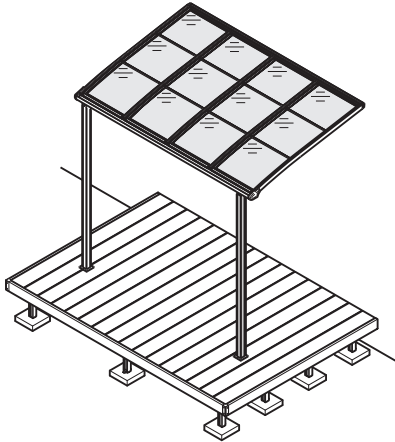
図19-2

②デッキ前面の目地の隙間(※2)から横止め金具を入れてください。

③交換用ビットを目地上部から差込み、横止め金具を固定してください。

4-1 テラスとの接続

●デッキの取付けは「■本体の施工方法 (P.21～)」を参照してください。



※デッキが既に設置されている場合は、デッキの床板を外してテラス本体を組立ててください。

※テラス柱の設置場所に大引きがある場合は別紙のテラス取付け説明書にしたがってテラス柱を移動してください。
(テラス柱と大引きの間を30mm以上あけて取付けてください。)

※柱との接続は別売りの「テラス回り固定アングルセット」・「テラス柱化粧カバーセット」をご使用してください。

【アルミテラス柱 (70角) との接続】

- ・テラス回り固定アングルセット: WVCB009
- ・テラス用化粧カバーセット: WVC□010
- ・テラス用化粧カバーセット(雨どい付き): WVC□011

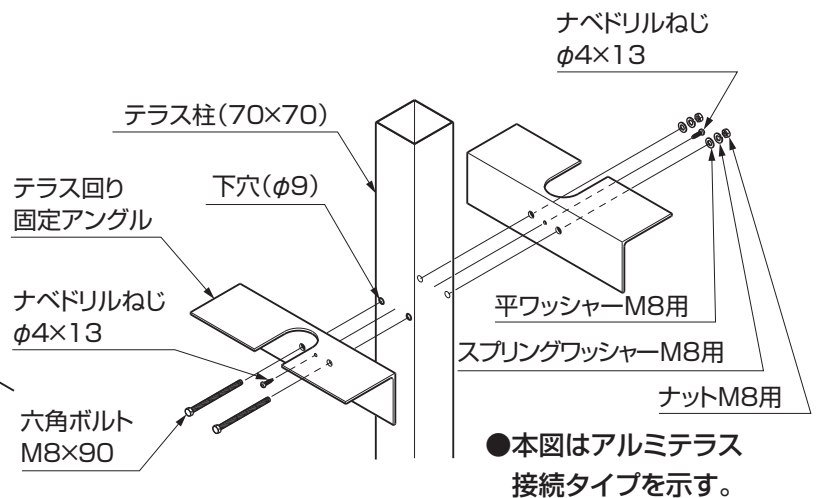
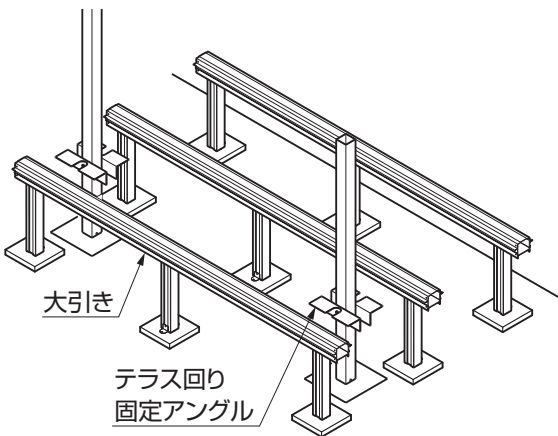
【ラッピングテラス柱 (70角) との接続】

- ・テラス回り固定アングルセット: PRAZX110
- ・テラス用化粧カバーセット: WVC□010
- ・テラス用化粧カバーセット(雨どい付き): WVC□011

【機能柱との接続】

- ・テラス回り固定アングルセット: PRAZX120
- ・テラス用化粧カバーセット: PRA□X410

(1) テラス回り固定アングルの取付け



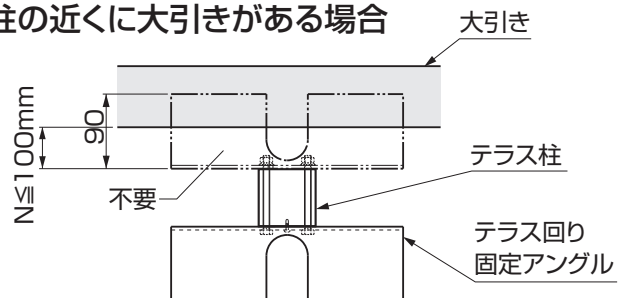
※大引きと平行になるように取付けてください。
※雨どい付きの場合は、いったん雨どいを外してください。

- ①ナベドリルねじでテラス回り固定アングルを取付けます。
- ②柱に下穴(φ9)の現場加工をしてください。
- ③テラス回り固定アングルをボルトで固定してください。
- ④ラッピング柱は、ねじ・ボルトの取付ける位置が違います。
- ⑤機能柱はねじ止めのみです。

※テラス回り固定アングルと大引きの上面を合わせて取付けてください。

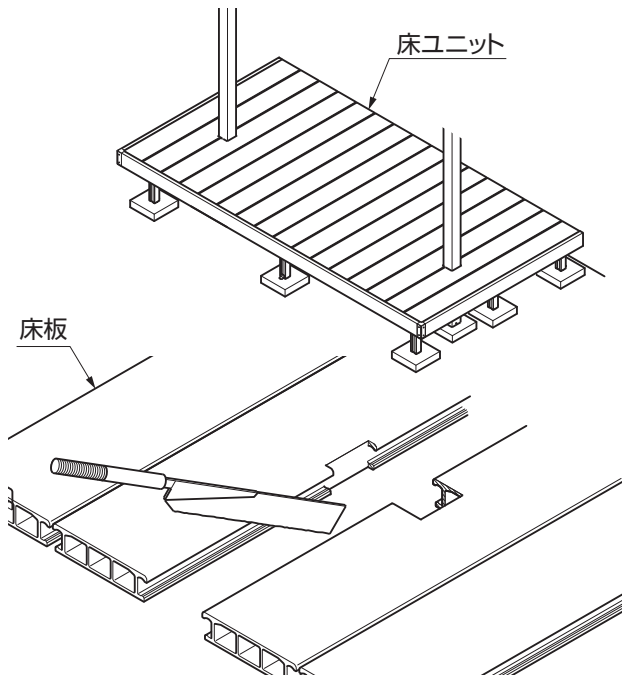
※ラッピング柱、機能柱についても同様に取付けてください。

■柱の近くに大引きがある場合



※テラス柱と大引きの間(N寸法)が100mm以下の場合、片側のテラス回り固定アングルは不要です。

(2) 床材の取付け



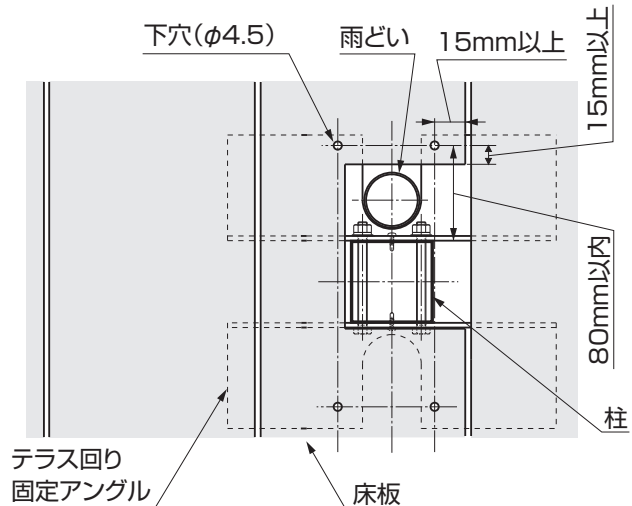
①柱にあたる床板を切欠いてください。

※ランバーステージでテラス回り固定アングルが床ユニットの根太に干渉する場合は干渉部の根太を切断してください。

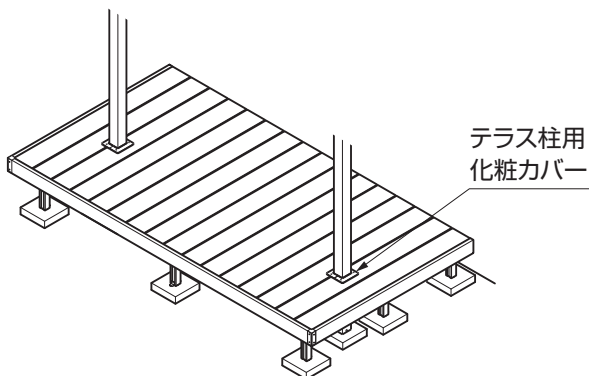
②テラス回り固定アングル位置に下穴(φ4.5)をあけて、床板取付けねじで取付けてください。

※機能柱の場合は、タップ穴M5をあけて取付けてください。

※固定位置は柱面から80mm以内かつ床板端部から15mm以上離して固定してください。



(3) テラス柱用化粧カバーの取付け



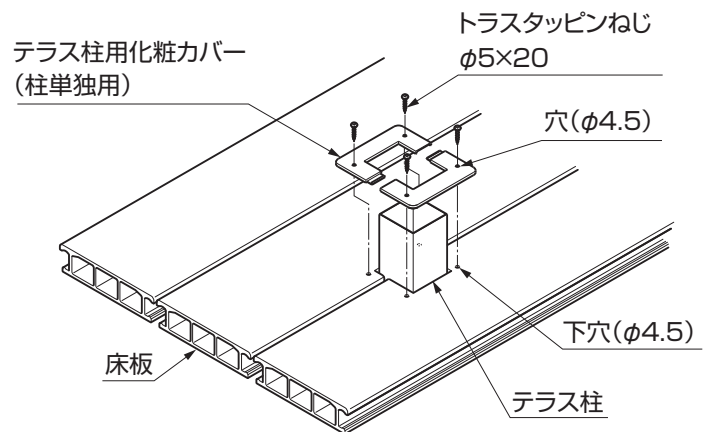
①テラス柱用化粧カバーを柱にあて、床板に固定する位置を決めます。

②テラス柱用化粧カバーに穴(φ4.5)をあけ、床板に下穴(φ4.5)の現場加工を行い、ねじ止めしてください。

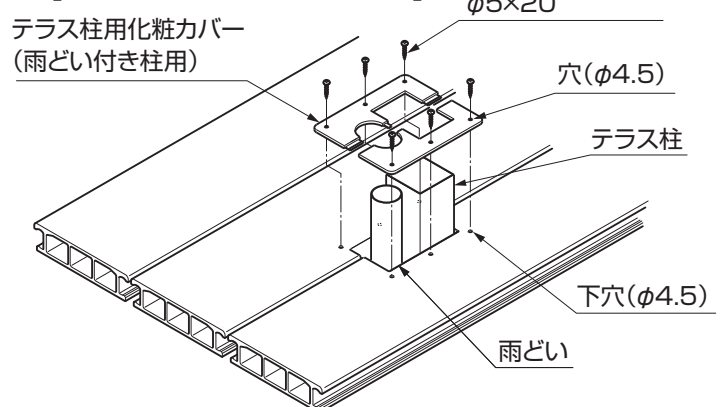
※床板に固定できる位置に穴をあけてください。

【柱単独仕様の場合】

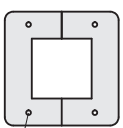
●本図はアルミテラス接続タイプを示します。



【雨どい付き柱仕様の場合】

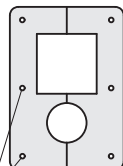


●柱単独用



穴(φ4.5)をなるべく4隅をねじ止めしてください。

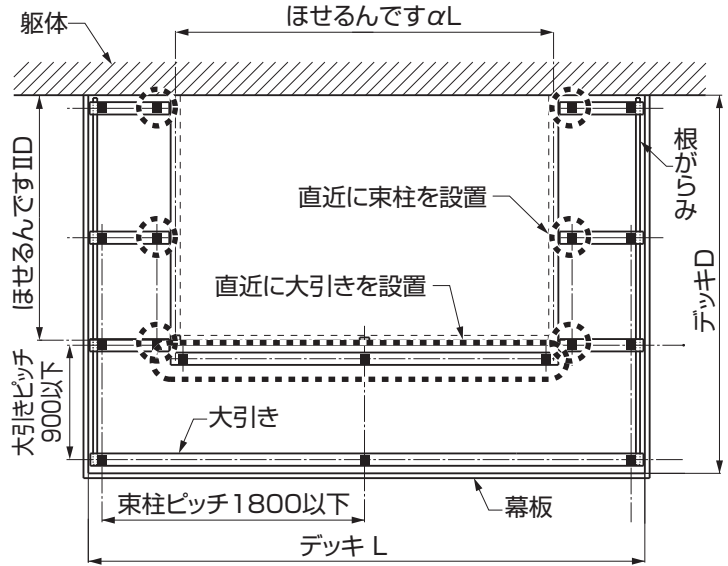
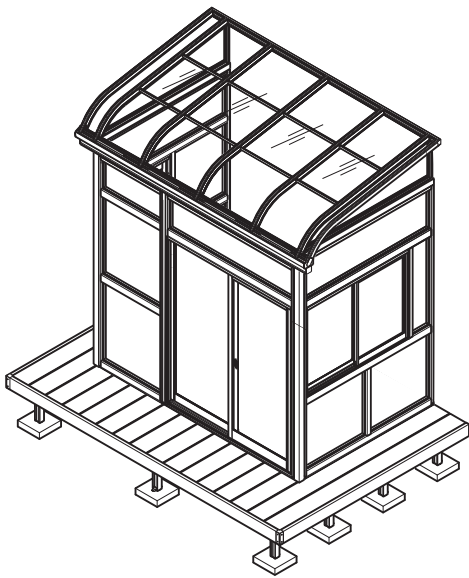
●雨どい付き柱用



穴(φ4.5)4隅および中央部をねじ止めしてください。

4-2 ほせるんですⅡ、ルームトラスとの接続

- 製品の取付けは「■本体の施工方法 (P.21～)」、「ほせるんですⅡ 取付け説明書」、「ルームトラス 取付け説明書」を参照してください。

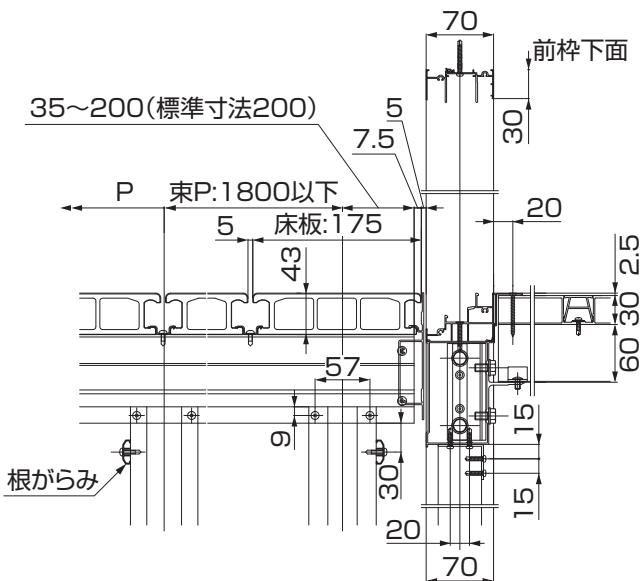


※ほせるんですⅡ、ルームトラスを囲うようにデッキを設置してください。

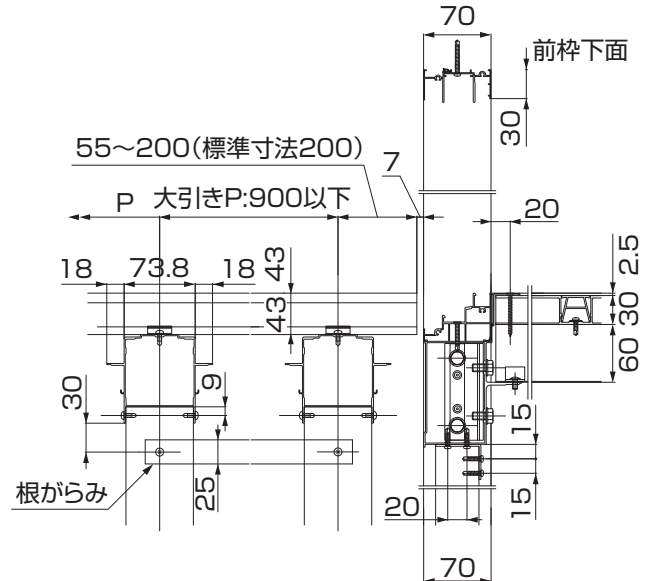
※床板の切り欠きが必要な際は、床板縦切りインナー材を取付けてください。(「■施工時の重要確認事項(P.8)」を参照してください。)

■ほせるんですⅡ納まり参考図 ●本図はほせるんですⅡ納まりを示す。

●床板縦張り

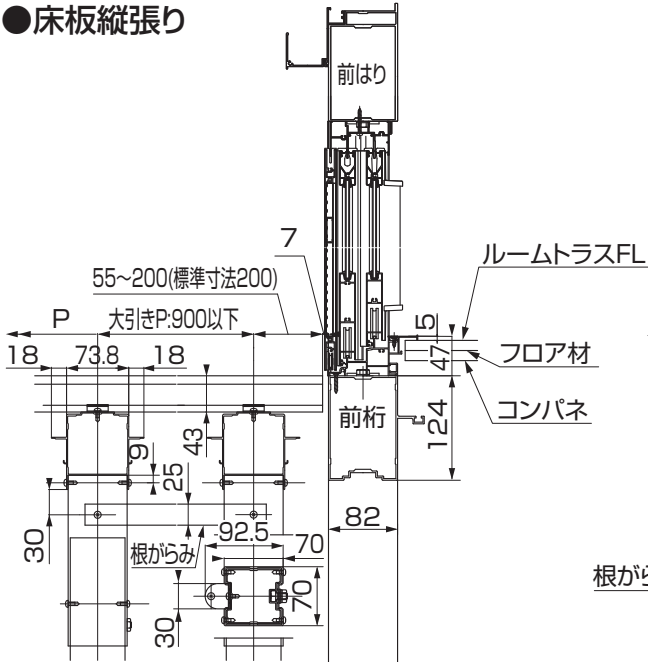


●床板横張り

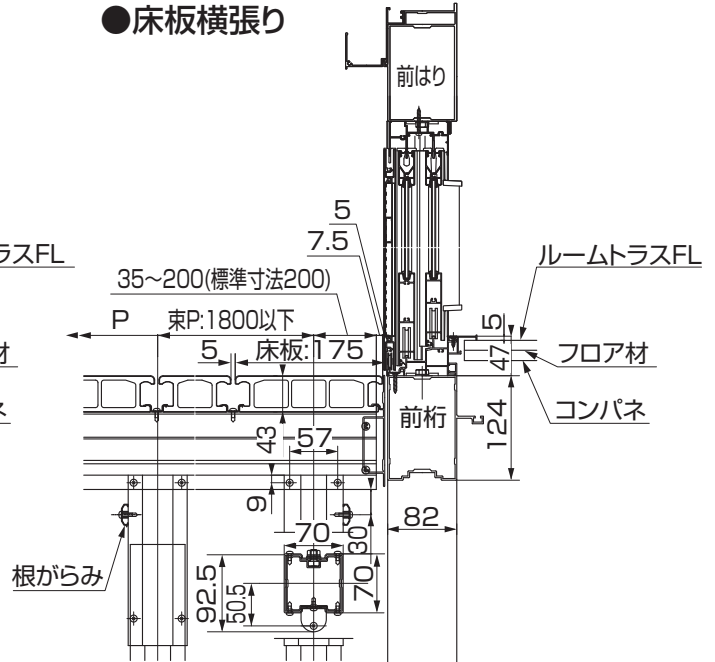


■ルームトラス納まり参考図

●床板縦張り



●床板横張り

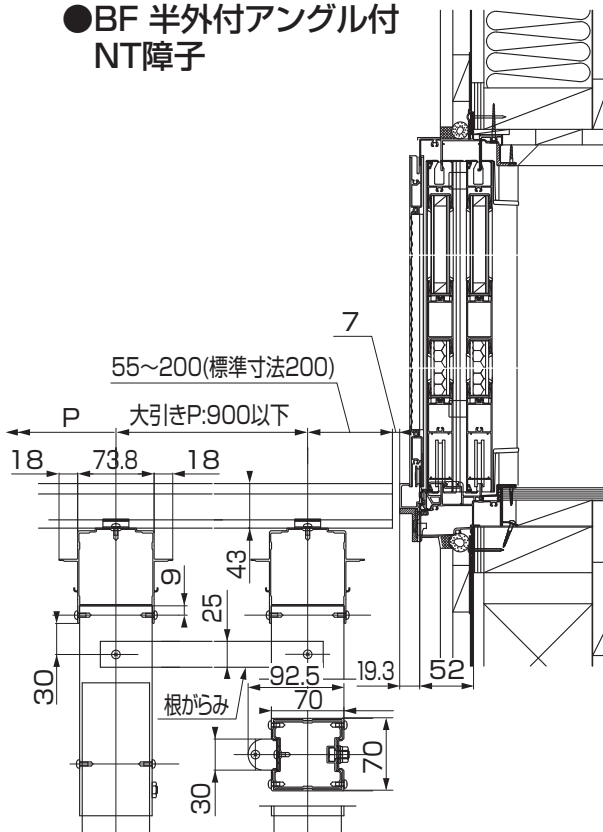


4-3 BF (バリアフリー) サッシとの接続

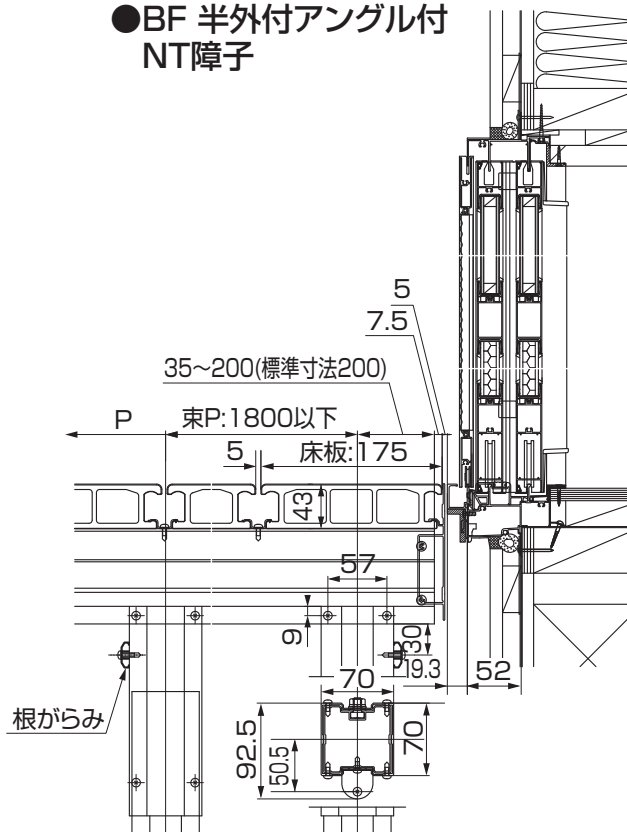
●製品の取付けは「■本体の施工方法(P.21~)」を参照してください。

■BF (バリアフリー) 納まり参考図

●BF 半外付アングル付 NT障子



●BF 半外付アングル付 NT障子



トステム株式会社**LIXIL** 住生活グループ

会社やショールーム、商品についての情報のご確認は、トステムホームページまで

<http://www.tostem.co.jp/>

●カタログの閲覧はこちら <http://www.tostem.co.jp/catalog/>

商品のご購入・使い方などのご相談は、お客様相談室 商品ご相談センターまで

☎ 0120-126-001 Tel 03-3638-8181 Fax 03-3638-8447

●受付時間・・・月～金 9:00～18:00(祝祭日、年末年始、夏期休暇等は除く)

●外壁材に関する商品相談は・・・旭トステム外装(株)サービスデスクナビダイヤル 0570-001-117

●商品改良のための仕様変更ならびに商品価格の改定は予告なしに行う場合がありますのでご了承ください。

●カタログ掲載の商品の色は、印刷の特性上実物とは多少異なる場合がございますのでご了承ください。

●掲載価格には、消費税、ガラス代(ガラス組込商品を除く)、組立代、取付費、運賃等は含まれておりません。

販売店・工務店・建設会社様へのお願い

商品選択上のお願い

商品には、使用用途、場所などを限定するもの、専門施工を必要とするものがあります。商品仕様をご確認のうえ、商品を選択願います。

組立・施工上のお願い

商品には、組立・施工説明書を用意しているものがあります。商品の組立・施工は必ず説明書に従ってください。

お施主様引渡し時のお願い

使用上の注意事項、商品保証などを記載した取扱説明書を用意している商品があります。必ず、お施主様や建築物を管理されている方にお届けさせていただきますようお願いいたします。

個人情報の取り扱いについて

当社は、当社商品のユーザー様および流通業者様等の個人情報を商品納入に当たって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスその他の目的のために利用いたします。当社の個人情報の取り扱いについて詳しくは当社ホームページの「プライバシーポリシー」

(<http://www.tostem.co.jp/policy/>)をご覧ください。

■ ご用命は

